

令和7年度 野鳥モ二ターによる 足立区野鳥調査報告書



キセキレイ

令和7年10月 舎人公園にて撮影

【表紙写真】	キセキレイ	提供：鈴木 清文 氏	
		令和7年10月	舎人公園にて撮影
【裏表紙写真】	アオバト	提供：酒井 隆行 氏	
		令和7年11月	舎人公園にて撮影
	スズガモ	提供：平石 純 氏	
		令和7年11月	元淵江公園にて撮影
	オオタカ	提供：酒井 隆行 氏	
		令和8年2月	舎人公園にて撮影

足立区では、野鳥モニターの皆様のご協力のもと、平成4年度から区内で野鳥の生息調査を行っております。

令和7年度は、38人の野鳥モニターが区内40地域で調査を行い、76種、延べ28,890羽の野鳥を確認しました。

昨年度と比べ、確認種数と確認個体数は増加しましたが、今年度は区内で初めて確認された野鳥はありませんでした。

区は、同様の調査を継続していくことで、野鳥を通して自然環境の変化を明らかにし、私たちが身の回りの自然環境とどの様に関わっていくべきかを考えていくきっかけにしたいと考えています。

最後に、野鳥モニターの皆様のご協力に感謝し、この場をお借りして心から感謝申し上げます。

令和8年10月 足立区 環境部 環境政策課

～ 目 次 ～

I	調査概要	1
II	調査結果	
1	年間確認種数と個体数	4
2	区内で繁殖行動が確認された野鳥	6
3	調査開始以来、初めて確認された野鳥	7
4	調査月別確認種数と確認個体数	8
5	確認個体数ベスト10及び経年変化	9
III	令和7年度野鳥モニターによる観察日誌・繁殖行動	15
	資料編	
資料1	調査月別確認種と個体数	72
資料2	ブロック別確認種と個体数	74
資料3～8	各調査月に確認された野鳥	76
資料9	年度別確認種及び個体数一覧	82
資料10	令和7年度野鳥モニター活動記録	91

I 調査概要

1 目的

野鳥モニター※による定期的な野鳥生息状況調査を継続して実施することで、自然環境の変化を把握し、環境保全のための基礎資料とする。

調査結果はあだち広報や区のホームページを通じて毎年公開することにより、区民が身近な野鳥に関心を持ち、自然環境を大切にする意識を育てる。

※ 野鳥モニター：区内の担当エリアを歩き、野鳥の種類・個体数・繁殖行動などを観察して区に報告するボランティア

2 調査期間

令和7年4月1日～令和8年3月31日

3 調査方法

(1) 調査方法

調査地域をゆっくりと歩き（時速2km程度）ながら、観察された野鳥の種名と個体数を記録する。また、営巣や給餌※等の特別な行動が観察された場合には、詳細を記録する。

※ 給餌（きゅうじ：親から雛、または抱卵中のつがいに餌を与えること）

(2) 調査日時

毎奇数月のうち各モニターが任意に選んだ1日の午前6時から午前10時までの間の2時間程度（調査回数は各地域とも年6回）。ただし、夏季等、季節によっては、午前6時以前に調査開始可能。

(3) 調査人数

野鳥モニター38名（令和7年4月現在）による。

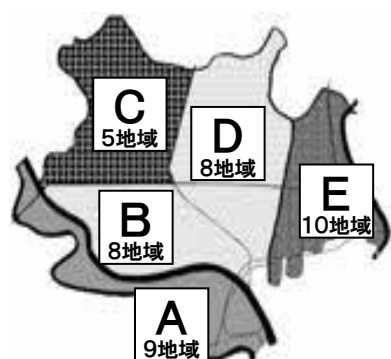
(4) 調査項目

野外で観察されたすべての野鳥（外来種含む）の種名・個体数・営巣および給餌などの特別な行動。

4 調査地域

区内で野鳥が多く観察される地域、および荒川兩岸の河川敷を、下記のA～Eの5ブロックに分け、全体で40地域を調査地域として設定している。

モニター番号	地域
A-1	小台全域（河川敷含む）
A-2	新田全域（荒川右岸河川敷含む）
A-3	千住曙町、千住関屋町、千住東一・二丁目、千住仲町、日光街道以東の千住河原町及び千住橋戸町
A-4	千住五丁目、日ノ出町全域（河川敷含む）
A-5	千住桜木一丁目、千住緑町全域（隅田川含む）、日光街道以西の千住河原町及び千住橋戸町、千住宮元町
A-6	千住元町（荒川河川敷除く）、千住桜木二丁目
A-7	西新井橋～千住新橋（荒川右岸河川敷）
A-8	宮城全域（河川敷含む）
A-9	柳原一・二丁目（荒川右岸河川敷含む）
B-10	扇大橋～西新井橋（荒川左岸河川敷）
B-11	興野二丁目、扇三丁目
B-12	熊之木～江北橋（荒川左岸河川敷）
B-13	鹿浜橋～熊之木（荒川左岸河川敷）
B-14	関原二・三丁目、梅田五・八丁目、西新井栄町一丁目
B-15	千住新橋～東武線鉄橋南（荒川左岸河川敷）
B-16	西新井橋～千住新橋（荒川左岸河川敷）
B-17	江北橋～扇大橋（荒川左岸河川敷）



【調査地域】

Aブロック 9地域
Bブロック 8地域
Cブロック 5地域
Dブロック 8地域
Eブロック 10地域

計 40地域

モニター番号	地域
C-18	都市農業公園（新芝川含む）、芝川水門～鹿浜橋（荒川左岸河川敷）
C-19	舎人一・二丁目（隣接する見沼代親水公園含む）
C-20	舎人公園
C-21	舎人三～六丁目（毛長川含む）、古千谷本町三・四丁目
C-22	西竹の塚二丁目、伊興本町一・二丁目、東伊興二・三丁目（毛長川含む）
D-23	梅島一～三丁目
D-24	綾瀬川土手、花畑七・八丁目
D-25	島根全域
D-26	西綾瀬全域
D-27	西保木間一～三丁目
D-28	花畑三～五丁目
D-29	保木間一～三丁目
D-30	保木間四・五丁目
E-31	大谷田一丁目
E-32	大谷田二（中川含む）～五丁目
E-33	加平一～三丁目、しょうぶ沼公園
E-34	佐野一丁目、六木二丁目（中川含む）
E-35	佐野二丁目、辰沼全域、六木一丁目
E-36	神明一～三丁目、六木三・四丁目（堀川、中川含む）
E-37	神明南一・二丁目、北加平町
E-38	東和全域・谷中公園
E-39	中川五丁目（中川右岸区境まで含む）
E-40	東綾瀬公園

令和7年度までのモニター人数と調査地域数は以下のとおりである。

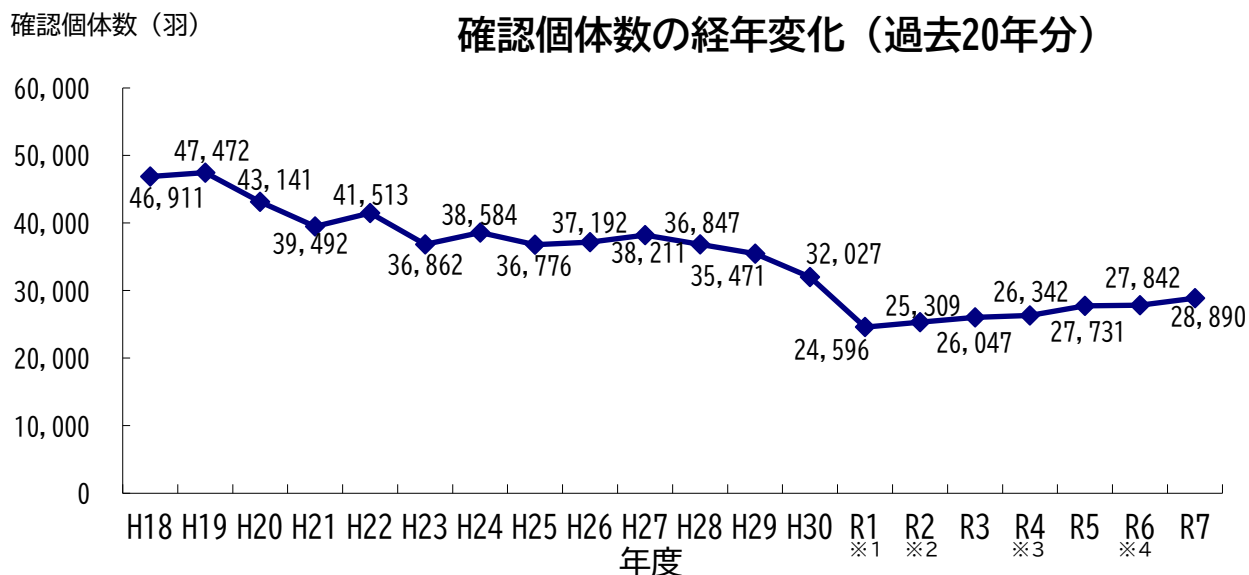
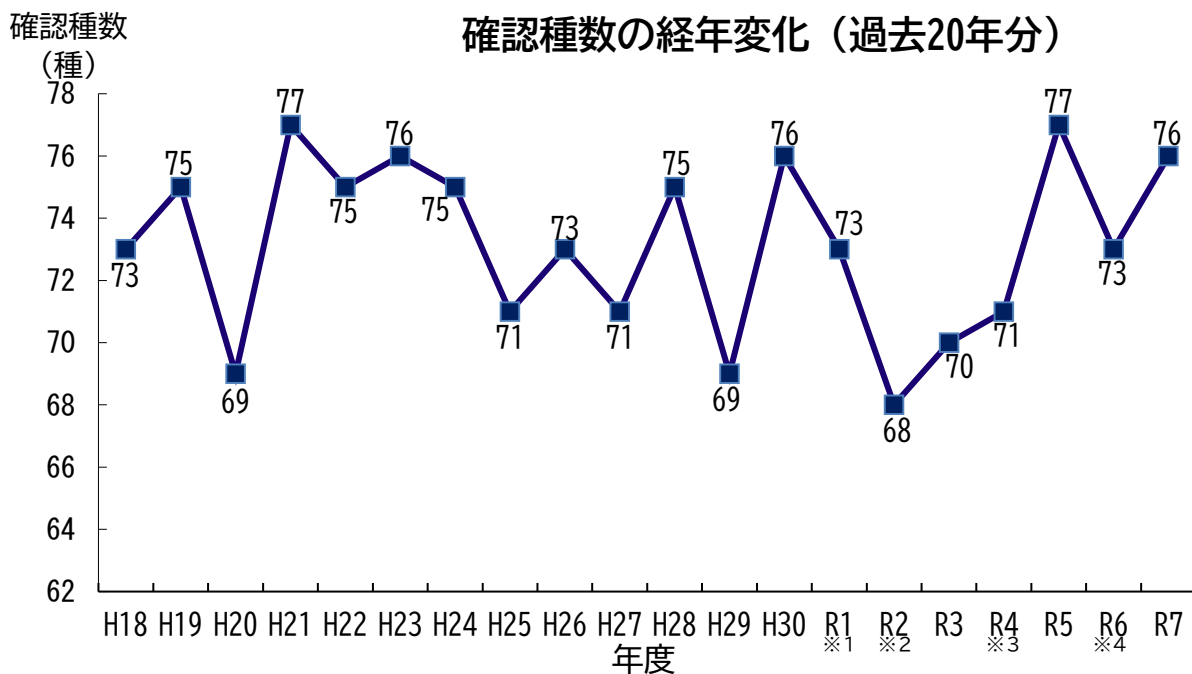
年度	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20
モニター人数	23	36	36	31	27	30	29	32	31	33	34	36	33	35	36	37	34
調査地域数	23	36	36	36	32	35	34	37	38	39	40	40	38	40	39	39	39

年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
モニター人数	36	38	36	40	40	38	40	40	40	39	40	40	40	40	37	39	38
調査地域数	39	41	41	41	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40

Ⅱ 調査結果

1 年間確認種数と個体数

令和7年度の調査で確認された野鳥は76種、延べ28,890羽であった。



- ※1 新型コロナウイルス感染拡大防止のため3月分調査が中止となり、年5回の調査となった。
- ※2 新型コロナウイルス感染拡大防止のため5月分調査が中止となり、年5回の調査となった。
- ※3 7月にBブロックのうち一地点が調査できなかったため、7月調査のみ39地域で実施した。
- ※4 9月にCブロックのうち一地点が調査できなかったため、9月調査のみ39地域で実施した。

調査結果 (※ 並び順は「日本鳥類目録改訂第7版」に準ずる)

N0	目名	科名	種名	合計	前年度比	N0	目名	科名	種名	合計	前年度比			
1	カモ	カモ	オカヨシガモ	3	-1	46	スズメ	カラス	ハシブトガラス*3	893	-143			
2			ヒドリガモ*1	349	+6	47		シジュウカラ	シジュウカラ	858	+216			
3			マガモ	16	-16	48		ヒバリ	ヒバリ*3	18	+1			
4			カルガモ*1	748	+92	49		ツバメ	ツバメ*4	257	+55			
5			コガモ	171	+103	50		ヒヨドリ	ヒヨドリ*4	2,299	-330			
6			ホシハジロ	274	-25	51		ウグイス	ウグイス	38	+7			
7			キンクロハジロ	194	+0	52		メジロ	メジロ	435	+27			
8			スズガモ	1	+0	53		ヨシキリ	オオヨシキリ*3	109	+55			
9	カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ	43	+5	54		セッカ	セッカ*3	10	-13			
10			カンムリカイツブリ	58	+32	55		ムクドリ	ムクドリ*4	6,906	+479			
11	ハト	ハト	キジバト	758	-113	56		ヒタキ	シロハラ	1	-3			
12	カツオドリ	ウ	カワウ*1	1,931	+934	57			アカハラ	1	+1			
13			ペリカン	サギ	ゴイサギ	5			+5	58	ツグミ*4	482	+205	
14	ササゴイ	1			+1	59			ジョウビタキ	51	+3			
15	アオサギ	99			+15	60			イソヒヨドリ	1	-3			
16	ダイサギ	44			+5	61			エゾビタキ	2	+2			
17	チュウサギ	3			+2	62			コサメビタキ	1	+1			
18	コサギ	44			-2	63			キビタキ	3	+3			
19	ツル	クイナ			ヒクイナ	2			+1	64	スズメ	スズメ*4	6,204	-549
20					バン*2	25			+7	65	セキレイ	ハクセキレイ	435	-65
21			オオバン*2	643	-204	66		セグロセキレイ	3	-5				
22	カッコウ	カッコウ	カッコウ	1	+1	67		タヒバリ	63	-10				
23	アマツバメ	アマツバメ	ヒメアマツバメ	3	+1	68		アトリ	カワラヒワ*4	449	-97			
24	チドリ	チドリ	イカルチドリ	3	+3	69			マヒワ	3	-8			
25			コチドリ	5	-4	70			ベニマシコ	4	+4			
26			メダイチドリ	13	+13	71			シメ	2	+2			
27			シギ	タシギ	6	+5		72	ホオジロ	ホオジロ	45	-5		
28		チュウシャクシギ		3	-2	73		ホオアカ		2	+2			
29		キアシシギ		13	+7	74	カシラダカ	19		+13				
30		イソシギ		41	-25	75	アオジ	72		+30				
31		カモメ		ユリカモメ*2	443	-7	76	オオジュリン	33	-27				
32	ウミネコ*2			6	-8	種名特定できず sp. …種名まで特定できなかったもの H …特定の種の特徴が強く表れている交雑種	カモ科sp.	10	+5					
33	カモメ			3	-1		ハト科sp.	47	+45					
34	セグロカモメ*2			31	-41		サギ科sp.	2	+2					
35	コアジサシ			16	-19		チドリ科sp.	3	+3					
36	タカ	タカ	トビ	15	-4		カモメ科sp.	35	+32					
37			ツミ	6	-6	カラス科sp.	20	-12						
38			オオタカ	2	-1	ウグイス科sp.	1	+1						
39	ブッポウソウ	カワセミ	カワセミ	12	-2	確認種個体数合計(羽)				28,890	+991			
40	キツツキ	キツツキ	コゲラ	6	-2	※ *印のある種は、P11からP14に個体数の経年変化のグラフを掲載した。(※1…P11 ※2…P12 ※3…P13 ※4…P14)								
41	ハヤブサ	ハヤブサ	チョウゲンボウ	13	-5	(参考) 交雑交配種								
42			ハヤブサ	3	+2									
43	スズメ	モズ	モズ	101	+39	(参考) かごぬけ※								
44		カラス	オナガ*3	1,670	+276	※ 飼育されていた種が野生化して定着したもの								
45			ハシボソガラス*3	1,246	+83	ワカケホンセイインコ	230	+48						
								ガビチョウ	6	+1				

Ⅱ 調査結果

2 区内で繁殖行動が確認された野鳥

2 区内で繁殖行動が確認された野鳥

令和7年度にさえずり・営巣・抱卵・雛・幼鳥等の観察によって繁殖行動が確認されたのは、15種であった（交雑交配種、かごぬけは除く）。

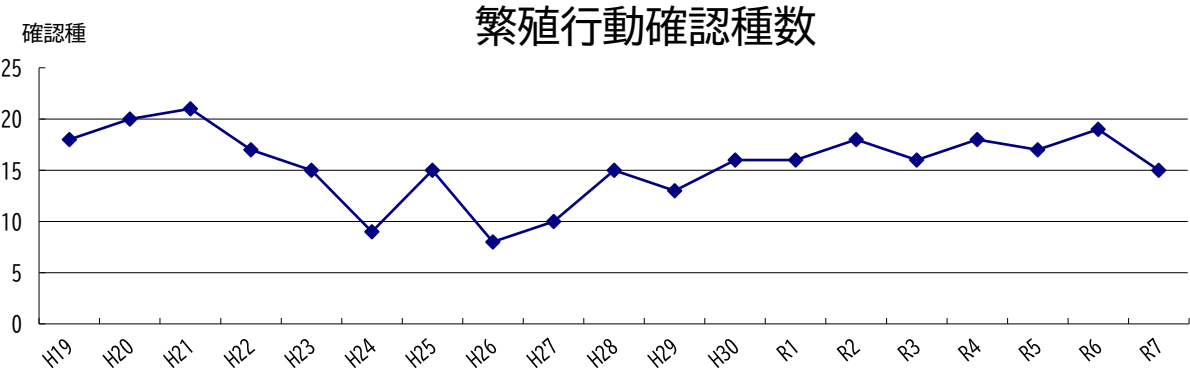
《区内で繁殖行動が確認された野鳥（年度別）》

No.	種名	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
1	アオサギ												○	○						
2	イソシギ			○																
3	イソヒヨドリ															○				
4	イワツバメ	○	○	○	○														○	
5	オオヨシキリ	○	○	○				○						○	○	○	○	○	○	○
6	オナガ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	カイツブリ			○						○		○	○	○*	○	●	○	○	○	○
8	カルガモ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9	カワセミ				○								○							
10	カワラヒワ		○	○		●					●		○	○	●		○	○	○	
11	キジバト	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12	コアジサシ							○			○				●			●		
13	ゴイサギ	○	○	○	○	●					●									
14	コゲラ		○			●												○	○	
15	コサギ			○	○															
16	コチドリ	○			○	○							○	○	○					
17	ササゴイ	○		○																
18	シジュウカラ	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
19	スズメ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20	セッカ																○	○	○	○
21	チョウゲンボウ		○												○	(○)	○			
22	ツバメ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
23	ツミ							○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
24	ハクセキレイ	○	○	○				○			●				○	○	○		○	
25	ハシブトガラス	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○*	○	○	○	○	○	○
26	ハシボソガラス	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
27	バン	○	○	○	○	○	○		○		●		○*	○*						
28	ヒバリ		○		○			○							○	○	○	○	○	○
29	ヒメアマツバメ	○																		
30	ヒヨドリ	○	○	○	○	○		○	○						○	○	○		○	
31	ムクドリ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
32	メジロ		○	○																
33	モズ											○	○							○
／	年度合計	18	20	21	17	15	9	15	8	10	15	13	16	16	18	16	18	17	19	15

参考《交雑交配種・かごぬけで区内で繁殖行動が確認された種（年度別）》

No.	種名	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
1	アイガモ																○			
2	ガビチョウ																			○
3	ドバト																○	○	○	●
4	ワカケホンセイインコ																	○	○	

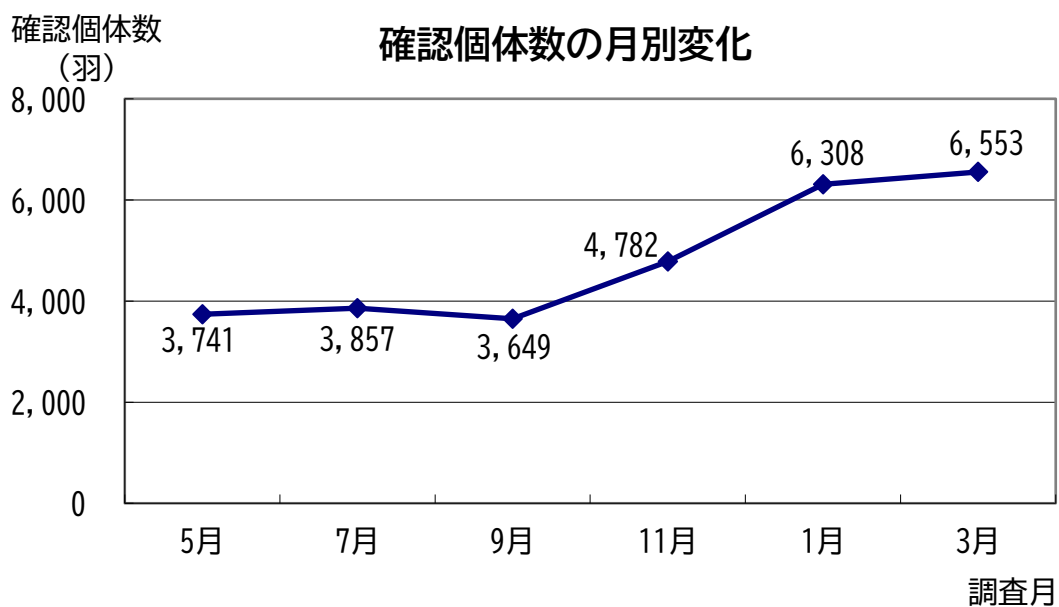
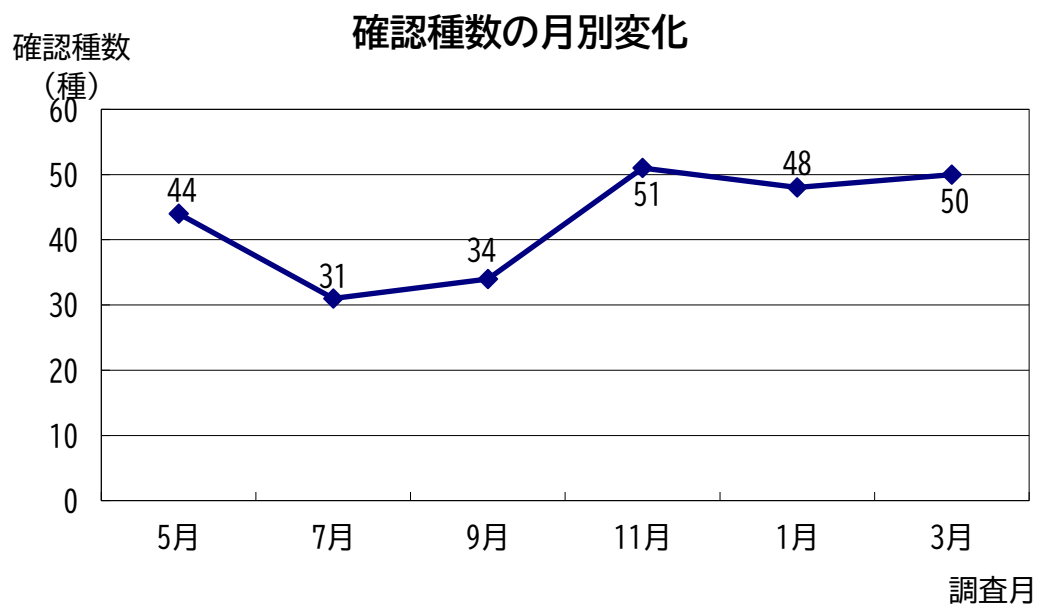
- ※ 「繁殖行動の確認」とは、繁殖に伴う行動や状況等により、野鳥モニターが区内で繁殖行動をしたと判断したもの。
- ※ 平成26年度までは調査日に限り確認された種を計上（調査日以外を含めれば繁殖をしている種はもっと多いと考えられる）。
- 平成27年度報告書からは、調査日以外（過去含む）でも確認したものは掲載。
- ※ 種名の網掛けは、令和7年度に繁殖行動が確認された種。
- ※ ●＝幼鳥のみ
- ※ ★＝ヒアリング調査によるため、観察記録に記載なし。
- ※ ○＝調査地域外で確認された種。数には含めないが、令和3年度のみ参考として掲載。
- ※ 交雑交配種・かごぬけも令和4年度より参考として掲載。



3 調査開始以来、初めて確認された野鳥

◎ 令和7年度は初確認の種はありませんでした。

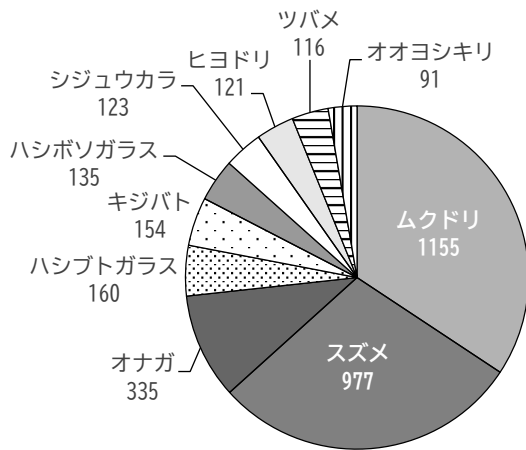
4 調査月別確認種数と確認個体数



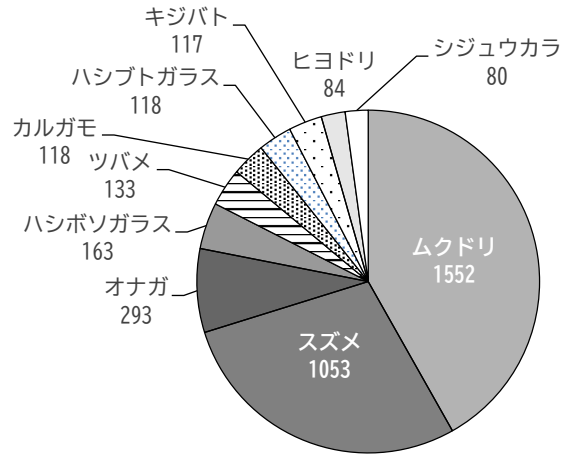
5 確認個体数ベスト10及び経年変化

(1) 調査月別 確認個体数ベスト10

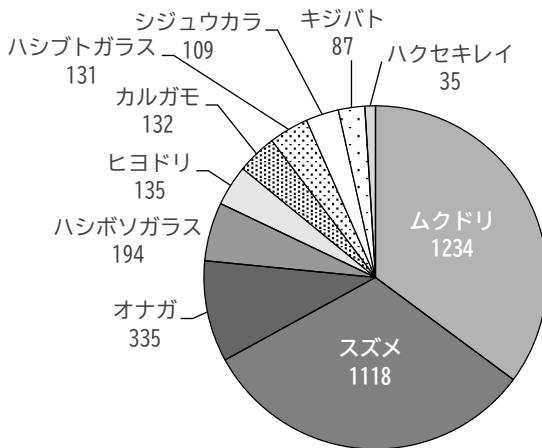
5月



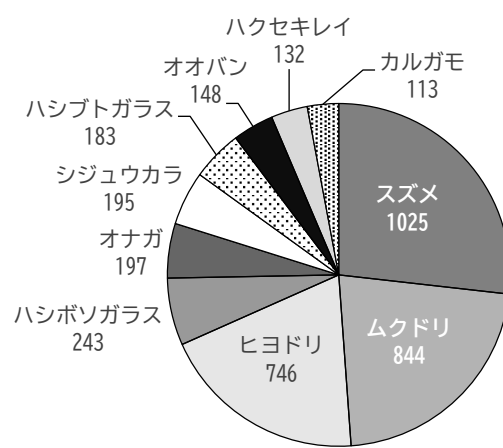
7月



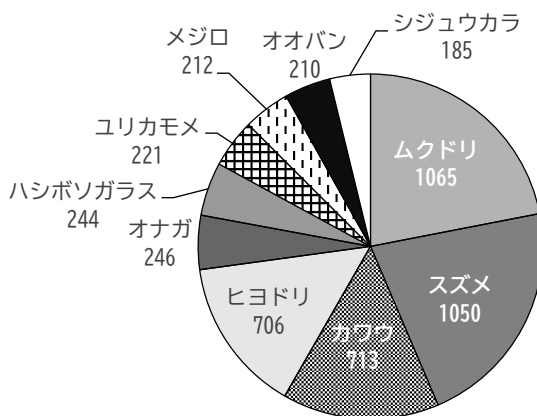
9月



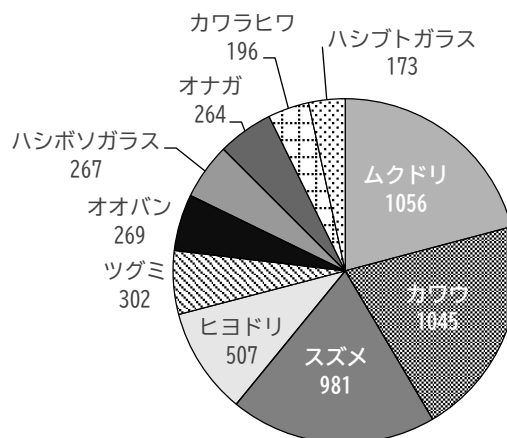
11月



1月



3月

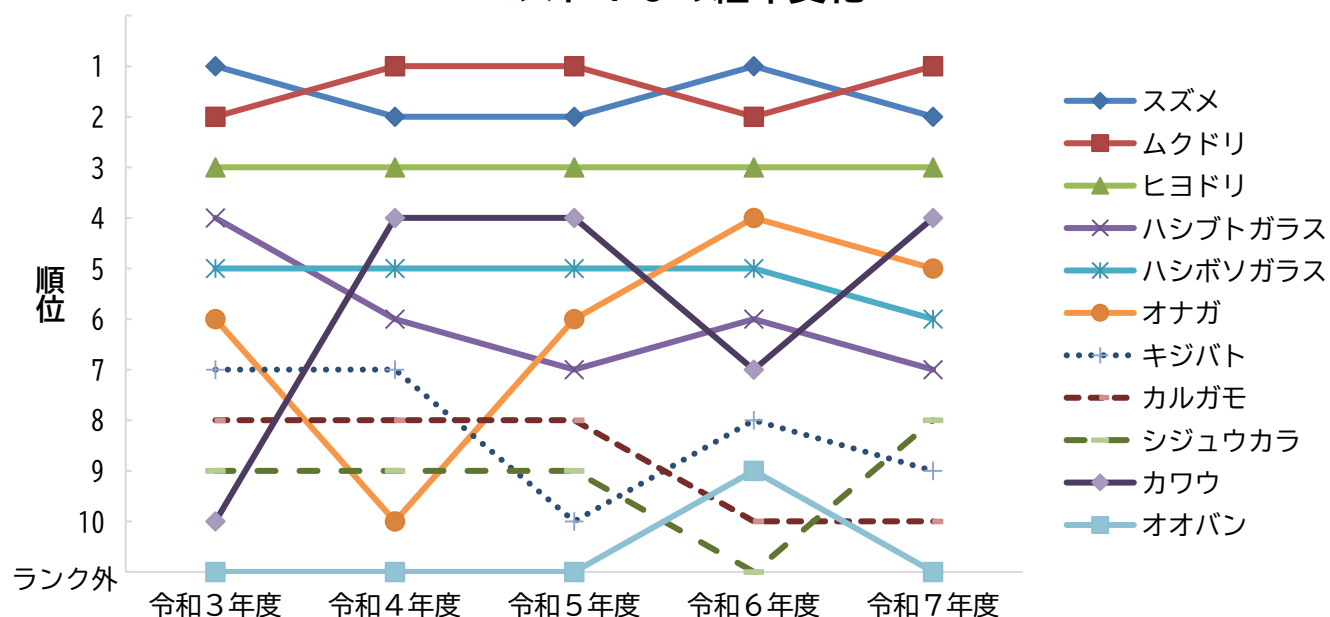


(2) 年間の確認個体数ベスト10の経年変化

令和7年度に確認された野鳥の総数28,890羽のうち、個体数ベスト10の合計は23,513羽で、総数全体の約81%を占める。

順位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
1	スズメ 7,046	ムクドリ 6,224	ムクドリ 6,602	スズメ 6,753	ムクドリ 6,906
2	ムクドリ 6,612	スズメ 5,752	スズメ 6,061	ムクドリ 6,427	スズメ 6,204
3	ヒヨドリ 2,127	ヒヨドリ 2,607	ヒヨドリ 2,498	ヒヨドリ 2,629	ヒヨドリ 2,299
4	ハシブトガラス 1,042	カワウ 2,036	カワウ 1,976	オナガ 1,394	カワウ 1,931
5	ハシボソガラス 932	ハシボソガラス 1,022	ハシボソガラス 1,110	ハシボソガラス 1,163	オナガ 1,670
6	オナガ 872	ハシブトガラス 922	オナガ 1,049	ハシブトガラス 1,036	ハシボソガラス 1,246
7	キジバト 765	キジバト 718	ハシブトガラス 842	カワウ 997	ハシブトガラス 893
8	カルガモ 744	カルガモ 711	カルガモ 774	キジバト 871	シジュウカラ 858
9	シジュウカラ 666	シジュウカラ 512	シジュウカラ 725	オオバン 847	キジバト 758
10	カワウ 647	オナガ 423	キジバト 720	カルガモ 656	カルガモ 748

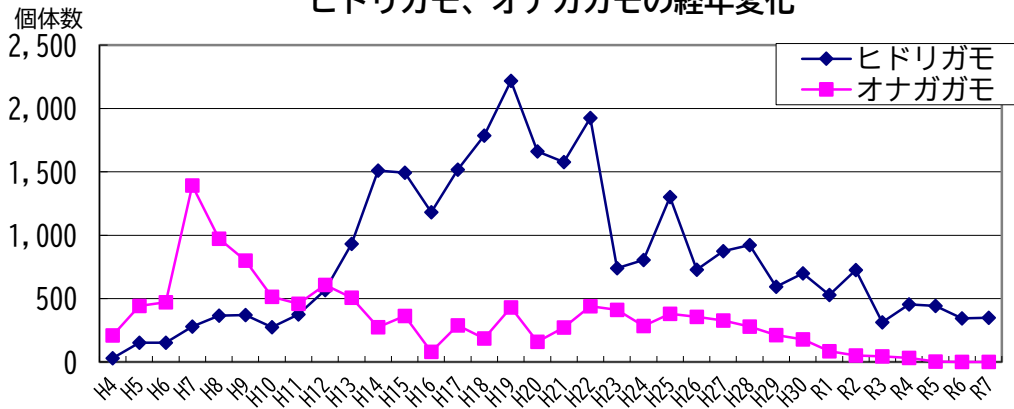
ベスト10の経年変化



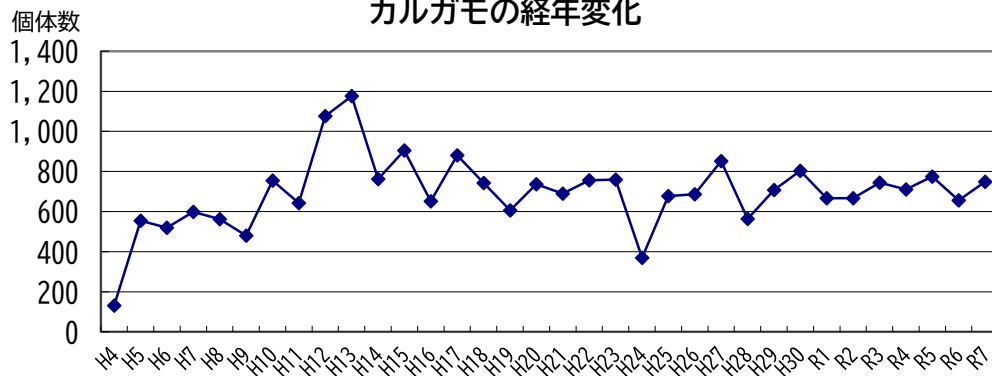
(3) 主な種の経年変化

※ 種の掲載順は「日本鳥類目録改訂第7版」を参考とした。

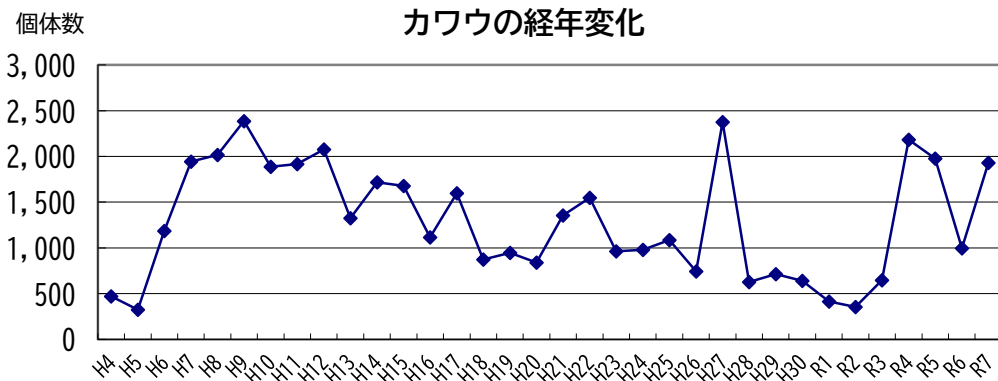
ヒドリガモ、オナガガモの経年変化



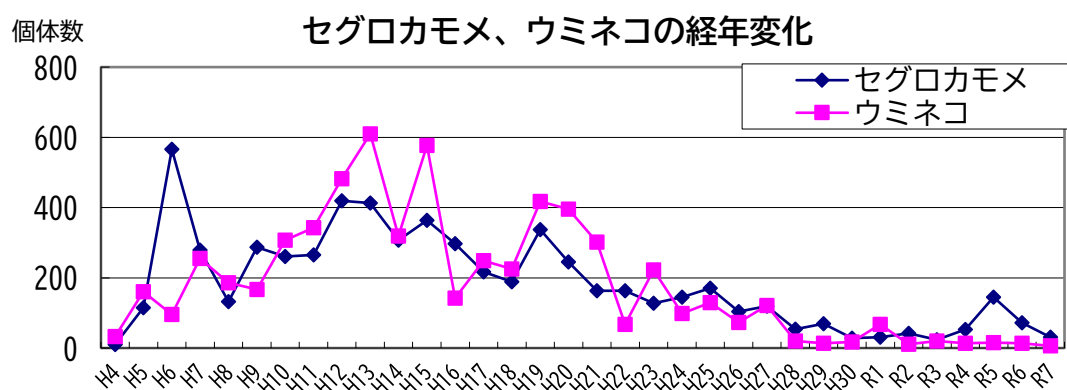
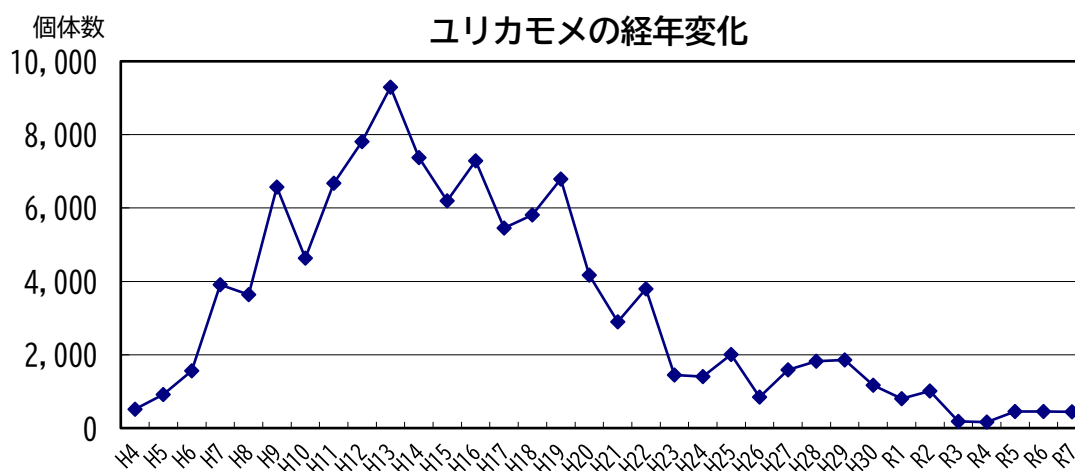
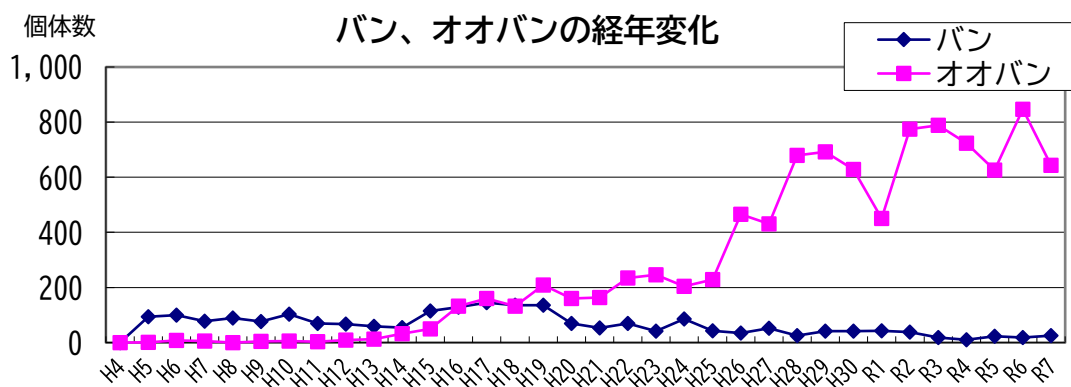
カルガモの経年変化

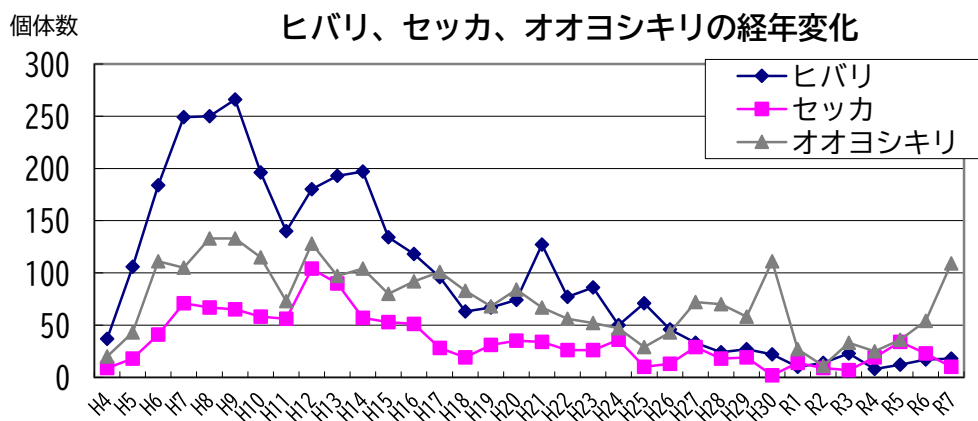
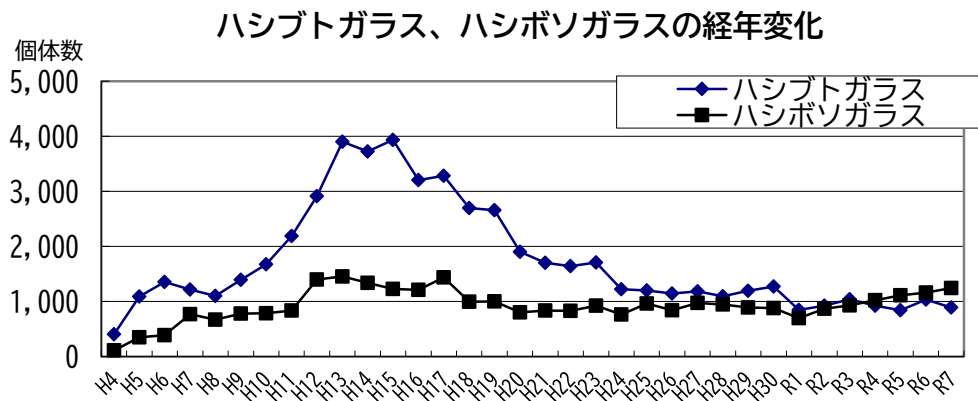
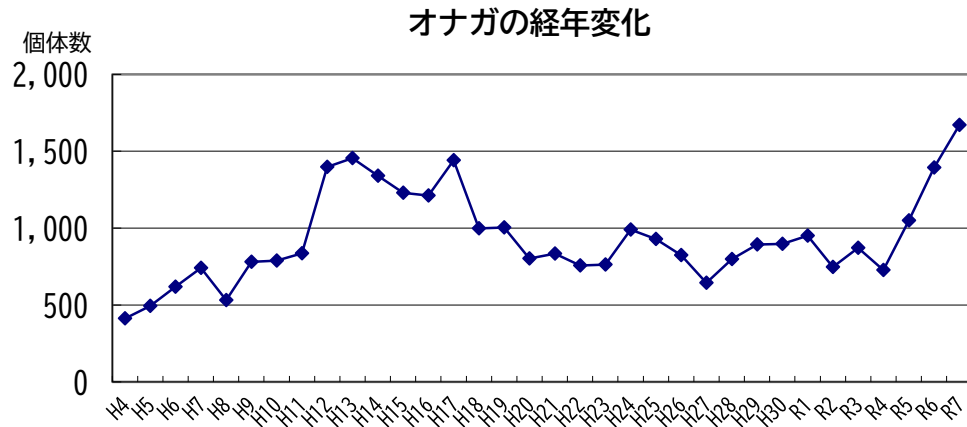


カワウの経年変化

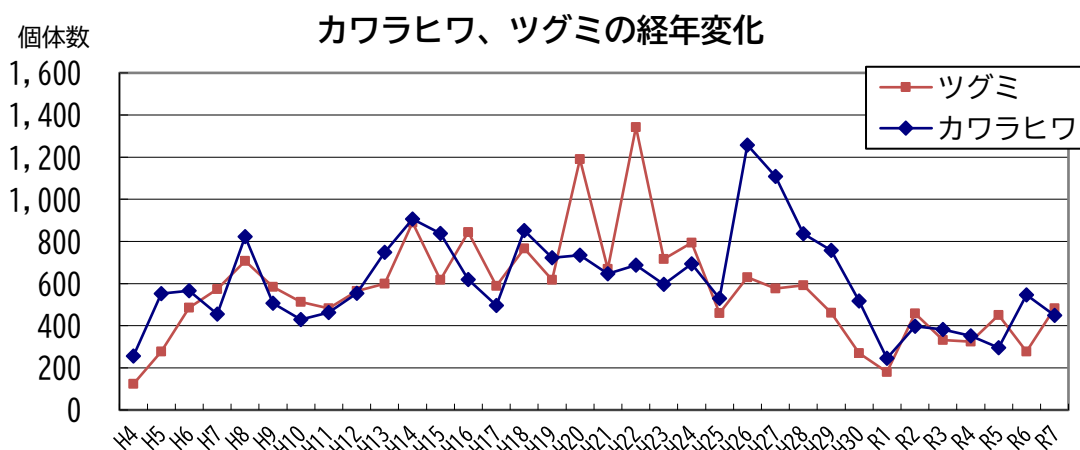
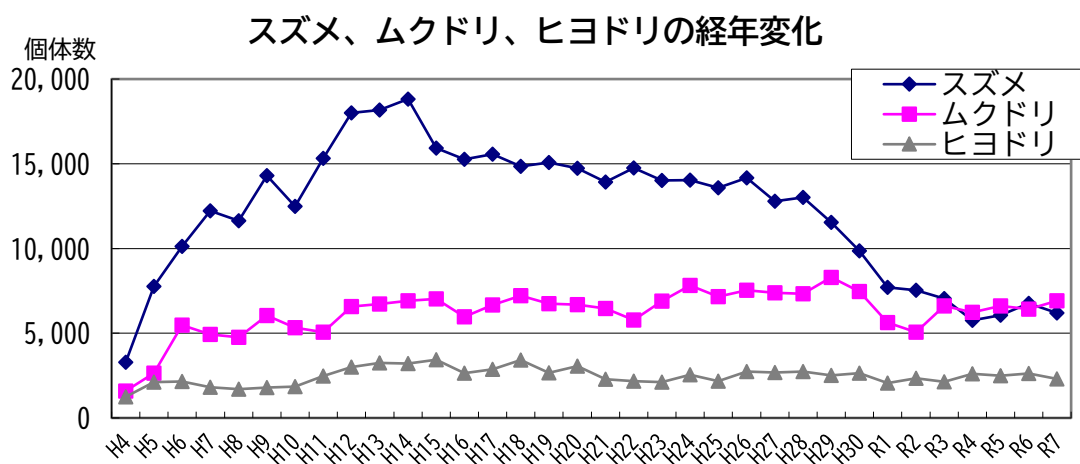
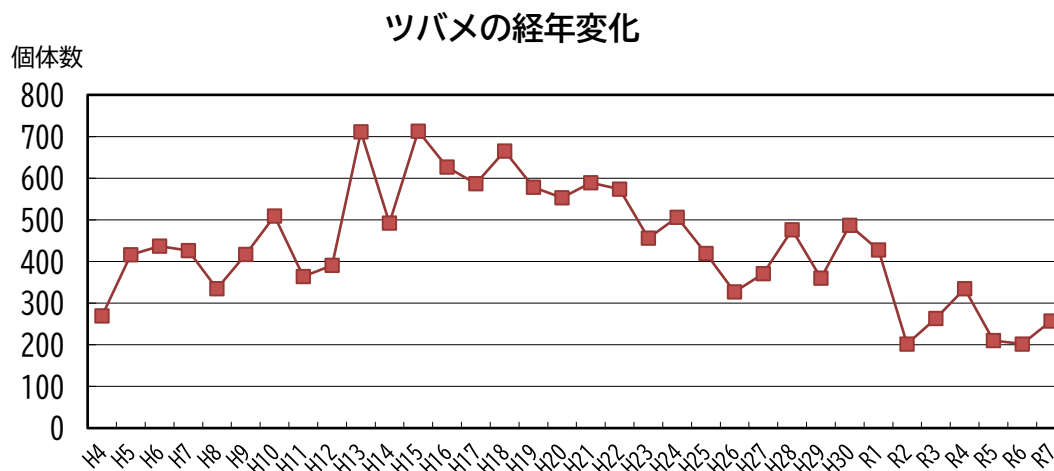


Ⅱ 調査結果
5 確認個体数ベスト10及び経年変化





Ⅱ 調査結果
5 確認個体数ベスト10及び経年変化



Ⅲ

令和7年度 野鳥モニターによる 観察日誌・繁殖行動

目次

令和7年4月繁殖行動確認	16
令和7年5月観察日誌	19
令和7年5月繁殖行動確認	25
令和7年6月繁殖行動確認	33
令和7年7月観察日誌	38
令和7年7月繁殖行動確認	44
令和7年8月繁殖行動確認	48
令和7年9月観察日誌	49
令和7年9月繁殖行動確認	54
令和7年11月観察日誌	55
令和8年1月観察日誌	60
令和8年3月観察日誌	65
令和8年3月繁殖行動確認	70

令和7年4月（繁殖行動確認）

確認日	種 名	モニター番号	確認場所	繁殖と判断した根拠	コメント
5	キジバト	E-36	六木三丁目	交尾	(1) 公園前の歩道上で交尾をしていた。
9	ハシボソガラス	A-2	鹿浜橋下流 右岸グラウンド 川寄の木	抱卵	(1) 木に営巣。
15	ツミ	B-14	上沼田第二公園	営巣	(1) ツミのメスの鳴き声が聞こえたので、確認のために観察すると、公園の入口にある銀杏の木に営巣していることが見られた(メスは枝折するが、オスは地面に落ちている枝を拾っていた)。
17	ツミ	B-14	上沼田第二公園	営巣 交尾	(1) この日は交尾が確認出来た。営巣場所の銀杏の木は、枝が密生しているのでよく見えないが、元々はカラスの巣だったようである(ワイヤーのハンガーが見えた)。更に、その後オナガが営巣していたようで、それを横取りした様に感じた(複数のオナガが執拗に巣に集まり、ツミのメスがそれを追い払っていた)。
17	オナガ	B-14	上沼田第二公園	営巣	(1) 公園と団地の間にある木に営巣が確認された。

令和7年4月（繁殖行動確認）

確認日	種 名	モニター番号	確認場所	繁殖と判断した根拠	コメント
17	スズメ	C-21	舎人四丁目 見沼代親水公園 隣接した電柱	営巣	(1) 電柱の変圧器下側の隙間に巣材を運ぶスズメを確認。
22	ハシボソガラス	D-30	保木間四丁目 名地公園	その他（古巣の再利用）	(1) 2羽のハシボソガラスがいて、1羽がハンガーで作られた古巣に留まり再利用を確認していた。
22	ムクドリ	D-30	保木間五丁目 生産緑地地区付 近民家	営巣 巣の出入り	(1) 1羽のムクドリが巣材の枯れ草をくわえて民家の戸袋へ入っていき、中に置いた状態で出てきた。
22	スズメ	D-30	保木間五丁目 水神橋公園付近 電線	営巣	(1) 2羽のスズメがいて、1羽が巣材の雑草をくわえて、電線の接続部分の中に入ってしまった。巣材を中において、再び2羽で巣材を探していた。
23	ハシボソガラス	E-36	神明三丁目	営巣	(1) 巣材をくわえて飛んでいった。
29	ツミ	B-14	上沼田第二公園	抱卵	(1) メスが殆ど見えなくなり、オスが餌を運んでくると、それを受け取るために巣から出てきて餌食し、オスが代わりに巣に入っていた（銀杏の葉が茂り始め、殆ど巣の様子がわからなくなってきた）。

令和7年4月（繁殖行動確認）

確認日	種 名	モニター番号	確認場所	繁殖と判断した根拠	コメント
29	キジバト	B-14	上沼田第二公園	営巣	(1) 公園内の低木に営巣の兆候が確認された(枝を咥えて営巣の準備をしているようだった)。

令和7年5月（観察日誌）

観察日	種 名	モニター番号	観 察 日 誌
1	チュウシャクシギ キアシシギ メダイチドリ カルガモ ヒバリ ハシボソガラス	B-17	(1) 西新井橋と扇大橋の中間位の川の中の杭の上にチュウシャクシギ・キアシシギ・メダイチドリ・カルガモが止まっていた。 (2) ヒバリ1羽がゴルフ練習場前の土手の草の中から飛び立ち、上空でさえずる。別のヒバリ2羽がゴルフ練習場前の道路で採食しており、干からびたミミズを食べていた。 (3) ゴルフ練習場横の木にハシボソガラス営巢中。2羽で巢材を運ぶ。
3	オナガ ワカケホンセイインコ	E-33	(1) 天気がよく、新緑が美しい季節である。チョウがたくさん飛んでいた。オナガ、ワカケホンセイインコの野鳥が目立っていた。
3	ツグミ	E-39	(1) 4～5月は雨やくもりが多かった。先週までいたツグミが忽然と消えた。この冬ツグミの個体が少ない気がした。ロシアの戦争の影響もあるのでしょうか。
4	ツグミ コガモ ツバメ オオヨシキリ	A-2	(1) 晴れ。風もなくおだやかな朝でした。クワの実が赤く色づき始め、鳥たちのエサになる日も近いと思われる。本日は17種、冬鳥はツグミ、コガモが、夏鳥はツバメとオオヨシキリが観察されました。
4		A-4	(1) 晴れ、雲量7、北東1。桑の木があちこちにあり、桑の実が色づいていた。対岸（左岸）からオオヨシキリの声が聞こえていた。 (2) 休日なので河川敷はスポーツをする人が大勢だった。
4	チョウゲンボウ カンムリカイツブリ イソシギ キビタキ	A-6	(1) 今回は新しい発見が盛り沢山でした。まず西新井橋近くのマンションのベランダにチョウゲンボウ2羽、続いて川の中でカンムリカイツブリ2羽が求愛行動をしていたこと。今年はオオヨシキリの個体数が例年の5割増くらいに感じます。シギチはイソシギ1羽だけでしたが、最後に尾竹橋公園でキビタキのさえずりを聞き、5分くらい粘って姿を確認できました。
5	ムクドリ スズメ ガビチョウ	B-12	(1) 初回の調査になりました。川沿いで長さ1kmですが、幅も100m以上あるので、できるだけ丁寧にまわることになりました。首都高速沿いのため、直下の土手上遊歩道では、鳴き声の聞き取りに限界があるように思います。ムクドリが多いことはわかっておりましたが、スズメの姿が予想より少なかったです。荒川は水量が多く、シギチドリの姿がありませんでした。川沿いの木々にはガビチョウがいて、ずっとさえずりが聞こえていました。

令和7年5月（観察日誌）

観察日	種 名	モニター番号	観 察 日 誌
5		B-13	(1) 河川敷で土木作業あり、野鳥が少ない。
5		B-14	(1) 天候もよく、風もないので多くの野鳥が見られると思ってこの日の調査を行ったが、確認された野鳥は非常に少なかった。当日一般ごみの回収日だったのでカラスがもっといるものと思われたが、ほとんど確認出来なかった。これはごみ収集場所にネットを張るのが徹底されてきたためと思われる。
6	オナガ シジュウカラ スズメ ドバト	E-31	(1) 春本番で、やっと暖かくというか、むしろ暑くなってきました。野鳥の数も増えてきました。時期的に水鳥の姿が見えないのが残念ですが、各所でオナガ、シジュウカラ、スズメのさえずりが聞こえて気持ちよかったです。 (2) 前回姿が見えなかった飯塚橋橋脚下部にドバトが復活していて、独占状態でした。スズメの営巣箇所を今年も大谷田一丁目団地4号棟で確認しましたが、雛の姿は確認できませんでした。 (3) この時期は新緑がきれいで、特にケヤキが爽やかです。また近隣民家のバラがきれいに咲いていました。ジャスミンも香っていました。
7	オオヨシキリ ヒバリ コチドリ ムクドリ	A-1	(1) 荒川河川敷のヨシ原は、どこからでもオオヨシキリのさえずりが聞こえ、賑やかでした。 (2) ヒバリが地面からさえずりながら飛び立つ姿を確認しました。 (3) 荒川河川敷グラウンドにてコチドリ2羽を観察したが、内1羽は片足で、双眼鏡でよく見なければわからないほど普通の動きに見えました。 (4) ムクドリが白い大きな芋虫を地面に叩きつけながら運んで行く姿がかわいかった。 (5) 干潮時を狙って行ったが、この日は干潟に何も観察することができなかった。
7	カルガモ コサギ カワセミ ツバメ キビタキ	C-21	(1) 見沼代親水公園から調査を開始し、水路にはカルガモを6羽確認しました。 (2) 毛長川では、コサギ、水面のすぐ上を飛翔するカワセミ、川の上空ではツバメを観察しました。 (3) 毛長川に隣接する舎人緑道公園では、さえずるキビタキを観察しました。担当地区でキビタキの観察は初めてです。

令和7年5月（観察日誌）

観察日	種 名	モニター番号	観 察 日 誌
7	ワカホンセイインコ	D-30	(1) 雨が降った日の翌日を選んで調査をしましたが、風が強いこともあってか数も種類もとても少なかったです。 (2) 電柱に、カラス営巣有り、と書かれた注意喚起があり、確認日が3月24日になっていました。ワカホンセイインコが20羽弱止まっている電線の電柱で、気をとられて4月の観察で気がつかなかったことを反省いたしました。
8	オオヨシキリ	B-15	(1) あっちからもこっちからもオオヨシキリの声がにぎやかでした。
8	カルガモ	D-23	(1) カルガモが5月6日午後以後（夜？）12羽生まれたとのこと。元気のよい子ばかりでした。毎年見ているが池のふちにカメがいるのを発見したのは初めてだ。近所の鳥好き散歩人によるとカメが首を伸ばして幼鳥をいじめるそうだ。3匹いるとのこと。30cmぐらいの大ガメとそれより少し小さいのを見た。首を伸ばしていた。カモの家族はよけていたように見えた。
9		D-27	(1) くもり、23℃。いつもは多く観察される西保木間児童公園は活動が低調でした。
11	ゴイサギ	B-11	(1) 鳥の種類、数とも少なかった。農家の溜池でゴイサギを確認した。担当エリアで初めてです。
11	スズメ オナガ	D-25	(1) スズメの数がやや減っているようです。カラスは減り、オナガが増えています。
13	ハシボソガラス	B-10	(1) 河川敷の高圧鉄塔（3月4日報告分と同じ鉄塔）の鉄骨の巣の上で、ハシボソガラス親鳥1羽と雛2羽（羽は黒い）を確認した。 (2) ハシボソガラスが、グラウンドの芝の上で貯食行動をした。クラッカー2枚を地面に置き、その上に枯草を置いて隠していた。 (3) ハシボソガラスが、土手下の道路上で、上空からくちばしでくわえたクルミを落として割ろうとする行動を繰り返していた。両足でクルミを固定してくちばしでつついて割ろうとする行動もしていた。結局クルミは割れず、クルミをくわえて飛び去って行った。
13	ムクドリ	D-26	(1) ムクドリがマツの木のウロに入った。偵察しているようだった。 (2) 公園の草に朝露。久しぶり。

令和7年5月（観察日誌）

観察日	種 名	モニター番号	観 察 日 誌
1 3	アオサギ ダイサギ コサギ イソシギ キアシシギ	C-18	(1) 暖かい晴天。大潮の干潮時で川では干潟が多くみられ、アオサギ、ダイサギ、コサギ、イソシギの他、担当地域では珍しくキアシシギが観察された。
1 3	ツミ	E-40	(1) 最近、東綾瀬公園では、スズメの姿が減り、本日も一羽もみかけませんでした。自然環境の影響でしょうか。一方、ツミのつがいが増作りのために飛び回り、さかんに枝を集める様子が見られました。小さな変化から自然の今を感じた一日でした。
1 4	スズメ シジュウカラ	A-5	(1) 風のない、薄曇りの朝でした。巣の材料とするのか、ワタのような繊維状の固まりを運ぶスズメも観察できました。 (2) タワマンの周囲の植栽作業が進んでいます。川へアクセスする歩道とシームレスにつながることでしょう。これで、野鳥も少し戻るかもしれません。 (3) 千住神社の狛犬付近の樹木か周辺にシジュウカラが営巣しているかもしれません。葉がぎっしりあるので目視できませんが、小さな鳴き声がずっと聞こえていました。シジュウカラがほぼ1年中見られる場所でもあるので、気にしてみたいと思います。
1 4	アオサギ	B-16	(1) 薄曇り。野鳥というより町鳥が草刈り後の河川敷に分散して地表に。 (2) アオサギがいつもの場所で観測できた。
1 4	オオバン カワウ スズメ ムクドリ ツバメ	E-34	(1) 5時10分に自宅を出発。5時40分観察起点の中川沿いをスタート。3月とは一変して川面は静かで、ヒドリガモやカモ類の姿が見えない。やっとオオバン1羽を確認。暫くするとカワウが1羽、今日の中川での水鳥はこの2羽のみであった。毎年のことだが寂しい限り。スズメは土手に生い茂ったイヌビエの実を忙し気に食べては、土手と住宅街を行き来している。ムクドリはゴルフ練習場を中心に賑やかである。今年もツバメが昨年同様に六木二丁目の事業所周辺で確認できる。昨年放置された事務所棟の巣は撤去されているが、今年も隣接されている倉庫内で営巣している。開け放された2ヵ所の出入り口を行き来していた。

令和7年5月（観察日誌）

観察日	種 名	モニター番号	観 察 日 誌
18	ツバメ	A-8	(1) ツバメが土手において虫をくわえて民家のほうに飛んでいた。
18		E-32	(1) 今回は野鳥モニターでの調査が初めてでしたが、よく観察していると意外と多くの種名と個体数があるとわかりました。次回以降はより注意深く調査していきたいです。公園は犬の散歩をしている人が多いため、時間とタイミングによって多少個体数が異なってくる可能性もあると思い、次回が楽しみです。
20	ツバメ ウグイス オナガ ムクドリ カワウ	E-36	(1) ツバメを3カ所で確認した。花畑川の上空を飛んでいた2羽が、他の調査地域の民家の軒下の巣に入ってしまった。 (2) 遊歩道でウグイスのさえずりが聞こえた。それに刺激されたのか、オナガやムクドリなど他の鳥たちも鳴き始めていた。 (3) 堀川でカワウが潜水して魚を捕らえ、丸呑みする様子を観察した。かなり大きかったが、上手に呑み込んでいた。
22	ヒヨドリ カルガモ アイガモ	C-20	(1) 5月上旬はキビタキやオオルリなどが来ていましたが、下旬になるといなくなりました。 (2) ヒヨドリが急に少なくなり、コゲラやサギ類、メジロ、カワセミなども見られませんでした。 (3) カルガモやアイガモの子育ても見られませんでした。コゲラの巣もありません。
24	スズメ ドバト オナガ ムクドリ カルガモ	E-38	(1) 北三谷公園にパンくずあり。スズメ、ドバト、オナガが群がっていた。 (2) 北三谷小学校近くでムクドリがオナガの鳴き真似をしていた。 (3) 東和親水公園にカルガモが2羽いた。
25	ハシブトガラス スズメ コゲラ カルガモ	D-28	(1) 朝まで残った雨が上がるのを待って、いつもより30分遅れて出発した。ケヤキの木の巣の上でハシブトガラスの幼鳥が見られ、路上でエサを与えるスズメの親子も見た。この時期、まだコゲラがいた。めずらしく桜花亭の池にカルガモのつがいがいた。
27	ツバメ	D-24	(1) ツバメが飛んでいてもうそんな時期かと感じました。川の上流含め雨で水が濁っていることもあり、水鳥には出会いませんでした。

令和7年5月（観察日誌）

観察日	種 名	モニター番号	観 察 日 誌
28	ツバメ	A-3	(1) 巣にいるツバメを4個体みた（巣で座りこんでおり恐らく抱卵中）。
29	スズメ	E-37	(1) スズメは三箇所で電柱のパイプ内に営巣しているのを確認しました
31	ムクドリ	C-22	(1) 公園脇の住宅にムクドリが営巣しておりました。1軒のお宅には2ヵ所あり、どちらも親鳥が頻繁に餌を運んだり、糞を出したり忙しそうに出入りしていました。親鳥が戻ると雛たちの元気な声が聞こえてきて、とても微笑ましくなりました。

令和7年5月（繁殖行動確認）

確認日	種 名	モニター番号	確認場所	繁殖と判断した根拠	コメント
1	シジュウカラ	C-21	舎人公園 調査巣箱-11	営巣 糞運び 巣内雛 給餌 餌運搬	(1) 5月1日～11日 青虫を咥えて巣箱に入る親鳥を観察しました。また、巣を出るときに雛の糞と思われる物を咥えて運び出す様子も観察しました。 (2) 5月14日～18日 巣箱の出入口からヘビが顔を出す状況を確認しました（その後のシジュウカラ出入り無し）。
6	スズメ	E-31	大谷田一丁目	営巣	(1) 大谷田一丁目団地4号棟「4」の下部に営巣している。雛のすがたは見えないが、成鳥2羽が並んでいたり、行ったり来たりのを繰り返していた。 (2) 白い糞の跡は、それほど目立たなかった。
7	セッカ	A-1	荒川河川敷	さえずり	(1) さえずりながら飛翔する姿を確認。草地にとまってさえずるのを聞いた。
7	スズメ	A-1	小台二丁目 道路脇	営巣	(1) 電柱のトランスに巣を確認。すぐ下にスズメが1羽、周りを警戒していた。
7	オオヨシキリ	A-1	荒川河川敷	さえずり	(1) 荒川河川敷のヨシ原は、どこからでもオオヨシキリのさえずりが聞こえ、賑やかでした。

令和7年5月（繁殖行動確認）

確認日	種 名	モニター番号	確認場所	繁殖と判断した根拠	コメント
7	ムクドリ	A-1	小台一丁目 ホームセンター 付近の道路脇	餌運搬	(1) 大きな芋虫を地面に叩きつけながら運んでいた。
7	ヒバリ	A-1	荒川河川敷	さえずり	(1) 地面からさえずりながら飛び立つ姿や、上空でさえずりながらとどまっている姿が確認できた。
7	ハシブトガラス	D-30	山王堀公園前 電柱	営巣	(1) 電柱に「カラス営巣あり 除去までしばらくおまちください」と貼紙あり。小さな枝やハンガーでつくられた巣があり、2羽のハシブトガラスがいた。
7	ムクドリ	D-30	都営保木間五丁目 アパート付近	営巣	(1) ビニールひもの巣材をくわえて飛んでいた。
7	ムクドリ	D-30	保木間五丁目 住宅街 民家	巣の出入り	(1) 巣材のようなものをくわえて戸袋に入っていた。
8	カルガモ	D-23	ベルモント公園	家族群 幼鳥	(1) 毎日公園を散歩している鳥好きの人2人に聞き込んだ。5月6日には幼鳥はいなかった。7日は朝いた。8日は元気ある幼鳥になっていた。
11	シジュウカラ	E-36	神明六木遊歩道	さえずり	(1) 数カ所でさえずりが聞こえた。

令和7年5月（繁殖行動確認）

確認日	種 名	モニター番号	確認場所	繁殖と判断した根拠	コメント
11	シジュウカラ	C-21	舎人公園 調査巣箱-2	営巣 巣内雛 給餌 家族群 幼鳥	(1) 5月11日 巣箱に入るシジュウカラを確認、巣箱の中には嘴が黄色いヒナを確認しました。 (2) 5月15日 虫を咥えて巣箱に入る親鳥を観察した。また、巣を出るときに雛の糞と思われる物を咥えて運び出す様子も観察しました。
13	ムクドリ	C-18	鹿浜橋 橋の継ぎ目	営巣 雛の声 巣内雛 給餌 巣の出入り 家族群 幼鳥	(1) 2羽の親が交互に雛に餌を運んでいた。 (2) 親が飛び立つとき、一瞬雛が顔を見せた。 (3) 給餌時、雛の声がよく聞こえた。
13	ツミ	E-40	東綾瀬公園内 樹木	営巣	(1) 巣作りのために枝を集めている。
14	スズメ	A-5	千住緑町一丁目 集合住宅付近 電柱	交尾	(1) 緑町のスズメは、低圧引込接続箱に出入りしていることが多いです。
14	ツバメ	A-5	千住宮元町 タクシー会社 敷地内	営巣 抱卵	(1) 壁面に巣があり、毎年ツバメが営巣します。この日は親鳥が巣の中に入り、じっとしているところから抱卵中と判断しました。
15	ムクドリ	A-2	荒川土手近 民家の戸袋 (4ヵ所)	給餌	(1) 戸袋の中にエサをくわえて入る。

令和7年5月（繁殖行動確認）

確認日	種 名	モニター番号	確認場所	繁殖と判断した根拠	コメント
16	ムクドリ	D-26	西綾瀬三丁目 民家	餌運搬	(1) 警戒してか、なかなか巣に入らなかった。
16	カルガモ	D-26	五反野親水緑道 水路上流 フラワーポット内	抱卵	(1) 21日の個体とは別。
16	シジュウカラ	C-21	舎人公園 フィットネス広場	営巣 糞運び 巣内雛 餌運搬	(1) フィットネス広場にある注意の看板柱にシジュウカラが営巣しており、3～5分位の間隔で青虫などの餌を運んでいました。 (2) また、給餌後にヒナの糞を嘴に加えて飛び出す様子も観察しました。
16	シジュウカラ	C-21	舎人公園 調査巣箱-6	営巣 糞運び 餌運搬	(1) 5月16日～26日（1回目の繁殖）虫を咥えて巣箱に入る親鳥を観察した。また、巣を出るときに雛の糞と思われる物を咥えて運び出す様子も観察しました。
16	ツバメ	A-2	新田二丁目 民家入り口	抱卵	(1) 抱卵。
18	ムクドリ	A-8	宮城公園	営巣	(1) 民家の戸袋の中に何度も出入りしていた。
18	キジバト	A-8	南宮城公園	抱卵	(1) スギの木の奥に巣があるらしく、抱卵しているようでじっとしていた。
18	カルガモ	C-19	見沼代親水公園	家族群 幼鳥	(1) 成鳥2羽が幼鳥5羽をつれていた。

令和7年5月（繁殖行動確認）

確認日	種 名	モニター番号	確認場所	繁殖と判断した根拠	コメント
18	ムクドリ	C-19	舎人二丁目 民家	雛の声 巣の出入り 餌運搬	(1) 民家の戸袋の中に成鳥2羽が何度も餌をくわえて出入りしていた。
18	スズメ	E-36	神明一丁目	営巣 雛の声 巣の出入り	(1) 電柱トランスに親鳥2羽が出入りし、雛の声がした。
18	キジバト	E-32	大谷田公園	営巣	(1) 巣材（木の枝）を集めていた。
19	シジュウカラ	C-21	舎人公園 調査巣箱-5	営巣 給餌 餌運搬	(1) 5月19日 巣箱の出入口から顔を出すシジュウカラを確認。周囲の様子を確認している。（営巣中？） (2) 5月27日 虫を咥えて巣箱に入る親鳥を観察した。 また、巣を出るときに雛の糞と思われる物を咥えて運び出す様子も観察した。
19	ツバメ	A-2	新田一丁目 民家入り口	抱卵	(1) 抱卵（後日カラスに襲われた由）。
20	シジュウカラ	C-20	舎人公園	営巣 雛の声 給餌 さえずり 餌運搬	(1) 舎人公園に設置した巣箱10個のうち3ヵ所で営巣が確認できました。しかしその中の1個はアオダイショウにやられました。巣箱以外にも木の柱のすきまに営巣が見られました。

令和7年5月（繁殖行動確認）

確認日	種 名	モニター番号	確認場所	繁殖と判断した根拠	コメント
20	カイツブリ	C-20	舎人公園	営巣 雛の声 巣立ち雛 給餌 家族群 餌運搬 幼鳥	(1) カイツブリの親子が2カ所で見られました。1カ所は親1羽と子2羽、もう1カ所は親1羽と子1羽でした。これとは別に、葦の茂みの中で抱卵している様子も見られました。
20	カルガモ	C-21	古千谷本町三丁目 見沼代親水公園	家族群	(1) 親水公園の水路で5羽のヒナと親鳥を確認しました。
21	カルガモ	D-26	五反野親水緑道 水路上流 フラワーポット内	抱卵	(1) 16日とは別の個体。16日の個体は観察できず。
23	カルガモ	D-26	拘置所脇水路	巣立ち雛 抱卵	(1) 16日のカルガモがヒナ10羽を連れて泳いでいました。21日のカルガモは抱卵中。
24	ハシボソガラス	E-38	谷中公園	営巣	(1) 枝をくわえていた。
24	シジュウカラ	E-38	谷中公園	営巣	(1) 木の幹の穴に営巣していた。
24	スズメ	E-38	東和五丁目	巣立ち雛	(1) 成鳥2羽が幼鳥1羽をつれていた。
24	スズメ	E-38	東和五丁目	雛の声	(1) 電柱内で雛の声がした。
24	ハシブトガラス	E-38	東和四丁目 川沿い	巣立ち雛	(1) 1羽で歩いていた。

令和7年5月（繁殖行動確認）

確認日	種 名	モニター番号	確認場所	繁殖と判断した根拠	コメント
25	ムクドリ	E-39	中川	営巣	(1) 5月3日にはまだ少ない気がしたが、次の週あたりから巣材運び、今日も虫運びが盛んに行われていた。
25	シジュウカラ	E-39	中川	家族群	(1) シジュウカラの巣立った子供たちがエサをねだってニーニーニー鳴きながら一緒に移動していた。
25	ハシブトガラス	D-28	花畑五丁目 毛長公園 ケヤキの木 巢の上	幼鳥	(1) ケヤキの大木に4カ所の巣があり、そのうちの1カ所で動く物があった。かなり大きくなっていたが、くちばしのハシにまだ黄色が残っていた。
25	スズメ	D-28	花畑五丁目 浅間神社前の路上	給餌	(1) (親子がいて) 路上でエサをあげていた。
25	スズメ	D-28	花畑五丁目 花畑団地25号棟 前公園の木の中	幼鳥	(1) 近づいても逃げず、大きくはなっているが、くちばしのハシの黄色が残っていた。
25	ムクドリ	B-11	扇三丁目倉庫	雛の声 給餌	(1) 屋根の隙間3~4カ所に成鳥が餌を運んでいた。雛の声もしていた。
26	ハシブトガラス	A-9	柳原稻荷神社 大踏切通り	家族群	(1) つがいの群れ。
26	キジバト	E-35	佐野公園	営巣	

令和7年5月（繁殖行動確認）

確認日	種 名	モニター番号	確認場所	繁殖と判断した根拠	コメント
26	カルガモ	C-21	古千谷本町三丁目 見沼代親水公園	抱卵	(1) 見沼代親水公園の水 路脇に5月20日の 観察で抱卵と思われ る様子であったが、確 認できなかった。5月 26日の観察でも同 じ場所で抱卵と思わ れる様子が継続され ている。
27	カルガモ	D-26	拘置所脇水路	巣立ち雛 抱卵	(1) 16日のカルガモの ヒナが6羽になった。 21日のカルガモは 抱卵中。
28	ツバメ	A-3	千住東二丁目 民家 千住曙町屋根付き 車庫	営巣 抱卵	(1) 卵自体は観察してい ないが、親鳥が座って 温めている姿勢。
29	スズメ	E-37		営巣 給餌	(1) 三カ所で電柱のパイ プ内に営巣している のを確認しました。
31	ムクドリ	C-22	白旗塚史跡公園脇 住宅地	営巣 抱卵 抱雛 雛の声 糞運び 給餌	(1) 公園脇の1軒のお宅 には2カ所で子育て をしていました。白旗 公園脇の住宅地は4 軒ほどムクドリの為 に雨戸を利用してく れておりました。

令和7年6月（繁殖行動確認）

確認日	種 名	モニター番号	確認場所	繁殖と判断した根拠	コメント
1	カルガモ	D-26	拘置所脇水路	巣立ち雛	(1) 5月16日の個体のヒナが4羽になった。
1	カルガモ	D-26	五反野親水緑道 水路上流 フラワーポット内	抱卵	(1) 5月21日の個体。
1	ハシボソガラス	E-36	葛西用水	幼鳥	(1) 木の枝に止まった幼鳥が羽をふるわせながら鳴いていた。
4	カルガモ	C-21	古千谷本町三丁目 見沼代親水公園	家族群	(1) 5月に報告したカルガモが6月4日の観察でヒナ1羽を確認しました。抱卵していた場所には、卵が一つ残っていました。 (2) 毎日散歩している方に話を聞くと、6月2日に10羽のヒナが誕生したが、翌日には1羽しか確認できなかったとの事。
4	カルガモ	D-26	五反野親水緑道 水路上流 フラワーポット内	抱卵	(1) 5月21日の個体。
4	カルガモ	D-26	拘置所脇水路	巣立ち雛	(1) これまでどこで抱卵していたか不明だが、ヒナ9羽を連れていた（新たな個体）。
5	ハシブトガラス	D-30	名地公園	幼鳥	(1) 幼鳥2羽が親らしき1羽のハシブトガラスに餌をねだるが、拒否するようなしぐさをしていた。

令和7年6月（繁殖行動確認）

確認日	種 名	モニター番号	確認場所	繁殖と判断した根拠	コメント
5	ムクドリ	D-30	保木間五丁目	雛の声	(1) 民家の戸袋からひなの声。2羽のムクドリがやってきて、1羽が餌のようなものをくわえて戸袋の中へ入っていった。1羽は電線で見えていたが、2羽はまた別々の方向へ飛んでいった。
5	カイツブリ	C-21	舎人公園 大池	営巣 巣立ち雛 給餌 家族群	(1) 5月下旬に、大池の東側のヨシ原の中で営巣していると思われる状況がありました。 (2) 6月4日には、親鳥がエビと思われる餌を咥えて巣に運ぶ様子を観察しました。 (3) 6月5日にヨシ原からヒナを背中に乗せて大池の東側に出て、給餌する様子を観察しました。
7	カルガモ	D-26	拘置所脇水路	巣立ち雛	(1) 6月4日に抱卵していた個体。ヒナが8羽になった。
9	カルガモ	D-26	拘置所脇水路	巣立ち雛	(1) 5月21日の個体。ヒナ8羽を連れていた。巣立ちの跡があり、6月8日に巣立ったと聞いた。
9	カルガモ	D-26	五反野親水緑道 水路上流 フラワーポット内	抱卵	(1) 5月16日、21日、6月4日とは別の個体。
9	ツバメ	E-36	神明二丁目	営巣 巣の出入り	(1) 工場内の巣に何度も出入りしていた。

令和7年6月（繁殖行動確認）

確認日	種 名	モニター番号	確認場所	繁殖と判断した根拠	コメント
13	ムクドリ	C-21	見沼代親水公園 (古千谷本町三丁目)	給餌 家族群	(1) 親水公園の歩道にムクドリの家族と思われる親鳥と幼鳥を確認しました。 (2) 親鳥が幼鳥に給餌している様子を観察しました。
15	カルガモ	D-26	拘置所脇水路	幼鳥 抱卵	(1) 6月9日の個体。どの親かわからないが幼鳥が7羽いた。 (2) 抱卵していた。
16	ハシボソガラス	C-21	舎人公園	営巣 抱卵	(1) D地区の野球グラウンド東側の木にハシボソガラスの巣を発見しました。巣の中に親鳥の確認はできませんが、巣は木の上部にあるため中の状況は確認できません。営巣している木に近づくと、親鳥が近くに飛来して威嚇してきました。この場所を散歩されている方が後方から帽子をカラスに触れられることがあった話を聞きました。
16	シジュウカラ	C-21	舎人公園 調査巣箱-1	営巣 巣内雛 餌運搬	(1) 虫を咥えて巣箱に入る親鳥を観察しました。

令和7年6月（繁殖行動確認）

確認日	種 名	モニター番号	確認場所	繁殖と判断した根拠	コメント
16	ツミ	B-14	上沼田第二公園	雛の声 巢内雛	(1) ツミの巣からやっと雛が確認出来ました。複数の雛が居るようですが、枝が邪魔で正確な数はわかりませんが、4羽は居るようです。
17	ツバメ	C-21	舎人公園 芝生広場の売店	営巣 雛の声 巢内雛 給餌 巣の出入り 餌運搬 幼鳥	(1) ネモフィラ畑近くの売店の屋根にツバメが営巣しました。 (2) 6月17日に3羽のヒナを確認出来ました。 (3) 6月26日の観察で雛は大きく成長し、親鳥は頻繁に給餌をしていました。 (4) 7月3日の観察で3羽の雛は更に育っておりもうすぐ巣立ちと思われます。 (5) 7月5日に観察に行きましたが、既に巣立っていました。
23	シジュウカラ	C-21	舎人公園 調査巣箱-8	営巣 糞運び 給餌	(1) 6月23日～28日青虫を喰えて巣箱に入る親鳥を観察しました。また、巣を出るときに雛の糞と思われる物を喰えて運び出す様子も観察しました。

令和7年6月（繁殖行動確認）

確認日	種 名	モニター番号	確認場所	繁殖と判断した根拠	コメント
26	ツミ	B-14	上沼田第二公園	巣立ち雛 巣内雛	(1) 巣から1羽の雛が50センチほど出ているのが確認出来ました。その他の雛はまだ巣の中に居るようです（巣の中の雛はまだ頭の白いものもいるようです）。
29	ツバメ	E-36	六木三丁目	巣立ち雛	(1) 電線にとまった3羽が、花畑川の上と何度も行き来していた。

令和7年7月（観察日誌）

観察日	種 名	モニター番号	観 察 日 誌
1	ドバト ムクドリ ツバメ	E-34	(1) 5時10分、自宅を出発。5時40分に調査起点の中川土手より調査開始。薄曇り微風で調査日和という感じで助かる。川面に鳥の姿は見えない。ドバトが多く10羽～15羽程の集団を3組見かける。いつも見かけるゴルフ練習場のムクドリの数が少ないが、親鳥が出入りする円筒鉄骨からは幼鳥の声が聞こえる。ムクドリは「佐野いこいの森」で多く見られ、タブの木の実を忙しく食べていた。工場周辺で幼鳥と飛ぶツバメを見たので、早朝出勤の従業員の方に話を伺いました。5月報告通りで工場屋外の巣は放棄され今は工場内に2か所の巣（以前は5か所）があり、今年は5～6羽の雛が孵ったとのことです。
1	ツミ カワセミ	E-40	(1) ツミの巣を発見。親鳥の姿はなく、雛らしき鳥が盛んに鳴いていました。 (2) 池の上を低く飛ぶカワセミを東綾瀬公園で初めて観察しました。青い羽根が印象的でした。
1	オナガ ドバト	D-29	(1) 元淵江公園のオナガは個体数が多く、カウント30羽でストップしました。例年元淵江公園のツミの営巣が見られるのですが今年は残念なことに放棄したようです。ドバト30羽はレース用のハトのようです。
1	ムクドリ ドバト	B-10	(1) 朝から気温が高く、日差しが強かった。鳥も夏枯れという状態で、ムクドリとドバトばかりだった。草が背より高く茂っていて、川面まで見通せない状態であった。
2	ワカケホンセイインコ	D-30	(1) 山王堀公園そばの電柱のカラスの巣は空になっていて、ワカケホンセイインコが遊んでいた。
2	カワセミ ヒヨドリ	E-36	(1) 中川で対岸からカワセミが飛んで来た。この時期に初めて確認できた。ヒヨドリが熟れたビワの実をついばんでいた。
3		A-2 (代理)	(1) 新田全域の代理調査をおこないました。街中の公園とは違い、野鳥の多さにはびっくりです。荒川右岸新田緑地は秋から冬にかけてよく野鳥撮影に訪れます。今年はモズ、ガビチョウの営巣もみられました。今朝はオオヨシキリの鳴き声は聞こえませんでした。営巣が始まっていると思われます。

令和7年7月（観察日誌）

観察日	種 名	モニター番号	観 察 日 誌
4	カルガモ カワセミ ツバメ スズメ	C-21	(1) 見沼代親水公園から調査を開始し、水路には今年繁殖したと思われる6羽を含めたカルガモ15羽を観察しました。 (2) 毛長川では、尾久橋通りより下流の岸辺でカワセミ、川の上を飛翔するツバメを観察しました。 (3) 今回の調査ではスズメが多く、カラス類が少ないと感じました。
4	ハシボソガラス	B-17	(1) 7月1日調査の「扇大橋～西新井橋」と同様にこちらも夏枯れ状態で、種類・数ともに少なかった。 (2) 河川敷の高圧鉄塔（5月13日報告分と同じ鉄塔）の鉄骨上のハシボソガラスの巣については、すでに巣立ち後のようで、雛等は確認できなかった。同じ鉄塔の下の方の台の上で、ハシボソガラス2羽が寄り添っていた。
5	キジバト ドバト オナガ	B-14	(1) ここのところの高温のため、やや曇天の日を選んで、通常よりも少し早い時間（10分程度ですが）に調査を始めました。今回の調査では、いつも多数確認される西新井さかえ公園の鳩類（キジバト、ドバト）が殆ど確認出来なかった。繁殖行動の欄にも記載しましたが、亀田公園で多数のオナガが確認でき、公園内の楠木に巣が2つ確認できました。公園内に居た地元の方の話では、最近オナガの声がうるさいとのことであり、5月の調査日（5月5日）以降に営巣されたものと思われます。
5	オナガ ドバト ムクドリ スズメ	D-25	(1) 相変わらずオナガの数が非常に多い。 (2) 公園の水飲み場でドバト、ムクドリ、スズメが群れていた。 (3) 全体に数は少ない。
5	ヒヨドリ カワラヒワ ドバト ムクドリ	E-32	(1) 今回は前回観察できたシジュウカラを見つけられなかった。その代わりにヒヨドリとカワラヒワを観察できた。また、足立区郷土博物館前の川沿いの休憩所にエサがあり、ドバトが食べていた。暑さも関係しているのか、鳥の活動量が全体的に少ない気がした。 (2) 公園の日陰にいたり地面に座り込んでいたりするドバトを3羽見た。 (3) ドバトとムクドリが群れて、エサをついばむ様子を多く観察できた。

令和7年7月（観察日誌）

観察日	種 名	モニター番号	観 察 日 誌
6	オオヨシキリ カルガモ	A-6	(1) オオヨシキリのさえずりはトーンが落ちていた。カルガモの親が雛を4羽連れて干潟に出ていた。河川敷はアシに変わってセイバンモロコシが優勢になっていて、草丈が高いため河川敷の通路からワンドが見えなくて残念でした。
9		A-4	(1) 晴れ、27℃、南東の風、風力2。セミ（アブラゼミ？）があちこちで鳴いていた。荒川対岸（左岸）ではオオヨシキリの song。
9	カルガモ	D-26	(1) むし暑い朝でした。若鳥のカルガモが7羽いました。拘置所脇水路、遊歩道の改修後に姿が見られなかったコシアキトンボが飛んでいました。散歩中の方々から鳥の話を聞かせていただきました。ニイニイゼミの声も聞けました。
10	スズメ カルガモ	D-23	(1) 朝から30℃超え。街には1羽もいなかった。高いところでスズメの声が聞こえただけ。 (2) ベルモント公園で今年生まれのカルガモかもしれないが、池のへりの日かげで8羽が休んだり水を飲んだりしていた。見続けたが水に入らない。成鳥と羽に白いのが混じった幼鳥1羽がいた。しかしまた生まれたかは不明。池の中島に成鳥が1羽いた。
12	ドバト	E-31	(1) ここ数日、猛暑続き、熱帯夜続きで、人間も野鳥もバテ気味の日が続いています。昨日、今日は、猛暑日の休憩なのか、梅雨の戻りなのか、過ごしやすい気候です。しかしながら時期的なこともあって、野鳥の数も種類も少なく感じました。 (2) 飯塚橋橋脚下部のドバトは、完全復活していて、他の野鳥は近寄らせないような勢いです。この時期は花の少ない時期ですが、そんな中でも春花・夏花のピンクのムクゲや赤いキョウチクトウが季節を感じさせてくれました。又、温暖化の影響なのか、数箇所、もうサルスベリの赤い花が元気に咲いていました。今年の夏は長いようですが、次回9月の観察時、どんな状況になっているのか楽しみです。 (3) 大谷田一丁目団地4号棟の「4」で、幼鳥の姿は、確認できませんでした。
12	ハシブトガラス ドバト	E-33	(1) モンシロチョウやアゲハ、ニイニイゼミなど昆虫が目立つ夏となってきました。 (2) 本日はハシブトガラスやドバトなど、留鳥が盛んに鳴いたり飛んだりした日となりました。

令和7年7月（観察日誌）

観察日	種 名	モニター番号	観 察 日 誌
13	ドバト	A-8	(1) 公園でハトにエサをやっているお年寄りがいて、その人のまわりがドバトだらけ。ドバトが公園のまわりについて、人が来るとエサがもらえると思い寄ってくる。
13	ヒバリ ムクドリ	B-16	(1) 猛暑にひと区切りついた朝。初めて揚げヒバリを観察した。 (2) ムクドリが圧倒的に多い。
13	オナガ	D-24	(1) 涼しい朝でまだセミも鳴いておらず、小鳥たちのさえずりが心地よかったです。 (2) オナガが存在感のある姿と鳴き声でかなりにぎやかにしていました。 (3) 川の水が増水しており、水鳥は見かけませんでした。
13		B-13	(1) 早朝、河川敷のサッカーグラウンドにサッカーチームが多数。警戒してか野鳥が少ない。
18		B-15	(1) 朝から暑い。暑すぎる。鳥も人影もまばらな河川敷でした。
19	カルガモ カワウ	B-12	(1) 本担当区、2回目の調査になります。梅雨があけ、快晴の朝でした。開始時点で南風が吹いておりましたが、しばらくしておさまりました。土曜日のため、自転車の方やランナーも多かったです。そんな中、土手上の舗装路をカルガモの幼鳥がゆっくり歩いておりました。ランナーの皆さんも気にしていただいていたいました。 (2) 首都高が近いために、オオヨシキリの声が聞こえたように思いましたが、確認できませんでした。また、対岸のセツカはよく聞こえたのですが、こちら左岸は、わかりませんでした。 (3) 本日も前回同様、荒川の水量が多く、担当区の外側で（熊ノ木ポンプ場より上流）、カワウが10羽ほど杭にとまっていたいました。
20	オオヨシキリ スズメ	A-1	(1) 5月には大合唱だったオオヨシキリは、2カ所でわずかに鳴き声を聞いたただだった。 (2) 干潮時間を狙って行っただが、干潟に野鳥の姿は見られなかった。 (3) 何組かのスズメの親子の給餌の様子が見られた。子スズメが親に餌をねだって羽を震わせパタパタしている姿がかわいい。

令和7年7月（観察日誌）

観察日	種 名	モニター番号	観 察 日 誌
20	ムクドリ オナガ ワカホンセイインコ	D-28	(1) 梅雨が明けて2日目、セミも鳴きだし本格的な夏が来た。 ムクドリ、オナガが賑やかだった。久しぶりに集団のワカホンセイインコに出会った。
20		B-11	(1) 暑い朝で、鳥の種類、数も少なかった。
22	シジュウカラ	E-35	(1) シジュウカラの声が少しの間聞こえてきたが、目視する前になくなった。
25	スズメ ツバメ ダイサギ アオサギ イソシギ カルガモ	A-5	(1) 梅雨明け後の猛暑が続いています。6時台は、風がなく、スズメは日陰の草地で過ごしていました。7時台に少し風がでて、湿度はあまりないものの、体力がうばわれる暑さでした（陽ざしが痛い感じです）。 (2) ツバメが50メートルほどの高さを飛翔しており、気がつくのが遅くなりました。帝京科学大付近墨田川の右岸（荒川区側）にはダイサギ（6羽）やアオサギ（2羽）、イソシギ（2羽）が見られました。また、完成した千住大橋のタワーマンション付近墨田川右岸にはカルガモ親子（ヒナ7羽）が見られました。
26		E-38	(1) 暑さの影響かと思われますが、全体的に野鳥の数が少なく感じました。
27	ハシボソガラス ムクドリ	E-39	(1) 夏も真っ盛りで、日にちと時間帯が悪くとても暑くてじっくり鳥見ができなかった。鳥たちも木陰か、草むらで日差しがないところに避難していると思う。ツバメもセキレイもカワウもサギもいなかった。 (2) クマゼミ、ミンミンゼミ、アブラゼミがよく鳴いていた。アゲハチョウ、アオスジアゲハ、トンボがたくさん、バッタも昆虫はたくさんいた。 (3) 口を開けて暑さを凌ぐ若いハシボソガラスの子と蝉を捕まえたムクドリを見るのが精一杯だった。
27	ムクドリ	C-22	(1) 朝から暑くて日陰を探しながらの調査でした。鳥も少なく、みんな暑さをどこかで休んでいる感じでした。公園脇で巣立ったと思われるムクドリたちなのか、飛び回っていました。

令和7年7月（観察日誌）

観察日	種 名	モニター番号	観 察 日 誌
28	カルガモ カイツブリ アオサギ アイガモ ツバメ ヒメアマツバメ ツミ ササゴイ	C-20 (代理)	(1) 気温の高い日が続きますが、大池周辺から調査を開始しました。 (2) 夏の大池は水辺の野鳥が少ないですが、カルガモ、カイツブリ、アオサギ、ダイサギを観察できました。 (3) アイガモ（アヒル）も観察しましたが、池を泳ぐ数より池の周囲での休息や草を食む鳥を多く観察しました。 (4) 大池の上空には多くのツバメが飛び交い、飛びながら給餌する様子も観察しました。また、ツバメの中に混じってヒメアマツバメ3羽の姿も観察出来ました。 (5) キャンプ広場では、ツミが小鳥を追いかける様子を観察しました。 (6) 公園内の観察を続け、大池に戻った時に上空を飛翔するササゴイを観察できました。
29	カルガモ ダイサギ アオサギ ムクドリ	C-18	(1) 暑い晴れの日、満潮時で川ではカルガモが泳ぎ、浅瀬ではダイサギが採餌し、柵の上でアオサギが休んでいた。公園では大きな木の上でムクドリが群れていた。
31		A-9	(1) 夏の暑い時間を避け、鳥の活動が活発。

令和7年7月（繁殖行動確認）

確認日	種 名	モニター番号	確認場所	繁殖と判断した根拠	コメント
1	ツミ	B-14	上沼田第二公園	巢内雛	(1) 雛がすべて巣から出てきました。今まで4羽と思われていましたが、実際は5羽が確認出来ました。父親から受け取った獲物（スズメ）を母親が羽をむしって食べやすくして雛を呼んでいたが、まだ雛は母親のところまで飛べないので、仕方なく更に食べやすく羽をむしってから巣に運んでいました。
1	ツバメ	E-34	六木二丁目 工場周辺	幼鳥	(1) 工場周辺で幼鳥を確認。工場の方にお話を伺う。数年前までは工場敷地内の建物外壁にも巣を作ったが、放棄されたので現在は工場屋内に2か所ほど営巣し、今年は5～6羽の雛が孵（かえ）ったとの事でした。
1	ツミ	E-40	東綾瀬公園 野球場の近く	営巣 幼鳥	(1) 高い木の上にツミの巣を発見。親鳥はおらず、ヒナが盛んに鳴いていました。
4	カルガモ	C-21	古千谷本町三丁目 見沼代親水公園	家族群	(1) 5月20日に親水公園の水路で確認した5羽のヒナが、親鳥と同じくらいのサイズに大きく育っていました。

令和7年7月（繁殖行動確認）

確認日	種 名	モニター番号	確認場所	繁殖と判断した根拠	コメント
5	オナガ	B-14	亀田公園	営巣 家族群	(1) 亀田公園の周辺にオナガが多数確認され、特に砂場の上にある楠木に集中していたので、木の中を観察すると、巣が2つ確認出来ました。前回の調査ではオナガは確認出来なかったのに、5月5日以降に営巣されたものと思われます。
5	スズメ	B-14	トレイン公園	家族群 幼鳥	(1) トレイン公園の植え込みで、多数のスズメが飛び立ったが、その中にまだ上手く飛べない幼鳥が確認できました。しかしながら、営巣場所は確認できませんでした。
5	スズメ	E-32	中川防災公園	雛の声 給餌 幼鳥	(1) 親鳥に餌をねだっていた。離れてしばらく見ていたが、幼鳥は自分で餌は食べていなかった(1羽)。
5	スズメ	E-32	中川東小学校	雛の声 幼鳥	(1) 植木の間から雛の音がして、幼鳥の姿を確認できた(2羽)。
7	シジュウカラ	C-21	舎人公園 調査巣箱-6	営巣 糞運び 給餌	(1) 2回目の繁殖巣箱内にヒナの姿を確認した。暫くすると餌を運ぶ親鳥を確認しました。

令和7年7月（繁殖行動確認）

確認日	種 名	モニター番号	確認場所	繁殖と判断した根拠	コメント
7	ムクドリ	C-21	舎人公園 キャンプ広場	給餌 家族群	(1) 10羽位で地上に降りているムクドリの群れを観察していると、雛に給餌している様子を観察しました
9	シジュウカラ	A-4	千住五丁目 寺院	給餌 幼鳥	(1) 幼鳥だった。
9	ムクドリ	A-4	千住五丁目 診療所	給餌 餌運搬	(1) 餌を咥えて飛んでいた。
9	ハシブトガラス	A-4	日ノ出町15	給餌 幼鳥	(1) 幼鳥に餌を与えていた。
20	スズメ	A-1	小台二丁目 住宅街	給餌 幼鳥	(1) 親子2羽、親子3羽の2組。幼鳥が羽をパタパタさせながら親に餌をねだる姿が見られました。
20	スズメ	A-1	隅田川沿い 土手の上	家族群 幼鳥	(1) 14羽の集団の中に、1羽は嘴がまだ黄色い幼鳥で羽を震わせ親に餌をねだっていて、その他に3羽ほど黒色のはっきりしない小さな幼鳥が混じっていました。
26	スズメ	E-38	東和親水公園	巣の出入り	(1) 電柱に取り付けられている電気ボックスからスズメ1羽の出入りを確認しました。
26	スズメ	E-38	東和四丁目	幼鳥	(1) 幼鳥2羽と親鳥1羽が一緒にいるのを確認しました。

令和7年7月（繁殖行動確認）

確認日	種 名	モニター番号	確認場所	繁殖と判断した根拠	コメント
29	ツバメ	A-3	千住東二丁目 民家	巢内雛	(1) 雛鳥4羽を確認。5月末に確認した巣と同じ巣での子育て（前回の雛は全て巣立ったのは確認済。同じ親による2度目の子育てなのか、別個体が同じ巣を利用しているのかは不明）。

令和7年8月（繁殖行動確認）

確認日	種 名	モニター番号	確認場所	繁殖と判断 した根拠	コメント
9	カルガモ	D-30	毛長川	家族群 幼鳥	（1）幼鳥2羽を連れていた。

令和7年9月（観察日誌）

観察日	種 名	モニター番号	観 察 日 誌
3	オナガ スズメ	B-14	(1) 梅田亀田公園北側の亀田小学校近くの木にオナガが集まっており、幼鳥もいることから営巣していた可能性あり。 (2) 亀田トレイン公園隣の空地（図書館建設予定地）に15羽のスズメが確認出来た。7月に亀田トレイン公園でスズメの幼鳥が確認されたが巣の場所が不明だった。もしかするとこの空地で営巣していた可能性があるのではないかとと思われる。
3		E-40	(1) 9月に入りまだ暑い日が続き野鳥は少なめでしたが、水辺のトンボや草むらの虫の音に秋を感じました。
6	ドバト ムクドリ	E-34	(1) 5時30分、自宅を出発。台風一過の青空微風で清々しい朝にホッとする。中川土手に上ると、大量の布袋草が川下に向かって浮遊している。6時より起点の土手から上流に向かって調査を始める。7月の調査でもドバトを多く見かけたが、今回も土手周辺で多く確認する。半面、ゴルフ練習場を拠点に活発に活動していたムクドリが少なくなった。浮遊物の影響か、カワウやサギ類は確認できなかった。9月の調査で確認できた8種は、3年間で一番少ない調査結果となった。
6		A-8	(1) 公園でまたエサやりの人がいた。トンボが目につくようになった。秋の虫の鳴き声が、朝の時間に眠気を覚ましてくれる。
6		D-26	(1) 影が長くなりました。昨日台風が去り涼しくなるとの予報で調査しました。今夏は記録的猛暑の日々、ひと雨降って息を吹きかえたのは、足元の野草の様です。
6		B-10 (代理)	(1) 台風15号、前日通過後の朝から快晴、探鳥日和。
7	オナガ ドバト	D-25	(1) 暑さのためか、数、種類共に少ない様に見えた。オナガの数が相変わらず多く、元気に鳴いていた。 (2) 島根ではないが近くに鳩舎があるためか、ドバトが多く飛ぶときがある。
8	カルガモ カワウ カワセミ ハシボソガラス	C-21	(1) 9月になっても暑い日が続いており、野鳥の動きも少なく感じていますが、いつもの様に見沼代親水公園から調査を開始し、水辺の野鳥はカルガモ2羽のみでした。 (2) 毛長川ではカワウが潜りながら餌を探す様子を観察、カワセミが下流に向かって飛んでいる様子を確認しました。 (3) 今回の観察でハシボソガラス4羽を観察しましたが、これまでの調査と比べてカラス類の数は少なく感じました。

令和7年9月（観察日誌）

観察日	種 名	モニター番号	観 察 日 誌
8		B-16	(1) すでに体感30℃超え。飛んでいるものはアキアカネとシオカラトンボが少々。土手、河原からは虫の声。
9	ムクドリ キジバト	A-5	(1) 9月になりまして、早朝は秋の気配が感じられます。昨晩降雨があったこともあり、湿気の多い朝となりました。珍しく終了まで風がありませんでした。 (2) 墨田川の水位が高く、対岸も水に覆われておりました。川沿い遊歩道は朝のウォーキングやジョギングの市民が増えました。開始時は薄曇りでしたが、荒川方面から厚い雲が広がり、後半は野鳥の活動も鈍ったように思います。ぽつぽつしたぐらいで天気はもちました。 (3) 本日はムクドリの群が多く見られました。 (4) 千住桜木町公園でキジバトのディスプレイ（頭を低くして進む）が見られました。 (5) 墨堤通沿のコンビニ付近上空でカラスがチョウゲンボウを追いかけていました。
10	オナガ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス	D-29	(1) 元洲江公園ではオナガの群れが飛び回り、40羽でカウントを打ち切りました。 (2) オナガ、ムクドリは暑さに強いのか数の変化は感じられませんでした。 (3) ハシボソガラス、ハシブトガラスが少ないように感じました。 (4) ムシクイ、ヒタキ系の出会いを楽しみにしていましたが、出会いが無く残念でした。
12		D-27	(1) 天気はくもりで26℃。野鳥行動は低調。秋の虫の鳴き声が多い。
13	スズメ ハシブトガラス ハシボソガラス ドバト キジバト シジュウカラ	E-31	(1) 相変わらずの猛暑続きも、やっと終了した感じです。久々の雨天続きで、安心ですが、逆に多すぎで大変なことになっているエリアも多々あって、困った気候になってきました。 (2) 今日明け方は雨で、雨上がりを待って調査をスタートしましたが、気温が高くなかった割には、確認できた野鳥の種類・個体数共に少なく、スズメ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、ドバト、キジバト、シジュウカラの6種でした。野鳥の鳴き声よりも、秋の虫の声や夏の終わりを告げるツクツクボウシの鳴き声が耳につきました。 (3) 飯塚橋下部もドバト1羽しか確認できませんでした。植物は意外に元気で、ムクゲの白、フヨウのピンクやサルスベリの赤・白が綺麗でした。

令和7年9月（観察日誌）

観察日	種 名	モニター番号	観 察 日 誌
14		E-33	(1) 本日は野鳥がとても少なかった。しかし秋が少しずつ近づいているようだ。コオロギやカネタタキなど、鳴く虫がさかんに鳴いていた。
14		A-2	(1) ハギ、クズ、センニンソウ、キクイモなどが咲き、秋を感じる。 (2) 野鳥13種確認、種類も数も少なかった。
17	ムクドリ	B-17 (代理)	(1) 初めての調査地域なので、土手の上からしばらく観察してから調査を始めました、土手の上は高速道路がすぐ近くで、鳥の鳴き声が聞きにくく目視での確認が多くなりました。 (2) 江北橋上空はここ数年ハヤブサが通過することが多く、期待してしばらく待ちました。ムクドリが50羽ぐらいの群れで飛び回っていました。探すと鉄塔にハヤブサらしきがとまっていたましたが、調査地域以外でした。
18	イソシギ カワラヒワ	C-18	(1) 風もなく、暑い晴天。干潮時の荒川鹿浜橋近くでは川底の現れた所でイソシギがせわしく、コサギがゆったりと採餌していた。新芝川の土手の大きな木には、カワラヒワが群れていた。
19	スズメ イソシギ カワウ カルガモ アオサギ	A-1	(1) 河原の茂みにスズメの大群。まだ体色の薄い若鳥も混じっていました。 (2) 荒川沿いにはアシや草木が生い茂り、なかなか川辺を覗くことができません。覗ける場所を見つけて川を覗くと、イソシギ。別場所でカワウ、カルガモ。また別場所で覗くと途端にフワッとアオサギが飛び立ち、圧倒されました。 (3) 今日は残暑を抜けて涼しい朝でしたが、まだ9月、観察できる野鳥の種類も少なく寂しい。
21	チョウゲンボウ ドバト カワセミ カルガモ	E-36	(1) チョウゲンボウがドバトの群れを追いまわしているのが見えた。 (2) 堀川の上を飛んで行くカワセミを確認した。 (3) 神明六木遊歩道で地質調査を行っているため、2カ所立ち入れない場所があった。 (4) 花畑川にアオコか藻が大量発生していて、オイルフェンスらしきものが設置されていた。その周辺にカルガモの群れがいて、アオコか藻か水草(?)を食べていた。

令和7年9月（観察日誌）

観察日	種 名	モニター番号	観 察 日 誌
21	オオバン アオサギ ムクドリ	E-32	(1) 今回は中川でオオバンとアオサギを観察することができました。天気や時間、その他条件によって観察できる種が違うのかなと思いました。また、ムクドリが中川防災公園で群れとなって土を掘ってエサを食べていました。土が少し湿っているように感じました。少し涼しくなってきたため鳥達も活動しやすいと考えていたのですが、前回と比べて観察数が少なかったことが残念です。次回の野鳥モニターに期待したいです。
22	スズメ	B-12	(1) 本担当区、3回目の調査になります。先週を予定していましたが雨予報で避け、本日実施しました。数日朝は涼しいです。夕べも雨が降りまして、土手沿いに運動をする市民は少なかったです。ずっと秋の虫が鳴いていましたが、野鳥も陽が差してから活発になった印象です。 (2) 江北橋脇のエノコログサに周囲にスズメが群れていました。少し実のところへ跳び上がっては降りる行動を繰り返していました。 (3) 前回同様、荒川の水量が多く、シギ類は見られませんでした。
23	ムクドリ	B-11	(1) 鳥の種類、数とも少なかった。休耕田にムクドリの群れがいて、餌をついばんでいた。
24		A-4	(1) 快晴、北の風、風力1、朝の気温は20℃前後。やっと涼しくなった。
25	オナガ ドバト	D-23	(1) 秋めいて鳥達がたくさんいると思ったが、街にはいなかった。 (2) 頭上をオナガの群れが通り、追ったら梅島東公園の木立に集まり、また群れは飛び去った。 (3) ベルモント公園屋根にドバト達。池に水を飲みに降りたり戻ったりしていた。
26		B-15	(1) 虫の声ばかり賑やかで、鳥の声がありませんでした。
27	コサメビタキ エゾビタキ	E-39	(1) この2、3日で秋らしく涼しくなってきました。南下中のコサメビタキとエゾビタキに会えました。定かではないですが、河川にオオヨシキリがいたかもしれないです。ギョギョって少し声が出て、川側のヨシに大きめの存在感のある鳥の姿を一瞬見たなと思いました。

令和7年9月（観察日誌）

観察日	種 名	モニター番号	観 察 日 誌
27		A-6	(1) 秋の渡りを期待しましたが、振られました。草丈が高くて水際の様子が見難かったので、見逃しもあると思います。
27	オナガ	E-38	(1) 気温は下がってきましたが、あまり野鳥がいませんでした。 (2) オナガの幼鳥を確認出来ました。
28	カルガモ	D-28	(1) まだまだ残暑が厳しい9月末日、蚊と格闘しながら歩きました。なんだか淋しいぐらい鳥は少なかった。せっかく毛長川の河川工事も終わり、きれいになったのに、水鳥は皆無！ 桜花亭の池にカルガモが2羽（つがい）いただけだった。
28		D-24	(1) 特別な種がいたわけではありませんが、あちこちから小鳥たちの声が聞こえてきて、にぎやかな朝でした。
28		E-37	(1) なるべく月末近くを狙いましたが、気温が高くやはり全体的に数は少なかったです。
28	ムクドリ オナガ	C-22	(1) 少しずつ気候もよくなり、鳥の数も増えた感じがしました。ムクドリやオナガなど今年生まれと思われる個体がやっと一人前になったという感じがしました。
29	ヒドリガモ アイガモ	C-20	(1) ヒドリガモ（メス）が1羽だけ、アイガモといっしょにいました。 (2) キビタキやオオルリも見erようになりましたが、調査の時はいませんでした。

令和7年9月（繁殖行動確認）

確認日	種 名	モニター番号	確認場所	繁殖と判断した根拠	コメント
6	カイツブリ	B-10 (代理)	荒川左岸	幼鳥	(1) 幼鳥2羽を確認。
19	スズメ	A-1	荒川沿い	交尾 家族群	(1) 100羽かそれ以上の群れ。まだ黒色のはっきりしない若鳥が混じっている。
21	ドバト	D-30	水神橋公園前 電線	幼鳥	
21	オナガ	D-30	名地公園	幼鳥	

令和7年11月（観察日誌）

観察日	種 名	モニター番号	観 察 日 誌
2		B-13	(1) サッカーグラウンドに人が居るせいか、野鳥が少ない。
3	ガビチョウ ツグミ	A-6	(1) 快晴無風で気持ちの良い観察ができました。 (2) モニター調査では初めてガビチョウを観察しました。 (3) 声だけですが、ツグミ（1羽）を今季初めて聞きました。
3	ドバト	C-19	(1) やけにドバトが多いと思ったら、おそらく餌付けしている人がいたらしい。
3		B-10 (代理)	(1) 探鳥日和。河川のカモ類は、荒川右岸に見られる。
5	ヒヨドリ ムクドリ メジロ シジュウカラ	B-14	(1) 11月に入って急に気温が低下してきたが、その影響か夏場に多く見られたムクドリに代わってヒヨドリが多く見られるようになってきた。ただし、梅田亀田公園と亀田トレイン公園の間にある空地（図書館などの区の施設建設予定地）に（ムクドリ）25羽の集団が確認された。また、9月の調査では見られなかったメジロが関原公園で、シジュウカラは稲荷神社と梅田亀田公園で確認された。
5	ヒヨドリ オオバン ムクドリ メジロ ジョウビタキ	E-34	(1) 5時50分、自宅を出発。昨年同様6時20分より中川土手の起点より観察を始める。曇り空10度を下回る陽気で、早朝の調査は手袋が必須と感じた。ヒヨドリの元気な鳴き声が出迎えてくれた。上流にゴミ袋などの浮遊物の中にオオバンを発見、今年もカモ類の到来に期待が高まる。9月度に急増したドバトの姿がなく激減していたムクドリが、ゴルフ練習場を起点に数量を戻した。調査エリアを担当して2年半となるが、初めてメジロ、ジョウビタキ（メス、佐野いこいの森フェンス越し）を確認した。
6	メジロ シジュウカラ ツグミ ジョウビタキ	D-28 (代理)	(1) メジロとシジュウカラの混群が見られました。 (2) 渡ってきたばかりと思われるツグミとジョウビタキ（オス1、メス1）は木のとっぺんや屋根のアンテナの上に居ました。
6	ヒヨドリ オナガ	E-33	(1) この2～3日の冷えこみで、紅葉がすすんできた。 (2) しょうぶ沼公園では、ヒヨドリやオナガが盛んに鳴いて飛んでいた。
6		E-40	(1) 年々スズメの個体数が減少していると感じられる。 (2) 地面にオナガの死骸を発見。ツミによる捕食の可能性が考えられる。 (3) 全体として、観察できた野鳥の種類が少なかった。

令和7年11月（観察日誌）

観察日	種 名	モニター番号	観 察 日 誌
7		D-27	(1) 総じて活動は低調でした。保木間児童遊園は通常と異なり、全く野鳥を観察しません。
7	スズガモ	D-29	(1) 今朝の野鳥観察では珍しく元淵江公園でスズガモ（メス）を観察できました。公園内はイルミネーション準備で工事中でしたので、広場ではほとんど小鳥が見られませんでした。
7		D-26	(1) 今日は立冬。久しぶりの快晴、この季節の気温です。
8		D-23	(1) 梅島さかえ公園に小さな茶をおびた羽がたくさん落ちていた。スズメだろうか？ 個体を探したが見つからなかった。こういうことに出会ったのは初めてだったので公園内を探った。
8	ドバト	B-17 (代理)	(1) 今朝は風もなく静かな朝でしたが、高速道路の車の音が大きく、小鳥の鳴き声が聞き取りにくい朝でした。 (2) カワラバト（ドバト）の数が多いのは土手、グラウンドです。余りにも多く、途中でカウントをストップしました。
9		A-8	(1) 雨の中寒くて大変でした。もう少し日数がたてばカモ類も沢山見られると思う。
9	オナガ	D-25	(1) 9月にくらべ種類が、数は少ないが、多かった。 (2) 相変らずオナガの数多かった。
10		D-30	(1) アオジとウグイスの地鳴きが聞こえ、姿も一瞬のみ見えましたが、判断できなかった為 sp. としました。
12	ホシハジロ キンクロハジロ ヒドリガモ ジョウビタキ アオジ	C-18	(1) 風もなく快晴の朝。川は満潮に近く、砂地は見えない。 (2) 新芝川にはホシハジロ、キンクロハジロ、ヒドリガモが来ていた。 (3) 公園ではジョウビタキも来ていて冬を感じられた。 (4) 川沿いの樹木にアオジが忙しく動き回っていた。
14	ツグミ アオジ	A-2	(1) 快晴、風もなく暖かな観察日だった。 (2) 21種の野鳥が観察された（去年は16種）。 (3) ツグミ（初認11月5日）やアオジ（初認11月7日）が去年に比べ、一か月ほど早く観察された。
14	アオサギ ドバト	B-16	(1) 快晴。アオサギの姿が目立った。ドバトの群が激減していた。

令和7年11月（観察日誌）

観察日	種 名	モニター番号	観 察 日 誌
15	ヒヨドリ ムクドリ	B-11	(1) ヒヨドリとムクドリが多く見られ、鳴き声が響き渡っていた。 (2) 空き地や休耕地が急速に宅地化され、鳥の居場所の減少が心配されます。
15	ハシボソガラス ハシブトガラス オナガ ヒヨドリ	E-31	(1) 最近では真冬を感じます。今日は穏やかで心地良い晴天です。周りの景色は秋の紅葉途中で、ケヤキは紅葉全開、サクラは夏枯れの影響で葉が少ない寂しい紅葉です。その他の木々は紅葉途中で、黄色も赤もまばらです。 (2) 全体的には、何れのポイントもハシボソガラス、ハシブトガラス、オナガが目立っていました。 (3) 中川西岸の1本のカキの木で、オナガとヒヨドリのカキの実をめぐっての争奪戦が興味深かったです。 (4) 何れの公園も、ケヤキの落葉がすごかったです。
15	ユリカモメ シジュウカラ メジロ ヒヨドリ	E-32	(1) 夏季とは違い、涼しく（寒く）なってきたため、鳥の種類や動きが変わってくると思い楽しみにしていました。種類は変わらずが多かったですが、中川でユリカモメを観察することができて嬉しかったです。シジュウカラが大谷田公園で群れていましたが、メジロが混ざっていました。混群とは思いましたが、メジロは1羽しか観察できませんでした。また、全体的にはヒヨドリがひっきりなしに鳴いている印象を受けました。
16	ウミネコ コサギ	D-24	(1) これぞ秋というような穏やかな気候、紅葉も綺麗で近所で紅葉狩りができてしまった。護岸工事が進んでからは水鳥をあまり見かけなくなりましたが、本日は様々見かけ、寒い季節が始まったなという感じ。普段はカワウがいる場所にウミネコが陣取って日向ぼっこをし、コサギが2羽大きな声を出しながら空を飛んでいた。
16	カルガモ コゲラ ジョウビタキ アオサギ メジロ オオバン ハクセキレイ イソシギ ウグイス	C-21	(1) 見沼代親水公園から調査を開始し、カルガモはペアと思われる4組と3羽の合計11羽を観察しました。コゲラとジョウビタキは古千谷本町で、アオサギは舎人四丁目で観察しました。メジロはサザンカの花に集まっていました。 (2) 毛長川ではオオバンを、河川敷ではハクセキレイとイソシギを観察しました。川端で地鳴きを聞き、暫く周辺の様子を見ていたらウグイスを観察出来ました。

令和7年11月（観察日誌）

観察日	種 名	モニター番号	観 察 日 誌
16	ヒドリガモ オオバン スズメ	A-5	(1) 11月中旬になりました。手袋は必要なかったです。風もなく、川沿いにはジョギング、ウォーキングをしている方が多かったです。ペット連れも多くおられました。冬ガモは来ていますが、数は少ないです。 (2) 隅田川河岸（左岸）でヒドリガモの群がコケをついばんでいました。オオバンもまだわずかしきません。 (3) 千住桜木町公園付近の新設された親水テラスを歩いたり、走ったりする人が出てきました。昨シーズンですと、この付近は人がおらず、河面にカモが多数降りていたのですが、今回は、最初から最後まで少なく、当該の水面にも2個体が見られるだけでした。 (4) タワマン横の空き地のプレハブ事務所は撤去され、広い草地のエノコログサに多数のスズメがジャンプしていました（跳び上がって食べるような印象です）。メジロ、ジョウビタキ、ツグミを期待しましたが、見ることはできませんでした。
16	ハシブトガラス	E-36	(1) ハシブトガラスが、団地の屋上のまわりを集団で風乗りしたりお互いに羽を打ち合わせたりして遊んでいた。
17	ホオジロ モズ カルガモ コガモ カンムリカイツブリ ユリカモメ	A-1	(1) 荒川沿いのアシ原では、ホオジロの声があちらこちらで聞かれました。 (2) モズが高い木のでっぺんでギギギギギと鳴いています。小台の荒川沿い端から端までで5羽観察しましたが、1羽ずつ確認するのにゆっくり歩いて10分から15分くらいで、これがそれぞれの縄張りの範囲なのかな？と考えます。 (3) 潟の現れた川べりの杭の外側に、カルガモ数羽とコガモ30羽ほどの群れを見ることができました。 (4) 今年もカンムリカイツブリ到来。上空にはユリカモメが時折、横切っていました。
17	トビ	B-15	(1) この場所でトビに会うのは久しぶりでした。カラスがまとわりついていました。ツグミ・ジョウビタキに会えるかと思っていたのに居なくて残念でした。次回は会えるかな。
19		A-4	(1) 快晴、北西2.4℃、この冬一番の寒さ。

令和7年11月（観察日誌）

観察日	種 名	モニター番号	観 察 日 誌
19	ハシブトガラス チョウゲンボウ アオジ ツグミ メジロ カワラヒワ ハクセキレイ	E-39	(1) 公園の上空でハシブトガラスとチョウゲンボウが追いかけていた。どちらが追い回していたかまでわからないうちに遠くへ行ってしまった。 (2) アオジが土手の草の種を食べていた。人がいない時間、ツグミも地上へ降りて採食していた。 (3) 朝は鳴きながら頭上を飛んで移動する野鳥の姿を見た（メジロやカワラヒワ、ハクセキレイなど）。
22	ホシハジロ ドバト セグロカモメ	B-12	(1) 本担当区、4回目の調査になりました。快晴で浅間山と富士山がよく見えました。7時台の気温は10度前後と思います。手袋がなくてもかじかむことはありませんでした。土曜日の朝でウォーカー、ランナー、サイクリストが多かったです。8時を過ぎまして、日射で暑さを感じる陽気となりました。 (2) 満潮時刻後1時間ほどで、荒川の水面は高く、北側の隣接区にホシハジロ3個体が休んでおりました。本区域にはカモ類がいませんでした。 (3) 朝陽に照らされた江北ジャンクションの桁部分にドバトが多数おり、五色桜大橋アーチ上にセグロカモメ（2個体）も確認しました。 (4) 前回スズメが多かった江北橋付近は日陰で、姿がなく、陽があたる草地から鳴き声が聞こえました（が、草地に分け入っての観察は難しいです）。
23	ヒヨドリ	E-38	(1) ヒヨドリが多いと感じました。
27		C-20	(1) オナガは集団で移動しますので、この日は見るできませんでした。公園にいた友人たちの話では、この日、ウソヤシメを見たそうです。また別の日には、マミチャジナイやアリスイ、アオバトなども見られました。
27		A-9	(1) 寒くなり鳥の種類がかわりつつあり、夏鳥が姿を消しました。
30	ヒヨドリ メジロ ジョウビタキ	C-22	(1) だんだんと寒くなり、ヒヨドリたちの元気な声があちらこちらで響き渡っていました。寒椿に群がるメジロの愛らしい姿も見られ、公園ではジョウビタキがかわいい顔を見せてくれました。冬本番、これからが楽しくなりそうです。

令和8年1月（観察日誌）

観察日	種 名	モニター番号	観 察 日 誌
1		E-33	(1) 寒い正月の朝だったが、野鳥は活発に動いていた。しかし、スズメを一羽も見つけることができず、どこに行ってしまったのか疑問に思った。
3	ムクドリ ヒヨドリ スズメ ドバト	E-31	(1) 令和8年がスタートして、今日は3日です。昨晚は、ここ足立区も初雪が降って、場所によっては残雪があり、数ヶ所で雪ダルマが有りました。早朝より快晴で、冷たい風が何とも気持ちのいい朝でした。ムクドリ、ヒヨドリ、スズメ、ドバト等がメインで、取り分け目新しい野鳥には会いませんでしたが、11月調査時にみられなかった飯塚橋の橋脚下エリアのドバトが復活していて、安心しました。周りの景色は残雪で白っぽくて、いかにも真冬感が有りました。
4	モズ オオバン ヒドリガモ メジロ スズメ	E-32	(1) 中川の方は冬になり、モズ、オオバン、ヒドリガモが観察できた。メジロも今回はしっかり観察することができた。毎回スズメは観ることができていたが、今日は群れている数が気持ち多く感じた。かっぱ橋付近の川沿いの花にメジロが2～3羽飛んできて蜜を吸っていた。種類としてもいつもと変わらない鳥の他に、今回初めてヒドリガモを観察することができた。季節で観察できる鳥が違うのも楽しいと思った。
5		D-29	(1) 寒さと夜明けの時間が遅く、1時間ずらして8時にスタートしました。淵江中学校の北側に大きなビルの工事が進み、他にも工事中の所があり、野鳥の鳴き声が少なく寂しく感じられました。
5	ドバト	E-40	(1) 晴天のもと観察を実施したが、スズミ・ツミ・カラスはいずれも確認できなかった。ドバトは比較的多く見られた。一方で全体的に確認できた野鳥の種類は少なく、静かな観察となった。
6	ドバト	B-14	(1) 今回の調査ではどういう訳か、カラスが一羽も確認されなかった。当日該当地区は、資源ゴミの回収日だったことも関係しているかもしれないが、非常に不思議な結果だった(私の住んでいる地区では可燃ゴミの回収日だったので、カラスは確認されました)。 (2) ドバトが48羽確認された公園は、亀田トレイン公園だが、18羽は公園内に居たが、30羽は上空を通過したものである。

令和8年1月（観察日誌）

観察日	種 名	モニター番号	観 察 日 誌
7	スズメ ドバト ベニマシコ	B-17 (代理)	(1) 早朝小雨で、スタート時間を9時30分に送らせました。早朝のスズメやドバトのグラウンドでの採餌時間に遅れ、スズメ、ドバトの数が少ないようでした。ベニマシコの鳴き声を頼りに、探し出すのに苦労しました。
8		A-8	(1) この時期はとても寒くて大変です。上空にタカが2尾回っていた。千住新橋のところで見た時と同じ個体では。
8	オオタカ	A-4	(1) 快晴、風弱し。-1℃、河川敷には霜が降りていた。 (2) オオタカが千住新橋北詰荒川左岸にいた。1月5日にもいた。
8		B-10 (代理)	(1) 河川敷にゴルフ練習場あり（2ヵ所）。
9		B-13	(1) 快晴。河川敷で土木作業のダンプの出入りが多い。
9	カワセミ	C-18	(1) やや風の強い満潮時の青天。都市農業公園の池では久しぶりにカワセミに出会えた。川ではカモ達には会えたが、干潟がなく、サギ類には出会えなかった。
9	ドバト	B-16	(1) 快晴。水面が光り輝き、富士の白峰が美しかった。 (2) 水鳥は目立ったが河川敷にはほとんど野鳥は見られなかった。 (3) ドバトの群が減ったように思われる。
11		D-27	(1) くもり、3～5℃。
12	ユリカモメ ドバト スズメ	E-34	(1) 朝6時30分、自宅を出発。6時50分、日の出とともに調査を開始するが、曇り空で辺りは薄暗い。気温は10℃前後で幾分温かいが、5～7メートルの風があり川面も波高く、ユリカモメも風に煽られながら飛んでいる。11月に姿を消していたドバトも「船十九」の舳周辺に戻っていた。強風によるものなのか、スズメやメジロなどの小型の鳥の数が少なかった。
16	ヒクイナ	A-2	(1) 風もなく日差しのある暖かい朝で、白い富士山は春がすみのためか、かすんで見えた。 (2) 26種と多くの鳥が観察された。 (3) モニターになって以来、初めてヒクイナが河川敷の池で観察された。 (4) 以前はアシ原が帯状に連なっていたが、アシ原が方々で分断されてその面積も減っており、アシ原に住む鳥が少なくなっているように思われる。

令和8年1月（観察日誌）

観察日	種 名	モニター番号	観 察 日 誌
16	ウグイス ホオジロ カワウ キンクロハジロ ホシハジロ オオバン カンムリカイツブリ ドバト ユリカモメ	A-1	(1) ウグイスの地鳴きを聞いてこの日はスタート。ホオジロの声も聞かれました。 (2) 荒川上空に、カワウの大群。V字の大編隊が3つほど繋がりがり川上の方へ消えていきました。300羽かそれ以上の大群でした。 (3) 川面には、キンクロハジロとホシハジロ、オオバンが入り交じり、その間を縫うようにカンムリカイツブリが潜って大きな魚を捕らえていました。 (4) 2羽の真っ白なドバトを見ました。2羽とも混じりっけなしの真っ白な個体でした。 (5) 調査の帰り、千住新橋の下で鳥に餌を与えている男性を見かけました。ドバトの他に30羽ほどのユリカモメが群がっていました。
17	ヒヨドリ オナガ モズ	B-11	(1) いつも賑やかなヒヨドリの姿が少なく、オナガの鳴き声が響いていた。 (2) 以前見た場所で、モズが柿の木の枝に止まっていた。
17	カワウ	D-26	(1) 7時20分頃、綾瀬川の常磐線鉄橋をはさんでカワウがあまりに大群で、計測できませんでした。
18	カルガモ メジロ ジョウビタキ コサギ カワウ ユリカモメ ハクセキレイ イソシギ	C-21	(1) 見沼代親水公園から調査を開始し、カルガモは古千谷本町で5羽、舎人四丁目で2羽の合計7羽を観察しました。公園の樹木ではメジロが多く観察されました。 (2) ジョウビタキは毛長緑道での観察です。 (3) 毛長川では新砂子橋付近で河川工事が行われていますが、工事区間の下流では多くの小魚が見え、その小魚を狙う川岸でコサギ、川に潜るカワウ、上を飛び回るユリカモメを観察しました。河川敷ではハクセキレイとイソシギを観察しました。
18	ジョウビタキ カワウ	E-38	(1) 第六天公園でジョウビタキ（メス）を確認できました。東和親水公園ではカワウを初確認できました。
18	イカルチドリ ハクセキレイ ハシボソガラス ダイサギ オオバン シジュウカラ カワラヒワ	E-39	(1) 土手ではカップルの鳥が多いと感じた。イカルチドリ、ハクセキレイ、ハシボソガラス、ダイサギ、オオバンがいがいで一緒に行動していた。シジュウカラとカワラヒワはさえずり始めていた。春を感じた。 (2) 別日には、ジョウビタキ、アオジ、ホオジロ、トビ、オオタカを確認した。カワラヒワのタカ類に食べられたあとの黄色の羽がたくさん散らばっているのも見た。

令和8年1月（観察日誌）

観察日	種 名	モニター番号	観 察 日 誌
21	メジロ	A-5	(1) 晴れの予想がはずれ、雲は低くたれこめ、風もありました。手袋でしたが手がしびれました。天候のためか、帝京科学大学入口から川まで野鳥が見られませんでした。ジョギング、ウォーキングの方も少ない印象でした。11月にも書きましたが、例年より冬ガモが少ない気がします。千住緑町一丁目付近の草むらでメジロがノゲシ（の仲間）のつぼみをつついていました。京成線鉄橋下を観察する場所をより近くに変更いたしました。親水テラスの整備にともない新設された（堤防壁をまたぐ）階段上から観察することとしました（本鉄橋付近は荒川区側に三河島水再生センターの排水溝があることから、冬になると水鳥が集まります。足立側は、おそらく水温が低いために、個体数がより少なくなりますが、上流下流を通じまして、水鳥が集まるポイントのひとつですので冬場は特に気にしております）。
24	ドバト	D-23	(1) 早朝は氷点下。西新井公園、稲荷神社をしばらく探してみましたが、待てども鳥は見当たらなかった。鳥の声は旧道コンビニ前のみでしか聞こえなかった。ベルmont公園でドバトが多かった。陽が昇り更に鳥達に会えるかと思った矢先、9時から体操サークル10人ほどが集まり、鳥達はいなくなってしまったのだ。
24	アオジ モズ カワラヒワ ジョウビタキ ユリカモメ カンムリカイツブリ	E-36	(1) 遊歩道でアオジ、モズ、カワラヒワ、ジョウビタキのオス・メスを確認した。堀川でユリカモメの群れとカンムリカイツブリを見た。中川ではよく見かけるが、ここでは初めて確認した。
24	アオジ ウグイス	B-12	(1) 本担当区、5回目の調査になりました。快晴、無風でしたが、寒波により開始時は手袋が必要でした。 (2) 川沿いの草地は（冬枯れで）見通しがよくなり、アオジやウグイスが観察できました。市民の姿も8時台から少しずつ多くなりました。 (3) 今回も荒川の水面は高く、北側の隣接区にカワウやホシハジロ、キンクロハジロ、アオサギがおりましたが、本区はあまり水鳥がいない印象です（前回同様です）。ヨシ原もあるので、次回はオオジュリンが観察できるかもしれません。

令和8年1月（観察日誌）

観察日	種 名	モニター番号	観 察 日 誌
24	ツグミ ハヤブサ	A-6	(1) 河川敷の観察開始から小鳥たちの出がすごく悪くて、ツグミもすぐに藪の中に隠れてしまう。河川敷を歩いていて原因がわかりました。西新井橋下流すぐの鉄塔の上にハヤブサの成鳥がとまっていました。大きな身体だったのでメスだと思います。しばらくその美しさに見とれていたらオスのハヤブサもやってきて、飛び立ちの迫力は素晴らしかったです。小鳥たちにとっては厄日だったと思いますが、僕はすごく得した気分でした。
25		C-22	(1) 寒さも厳しかったですが、鳥たちは元気に飛び回っていました。毎年見かけるジョウビタキが今回は見られなかったのが残念でした。
25	メジロ オナガ ツグミ	D-25	(1) メジロが通常より多く見られ、チーチーと鳴いていた。 (2) オナガの数がカラスより多く見られた。 (3) 少数ながらツグミが見られたのは良かった。
27		C-20	(1) この日は比較的あたたかく、風も弱く、おだやかな1日でした。
27		A-9	(1) 柳原の土手は工事をしていて入っていけない。
28	キジバト	D-24	(1) 冬のキジバトが鳴かないので一見見落としそうになったが、やはり動きがドバトとは違い、公園でまぎれていても独特の存在感だった。

令和8年3月（観察日誌）

観察日	種 名	モニター番号	観 察 日 誌
1	ドバト	A-8	(1) 木の上にカラスの巣があった。 (2) ドバトが倉庫の入口に何回も出入りしていた。倉庫の中に巣を作っているのではないか。
1	ユリカモメ	B-16	(1) 晴。春の到来を感じる。 (2) ユリカモメの餌づけをしている人がいた。動画で毎日発信しているという。軽く注意したがニラまれてしまった。
1	スズメ	A-5	(1) 春めいてきました。千住小横の河津桜が満開でした。墨堤通りのジンチョウゲも香っていました。気温は前日より下がりましたが、それほど寒くはなく快晴でした。開始時は風もありませんでした。後半は風が出て暖かくなりました（野鳥が少なかったように思います）。千住緑町の隅田川沿い（岸側）のビワやイチョウの木が整理され、ちょっとした藪や林のような、野鳥が逃げ込む場所がなくなりました。 (2) 千住橋戸町の川沿い遊歩道のスズメの群が、荒川区側の歩道との間を（川をはさんで）行き来していました。
1	カワウ ヒヨドリ ウグイス	A-2	(1) 河川敷のカンヒザクラが満開、又、ホトケノザなどの野草が一面に咲いており、春らしさを感じられた。 (2) 今日は例年と同様、多くのトリ（26種）が観察された（昨年24種、一昨年25種）。 (3) カワウが群（50、80、70、70羽）をなして飛び立ち、やがて雁行していった。 (4) ヒヨドリがサクラの花をついばんでいた。 (5) ウグイスがさえずりと笹鳴きをくり返していた。
1	カワセミ	E-36	(1) カワセミが川に飛び込んで魚を捕らえる様子を見られた。こんなゴミだらけのにごりきった川でも生息してくれている。今のところは。
1	ヒヨドリ ムクドリ ヒドリガモ オオバン カワウ スズメ	E-32	(1) 大谷田公園に梅の花が咲いており、ヒヨドリやムクドリが蜜を吸いに来ていた。時にヒヨドリは甲高い声で高頻度で鳴き、響き渡っていた。 (2) 中川の方へ行ってみると、ヒドリガモが群れで泳いでいた。オオバンは川を泳いでいる他に上陸して採餌していた（草、昆虫かは分からなかった）。しばらく中川をゆっくり歩いていると、カワウが飛翔していた。 (3) 今回は新しい種名はみられなかったが、スズメを多く観られたり、川で個体数を多くみられたりしたため、いつもと違う面があり楽しく活動できた。

令和8年3月（観察日誌）

観察日	種 名	モニター番号	観 察 日 誌
1	カルガモ ホシハジロ キンクロハジロ コガモ ヒドリガモ オオバン カワウ キジバト	A-1	(1) この時期の荒川、隅田川上は、カモの種類や数も多く賑やかで、この日は、カルガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ、コガモ、ヒドリガモの5種を観察しました。ここにオオバンが加わるとさらに賑やかです。 (2) 小台荒川上空、1月と同じように数は120羽ほどだったがカワウの編隊が見られた。 (3) 荒川沿いの藪の小道にキジバト9羽の群れが見られた。 (4) カルガモ4羽コガモ1羽ヒドリガモ8羽が隅田川護岸のコンクリート上に並んで日向ぼっこをしていた。
2	カルガモ オナガ カワウ オオバン ユリカモメ	C-21	(1) 見沼代親水公園から調査を開始し、カルガモは古千谷本町で6羽、舎人四丁目で2羽の合計8羽を観察しましたが、それぞれがペアでした。営巣に向いた場所を探していると思われ、近づくカルガモを追い出す様子を観察しました。 (2) オナガは見沼代親水公園の樹木に残っている木の実を食べながら移動している20羽ほどの集団でした。 (3) 毛長川ではカワウ、オオバン、ユリカモメを観察しましたが、継続されている工事区間より下流でした。
3		D-29	(1) 都営団地北東側の個人宅の柑橘類の木に多くの野鳥が見られ、団地と往復しているのでカウントに苦労しました。
5	ベニマシコ メジロ キンクロハジロ ユリカモメ	B-12	(1) 3月報告の期限にあわせ、快晴の予報で本日の調査になりましたが、強風（北風）で野鳥は少なかったように思います。帽子が吹き飛ばされるほどでした。歩くのが容易でないタイミングもありました。 (2) スズメは江北ジャンクション下のカヤの中にいたと思いますが、わかりませんでした。時折、風が凐ぐとベニマシコやメジロが出てきました。 (3) 荒川も絶えず波が立っており、キンクロハジロを見られてよかったと思います。 (4) 鹿浜橋方面の川面に数十羽のユリカモメが見えました。カワウも隣接区に多数見られ、報告できないのが残念です。富士山と浅間山がよく見えました。
5		D-26	(1) 冷たい北風が強い朝でした。 (2) 街路樹の強剪定が目立ち、野鳥の巣作りにはどうなのだろうかと思いながらの調査でした。

令和8年3月（観察日誌）

観察日	種 名	モニター番号	観 察 日 誌
5		C-20	(1) この日は、朝から強い風が吹き、小さな鳥が少ないようでした。 (2) カモ類などは、風のあたらない場所で休んでいました。そのため、数は実際より少ないようです。 (3) 猛禽類も見られませんでした。 (4) クイナやヒクイナは30分以上待つと出てくるのですが、今回は見られませんでした。 (5) オナガは集団で来るのですが今回はなし。 (6) カモ類は、ホシハジロ、ハシビロガモ、マガモ、オナガガモを時々見ます（今回はなし）。
5		D-27	(1) 晴れ。気温7～8℃。
6	カワウ オオバン メジロ ヒヨドリ カルガモ	E-34	(1) 6時、自宅出発。6時30分、中川の調査起点より調査開始。薄曇りで肌寒さを感じる。川面は穏やかで見通しが良い。カワウ、オオバンは確認できるが、昨年3月10日調査で65羽いたヒドリガモが1羽も確認できない。花見川さくら橋沿いの河津桜で十数羽のメジロと4羽程のヒヨドリが忙しく花の蜜を啄んでいた。8時30分に調査を終了する。帰宅がてら中川沿いを下流に向けて30分程歩いたが、やはりオオバンやカルガモはいるが、ヒドリガモは見つけられなかった。シベリアに向けて旅立ったのか・・・残念。
6	カワウ	A-4	(1) 朝：晴れ、北西、風力1、4℃、後半：曇り、北西、風力2、5℃ (2) 河川敷は、ナズナ、ホトケノザ、オオイヌノフグリなど春の野草が沢山咲いていたが、曇ってきて寒かった。 (3) カワウの大群が西から多数飛んできて、下流に向かって荒川上空を下って行った。
6	カワウ	B-17 (代理)	(1) 8時過ぎにカワウ500羽以上の群れが荒川対岸上空を通過していきました。約200羽が荒川におりてきました。久しぶりに見ることができ、感動です。川沿いの草むらの中に多くの小鳥たちが動き回っていましたが、近くに寄れず残念でした。

令和8年3月（観察日誌）

観察日	種 名	モニター番号	観 察 日 誌
6	ハシボソガラス ハシブトガラス ツグミ	B-14	(1) 天気予報を見て、風が少なく晴天の日を選んで調査日を選定したが、あまりその効果がなくそれ程多くの野鳥を見ることは出来なかった。しかしながら、先月まで殆ど見る事のなかったカラスが見られた。また、この地区では過去あまり見られなかったツグミが西新井さかえ公園で1羽確認された。
7	メジロ	C-22	(1) 少しずつ春に近付いており、メジロが早咲きの桜などにいました。
7	カルガモ	E-38	(1) 西沼公園でカルガモを初確認できました。
8	メジロ ドバト	D-25	(1) 春先ゆえ、メジロが多少多く見られた。昨年見られたウグイスは、今年は観察出来なかった。 (2) ドバトの大群が上空を飛んでいた。正確には数えられなかった。
8	ハシボソガラス ムクドリ ヒヨドリ スズメ ドバト	E-31	(1) 3月になりましたが、まだまだ寒い日が続いています。今日も寒くて風の強い日です。それでも、スタート地点でオオイヌノフグリの花を見つけて、やはり春なのだなと思いました。又、つぼみを付けたモクレン、鮮やかな黄色い花のミモザを見かけました。ハシボソガラス、ムクドリ、ヒヨドリ、スズメ、ドバト等がメインで、特にハシボソガラスは、ケヤキの高いところで2羽ずつ並んでいました。繁殖の準備だったのかもしれませんが、今週は寒の戻りの様な寒い日が続く予報ですが、春はすぐそこまで来ている様です。
8		B-10 (代理)	(1) 快晴。気温6℃、北風強。
8	ツグミ ジョウビタキ セグロカモメ カワウ	E-39	(1) この冬は去年よりもツグミやジョウビタキをたくさん見た。この日は風が強くて、まともに観察するのがしんどかった。セグロカモメとカワウの数が少なくなったと思った。別の日にはオオジュリンやオオタカ、トビが見られた。
8		E-33	(1) カワヅザクラも散り始め、北風も吹いてとても寒かった。

令和8年3月（観察日誌）

観察日	種 名	モニター番号	観 察 日 誌
8	ツグミ ジョウビタキ セグロカモメ カワウ	E-39	(1) この冬は去年よりもツグミやジョウビタキをたくさん見た。この日は風が強くて、まともに観察するのがしんどかった。セグロカモメとカワウの数が少なくなったなと思った。別の日にはオオジュリンやオオタカ、トビが見られた。
9		B-13	(1) 外気温5℃。早朝寒い。河川敷でダンプの出入り有。
9	スズメ	B-11	(1) 寒い朝のせいか、鳥の数が少なかった。特にスズメの姿があまり観られなかった。
11		D-24	(1) 昨日雨雪だったこともあり朝は冷え込んでいましたが、風も穏やかで晴れて気持ちの良い朝でした。鳥達も群れで動いている種も多く、冬鳥と春の繁殖行動を行う鳥が入り交じり、3月らしいこれぞ野鳥観察という日でした。
11		D-23	(1) 昨日の悪天候は去り快晴。どんなに多くの鳥に会えるかと楽しみにしていたが、なぜか鳥達がいらない。ベルmont公園にもいない。公園職員さんに話をきいた。「今日はなぜかいけないね」「巣は園内にあるからまたおいで」館内作業中なので案内を頼めなかった。自分では探せなかった。
11	ホオアカ ウグイス	B-15	(1) 10年以上調査をしていますが今回初めてホオアカに出会いました。感激！そしてこの日、ウグイスのホーホケキョも聞きました。
12	ヒドリガモ	D-23 (代理)	(1) 2羽のオスとメスが首を上下にしていました。
12	ホシハジロ キンクロハジロ セグロカモメ ツグミ	C-18	(1) 晴天の穏やかな日。川は満潮に近い水位。干潟は少なく潟干の鳥も少なかった。ホシハジロ、キンクロハジロ、セグロカモメ、ツグミなどの冬鳥がまだ目立っていた。
15	オオジュリン	A-6	(1) 朝から快晴で河川敷の鳥も多く、楽しい観察ができました。特にオオジュリンの群れが地上で餌取りをしているのは初めて観察しました。
17		A-9 (代理)	(1) 曇り、7℃、風弱し。
24	オナガ	E-40	(1) 昨日は雨、本日は晴天で気持ちの良い観察日和となった。 (2) ツミの姿は本日も確認できず。最近スズメの個体数減少が気になる。一方でこの東綾瀬公園ではオナガの姿が多く見られた。なお桜は満開であった。

令和8年3月（繁殖行動確認）

確認日	種 名	モニター番号	確認場所	繁殖と判断した根拠	コメント
5	ハシボソガラス	D-26	西綾瀬三丁目 交差点の電柱	営巣	(1) 2羽で巣材をくわえて来ました。まだ始めたばかりの様。
6	ハシボソガラス	B-14	梅田亀田公園	営巣	(1) 公園の西側の木にワイヤーハンガーなどの使った巣を発見した。巣の中にはハシボソガラスがいた。
11	ハシブトガラス	D-24	毛長公園	営巣	(1) 自分の担当地域ではありませんが真隣の毛長公園内の大きな木の枝に巣がありました。すでに出来上がっていたので前からあったものかもしれませんが、きちんと綺麗な巣でした。
11	ハシブトガラス	D-24	花畑桑袋保育園近く	営巣	(1) 巣材を加えて運んでいる個体が数羽見られました。
12	ハシボソガラス	C-18	都市農業公園前 荒川河川敷 チューリップ花壇 横の樹木の上	営巣	(1) 一本の樹木に2羽のハシボソガラスがとまっていた。1羽は巣作りをしている様子に見えた。
12	キジバト	D-30	保木間四丁目 都営アパート横	交尾	(1) 電線の上に2羽のキジバトが居て、20秒程1羽の上に乗ったのを見ました。

資料編

資料1 調査月別確認種と個体数

NO.	目名	科名	種名	5月	7月	9月	11月	1月	3月	合計
1	カモ	カモ	オカヨシガモ	0	0	0	3	0	0	3
2			ヒドリガモ	0	0	1	68	163	117	349
3			マガモ	0	0	1	11	0	4	16
4			カルガモ	73	118	132	113	144	168	748
5			コガモ	2	0	0	51	66	52	171
6			ホシハジロ	0	0	0	60	114	100	274
7			キンクロハジロ	0	0	0	19	55	120	194
8			スズガモ	0	0	0	1	0	0	1
9	カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ	7	4	7	9	9	7	43
10			カンムリカイツブリ	2	0	0	5	31	20	58
11	ハト	ハト	キジバト	154	117	87	71	175	154	758
12	カツオドリ	ウ	カワウ	41	26	23	83	713	1,045	1,931
13	ペリカン	サギ	ゴイサギ	1	0	4	0	0	0	5
14			ササゴイ	0	1	0	0	0	0	1
15			アオサギ	11	13	16	36	8	15	99
16			ダイサギ	5	10	4	13	5	7	44
17			チュウサギ	0	1	2	0	0	0	3
18			コサギ	18	5	3	6	7	5	44
19	ツル	クイナ	ヒクイナ	0	0	0	0	2	0	2
20			バン	0	0	0	4	16	5	25
21			オオバン	13	1	2	148	210	269	643
22	カッコウ	カッコウ	カッコウ	0	1	0	0	0	0	1
23	アマツバメ	アマツバメ	ヒメアマツバメ	0	3	0	0	0	0	3
24	チドリ	チドリ	イカルチドリ	0	0	0	2	0	1	3
25			コチドリ	3	0	0	0	0	2	5
26			メダイチドリ	13	0	0	0	0	0	13
27		シギ	タシギ	0	0	0	1	0	5	6
28			チュウシャクシギ	3	0	0	0	0	0	3
29			キアシシギ	13	0	0	0	0	0	13
30			イソシギ	6	1	18	6	8	2	41
31		カモメ	ユリカモメ	0	0	0	91	221	131	443
32			ウミネコ	2	0	0	4	0	0	6
33			カモメ	0	0	0	0	3	0	3
34			セグロカモメ	0	0	0	20	6	5	31
35			コアジサシ	16	0	0	0	0	0	16
36	タカ	タカ	トビ	2	0	1	3	4	5	15
37			ツミ	4	2	0	0	0	0	6
38			オオタカ	0	0	0	0	2	0	2
39	ブッポウソウ	カワセミ	カワセミ	2	3	4	0	1	2	12
40	キツツキ	キツツキ	コゲラ	2	0	1	1	1	1	6
41	ハヤブサ	ハヤブサ	チョウゲンボウ	6	0	2	3	1	1	13
42			ハヤブサ	0	0	0	0	3	0	3
43	スズメ	モズ	モズ	1	0	10	43	21	26	101
44		カラス	オナガ	335	293	335	197	246	264	1,670

N0.	目名	科名	種名	5月	7月	9月	11月	1月	3月	合計
45	スズメ	カラス	ハシボソガラス	135	163	194	243	244	267	1,246
46			ハシブトガラス	160	118	131	183	128	173	893
47		シジュウカラ	シジュウカラ	123	80	109	195	185	166	858
48		ヒバリ	ヒバリ	9	9	0	0	0	0	18
49		ツバメ	ツバメ	116	133	6	2	0	0	257
50		ヒヨドリ	ヒヨドリ	121	84	135	746	706	507	2,299
51		ウグイス	ウグイス	1	0	0	8	17	12	38
52		メジロ	メジロ	0	0	0	78	212	145	435
53		ヨシキリ	オオヨシキリ	91	18	0	0	0	0	109
54		セッカ	セッカ	7	3	0	0	0	0	10
55		ムクドリ	ムクドリ	1,155	1,552	1,234	844	1,065	1,056	6,906
56		ヒタキ	シロハラ	0	0	0	0	0	1	1
57			アカハラ	0	0	0	0	1	0	1
58			ツグミ	4	0	0	23	153	302	482
59			ジョウビタキ	0	0	0	21	12	18	51
60			イソヒヨドリ	0	0	1	0	0	0	1
61			エゾビタキ	0	0	2	0	0	0	2
62			コサメビタキ	0	0	1	0	0	0	1
63			キビタキ	3	0	0	0	0	0	3
64		スズメ	スズメ	977	1,053	1,118	1,025	1,050	981	6,204
65		セキレイ	ハクセキレイ	22	24	35	132	130	92	435
66			セグロセキレイ	0	1	0	0	0	2	3
67			タヒバリ	0	0	0	30	17	16	63
68		アトリ	カワラヒワ	35	12	17	103	86	196	449
69			マヒワ	0	0	0	3	0	0	3
70			ベニマシコ	0	0	0	0	3	1	4
71			シメ	0	0	0	0	0	2	2
72		ホオジロ	ホオジロ	0	0	0	19	10	16	45
73			ホオアカ	0	0	0	0	0	2	2
74			カシラダカ	0	0	0	0	7	12	19
75			アオジ	0	0	0	14	31	27	72
76			オオジュリン	0	0	0	0	13	20	33
種名特定できず			カモ科sp.	2	0	0	8	0	0	10
			ハト科sp.	23	0	0	24	0	0	47
			サギ科sp.	0	0	0	2	0	0	2
			チドリ科sp.	0	0	3	0	0	0	3
			カモメ科sp.	19	7	7	1	1	0	35
			カラス科sp.	3	1	3	5	2	6	20
			ウグイス科sp.	0	0	0	1	0	0	1
確認種個体数合計（羽）				3,741	3,857	3,649	4,782	6,308	6,553	28,890

（参考）交雑交配種	アイガモ	15	16	24	25	20	31	131
（参考）かごぬけ	ドバト	906	1,028	1,159	1,370	1,417	1,202	7,082
	ワカケホンセイインコ	58	58	16	38	42	18	230
	ガビチョウ	1	0	1	2	1	1	6

資料2 ブロック別確認種と個体数

N0.	目名	科名	種名	A	B	C	D	E	区分計
1	カモ	カモ	オカヨシガモ	3	0	0	0	0	3
2			ヒドリガモ	100	53	100	18	78	349
3			マガモ	7	0	7	0	2	16
4			カルガモ	169	65	204	109	201	748
5			コガモ	117	49	5	0	0	171
6			ホシハジロ	61	20	144	0	49	274
7			キンクロハジロ	15	41	123	5	10	194
8			スズガモ	0	0	0	1	0	1
9	カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ	1	7	33	2	0	43
10			カンムリカイツブリ	30	23	1	0	4	58
11	ハト	ハト	キジバト	212	59	187	154	146	758
12	カツオドリ	ウ	カワウ	1,357	369	85	29	91	1,931
13	ペリカン	サギ	ゴイサギ	0	5	0	0	0	5
14			ササゴイ	0	0	1	0	0	1
15			アオサギ	39	17	19	2	22	99
16			ダイサギ	11	9	6	0	18	44
17			チュウサギ	1	2	0	0	0	3
18			コサギ	17	7	13	3	4	44
19	ツル	クイナ	ヒクイナ	1	0	1	0	0	2
20			バン	7	5	13	0	0	25
21			オオバン	226	97	119	18	183	643
22	カッコウ	カッコウ	カッコウ	1	0	0	0	0	1
23	アマツバメ	アマツバメ	ヒメアマツバメ	0	0	3	0	0	3
24	チドリ	チドリ	イカルチドリ	2	0	0	0	1	3
25			コチドリ	2	3	0	0	0	5
26			メダイチドリ	0	13	0	0	0	13
27		シギ	タシギ	3	0	3	0	0	6
28			チュウシャクシギ	1	2	0	0	0	3
29			キアシシギ	0	12	1	0	0	13
30			イソシギ	21	13	6	1	0	41
31		カモメ	ユリカモメ	176	125	46	35	61	443
32			ウミネコ	5	0	0	1	0	6
33			カモメ	3	0	0	0	0	3
34			セグロカモメ	11	13	3	0	4	31
35			コアジサシ	0	0	2	0	14	16
36	タカ	タカ	トビ	6	8	1	0	0	15
37			ツミ	0	0	1	2	3	6
38			オオタカ	0	1	1	0	0	2
39	ブッポウソウ	カワセミ	カワセミ	1	2	5	0	4	12
40	キツツキ	キツツキ	コゲラ	1	0	2	2	1	6
41	ハヤブサ	ハヤブサ	チョウゲンボウ	11	0	0	0	2	13
42			ハヤブサ	2	1	0	0	0	3
43	スズメ	モズ	モズ	52	32	11	1	5	101
44		カラス	オナガ	98	102	212	707	551	1,670

N0.	目名	科名	種名	A	B	C	D	E	区分計	
45	スズメ	カラス	ハシボソガラス	257	136	388	189	276	1,246	
46			ハシブトガラス	219	92	116	221	245	893	
47		シジュウカラ	シジュウカラ	126	57	309	118	248	858	
48		ヒバリ	ヒバリ	14	4	0	0	0	18	
49		ツバメ	ツバメ	151	26	33	8	39	257	
50		ヒヨドリ	ヒヨドリ	540	313	620	345	481	2,299	
51		ウグイス	ウグイス	10	16	7	0	5	38	
52		メジロ	メジロ	71	37	160	72	95	435	
53		ヨシキリ	オオヨシキリ	89	19	1	0	0	109	
54		セッカ	セッカ	6	1	3	0	0	10	
55		ムクドリ	ムクドリ	2,001	1,365	955	1,211	1,374	6,906	
56		ヒタキ	シロハラ	0	0	1	0	0	1	
57			アカハラ	0	1	0	0	0	1	
58			ツグミ	233	126	60	38	25	482	
59			ジョウビタキ	12	7	8	13	11	51	
60			イソヒヨドリ	1	0	0	0	0	1	
61			エゾビタキ	0	0	0	0	2	2	
62			コサメビタキ	0	0	0	0	1	1	
63			キビタキ	1	0	1	0	1	3	
64		スズメ	スズメ	1,974	811	559	1,130	1,730	6,204	
65		セキレイ	ハクセキレイ	218	72	49	35	61	435	
66			セグロセキレイ	0	2	0	0	1	3	
67			タヒバリ	54	9	0	0	0	63	
68		アトリ	カワラヒワ	234	88	29	16	82	449	
69			マヒワ	0	0	0	0	3	3	
70			ベニマシコ	0	4	0	0	0	4	
71			シメ	0	0	1	1	0	2	
72		ホオジロ	ホオジロ	43	2	0	0	0	45	
73			ホオアカ	1	1	0	0	0	2	
74			カシラダカ	19	0	0	0	0	19	
75			アオジ	14	39	7	2	10	72	
76			オオジュリン	33	0	0	0	0	33	
種名特定できず			カモ科sp.	8	0	0	2	0	10	
			ハト科sp.	47	0	0	0	0	47	
			サギ科sp.	2	0	0	0	0	2	
			チドリ科sp.	0	3	0	0	0	3	
			カモメ科sp.	34	0	1	0	0	35	
			カラス科sp.	14	3	0	0	3	20	
			ウグイス科sp.	0	0	0	1	0	1	
確認種個体数合計（羽）				9,093	4,336	4,566	4,474	6,069	28,890	
（参考）交雑交配種			アイガモ	0	0	131	0	0	131	
（参考）かごぬけ			ドバト	1,613	1,185	1,029	1,290	1,965	7,082	
			ワカケホンセイインコ	11	4	45	151	19	230	
			ガビチョウ	3	3	0	0	0	6	

資料3 令和7年5月に確認された野鳥

No.	種 名	地域別					区分別			合計
		A	B	C	D	E	川	公園	その他	
1	アオサギ	5	2	2	1	1	9	0	2	11
2	イソシギ	3	1	2	0	0	6	0	0	6
3	ウグイス	0	0	0	0	1	0	1	0	1
4	ウミネコ	2	0	0	0	0	2	0	0	2
5	オオバン	8	2	0	0	3	13	0	0	13
6	オオヨシキリ	77	13	1	0	0	91	0	0	91
7	オナガ	37	18	48	127	105	34	159	142	335
8	カイツブリ	0	0	7	0	0	0	7	0	7
9	カルガモ	9	3	32	27	2	34	36	3	73
10	カワウ	22	12	0	0	7	38	0	3	41
11	カワセミ	0	1	1	0	0	2	0	0	2
12	カワラヒワ	33	0	0	2	0	32	2	1	35
13	カンムリカイツブリ	2	0	0	0	0	2	0	0	2
14	キアシシギ	0	12	1	0	0	13	0	0	13
15	キジバト	57	10	20	35	32	36	59	59	154
16	キビタキ	1	0	1	0	1	0	3	0	3
17	コアジサシ	0	0	2	0	14	14	2	0	16
18	ゴイサギ	0	1	0	0	0	0	0	1	1
19	コガモ	2	0	0	0	0	2	0	0	2
20	コゲラ	0	0	0	2	0	0	2	0	2
21	コサギ	9	3	6	0	0	18	0	0	18
22	コチドリ	2	1	0	0	0	3	0	0	3
23	シジュウカラ	14	17	33	16	43	18	49	56	123
24	スズメ	230	102	115	194	336	143	423	411	977
25	セッカ	3	1	3	0	0	6	1	0	7
26	ダイサギ	2	1	1	0	1	5	0	0	5
27	チュウシャクシギ	1	2	0	0	0	3	0	0	3
28	チョウゲンボウ	6	0	0	0	0	4	0	2	6
29	ツグミ	4	0	0	0	0	4	0	0	4
30	ツバメ	80	1	10	2	23	59	10	47	116
31	ツミ	0	0	0	2	2	0	4	0	4
32	トビ	2	0	0	0	0	2	0	0	2
33	ハクセキレイ	10	6	0	3	3	11	2	9	22
34	ハシブトガラス	44	13	12	28	63	30	43	87	160
35	ハシボソガラス	22	20	49	17	27	33	71	31	135
36	ヒバリ	6	3	0	0	0	9	0	0	9
37	ヒヨドリ	38	19	27	23	14	34	45	42	121
38	ムクドリ	284	193	233	190	255	399	438	318	1,155
39	メダイチドリ	0	13	0	0	0	13	0	0	13
40	モズ	1	0	0	0	0	1	0	0	1
	合計	1,016	470	606	669	933	1,123	1,357	1,214	3,694
*	カモ科sp.	0	0	0	2	0	0	0	2	2
*	カモメ科sp.	19	0	0	0	0	19	0	0	19
*	カラス科sp.	3	0	0	0	0	1	0	2	3
*	ハト科sp.	23	0	0	0	0	0	23	0	23
	総合計	1,061	470	606	671	933	1,143	1,380	1,218	3,741

参考	アイガモ	0	0	15	0	0	0	15	0	15
	ガビチョウ	0	1	0	0	0	1	0	0	1
	ドバト	247	157	86	217	199	324	256	326	906
	ワカケホンセイインコ	0	2	7	39	10	2	20	36	58

資料4 令和7年7月に確認された野鳥

No.	種 名	地域別					区分別			合計
		A	B	C	D	E	川	公園	その他	
1	アオサギ	6	3	2	1	1	8	1	4	13
2	イソシギ	0	1	0	0	0	1	0	0	1
3	オオバン	1	0	0	0	0	1	0	0	1
4	オオヨシキリ	12	6	0	0	0	18	0	0	18
5	オナガ	15	18	23	159	78	3	158	132	293
6	カイツブリ	0	0	4	0	0	0	4	0	4
7	カッコウ	1	0	0	0	0	0	0	1	1
8	カルガモ	20	6	42	22	28	69	46	3	118
9	カワウ	12	9	1	1	3	24	0	2	26
10	カワセミ	0	0	1	0	2	2	1	0	3
11	カワラヒワ	8	2	0	0	2	8	1	3	12
12	キジバト	34	9	18	32	24	15	49	53	117
13	コサギ	2	3	0	0	0	5	0	0	5
14	ササゴイ	0	0	1	0	0	0	1	0	1
15	シジュウカラ	21	1	31	10	17	9	47	24	80
16	スズメ	397	85	115	154	302	207	385	461	1,053
17	セグロセキレイ	0	0	0	0	1	0	1	0	1
18	セッカ	3	0	0	0	0	3	0	0	3
19	ダイサギ	3	2	3	0	2	7	2	1	10
20	チュウサギ	1	0	0	0	0	1	0	0	1
21	ツバメ	71	20	23	6	13	73	26	34	133
22	ツミ	0	0	1	0	1	0	2	0	2
23	ハクセキレイ	22	1	0	1	0	17	0	7	24
24	ハシブトガラス	30	7	14	37	30	6	36	76	118
25	ハシボソガラス	36	16	43	31	37	36	89	38	163
26	ヒバリ	8	1	0	0	0	9	0	0	9
27	ヒメアマツバメ	0	0	3	0	0	0	3	0	3
28	ヒヨドリ	15	12	26	11	20	9	41	34	84
29	ムクドリ	471	274	169	275	363	552	709	291	1,552
	合計	1,189	476	520	740	924	1,083	1,602	1,164	3,849
*	カモメ科sp.	7	0	0	0	0	7	0	0	7
*	カラス科sp.	0	1	0	0	0	1	0	0	1
	総合計	1,189	476	520	740	924	1,091	1,602	1,164	3,857
参考	アイガモ	0	0	16	0	0	0	16	0	16
	ドバト	186	155	132	189	366	300	353	375	1,028
	ワカケホンセイインコ	9	2	11	34	2	0	15	43	58

資料5 令和7年9月に確認された野鳥

No.	種名	地域別					区分別			合計
		A	B	C	D	E	川	公園	その他	
1	アオサギ	6	3	3	0	4	13	3	0	16
2	イソシギ	8	8	2	0	0	18	0	0	18
3	イソヒヨドリ	1	0	0	0	0	1	0	0	1
4	エゾビタキ	0	0	0	0	2	0	2	0	2
5	オオバン	0	0	0	0	2	2	0	0	2
6	オナガ	15	24	48	154	94	10	220	105	335
7	カイツブリ	0	4	3	0	0	4	3	0	7
8	カルガモ	30	10	22	7	63	115	17	0	132
9	カワウ	9	4	2	2	6	19	3	1	23
10	カワセミ	1	1	1	0	1	4	0	0	4
11	カワラヒワ	4	0	13	0	0	13	2	2	17
12	キジバト	31	7	8	20	21	14	31	42	87
13	ゴイサギ	0	4	0	0	0	4	0	0	4
14	コゲラ	1	0	0	0	0	1	0	0	1
15	コサギ	1	0	2	0	0	3	0	0	3
16	コサメビタキ	0	0	0	0	1	0	1	0	1
17	シジュウカラ	27	7	26	21	28	24	55	30	109
18	スズメ	485	222	59	133	219	516	243	359	1,118
19	ダイサギ	1	2	1	0	0	4	0	0	4
20	チュウサギ	0	2	0	0	0	2	0	0	2
21	チョウゲンボウ	1	0	0	0	1	0	0	2	2
22	ツバメ	0	5	0	0	1	6	0	0	6
23	トビ	0	1	0	0	0	1	0	0	1
24	ハクセキレイ	25	6	0	2	2	28	4	3	35
25	ハシブトガラス	35	18	11	14	53	20	52	59	131
26	ハシボソガラス	66	10	50	35	33	62	66	66	194
27	ヒドリガモ	0	0	1	0	0	0	1	0	1
28	ヒヨドリ	27	16	31	43	18	34	58	43	135
29	マガモ	1	0	0	0	0	1	0	0	1
30	ムクドリ	417	333	116	175	193	502	354	378	1,234
31	モズ	7	3	0	0	0	10	0	0	10
	合計	1,199	690	399	606	742	1,431	1,115	1,090	3,636
*	カモメ科sp.	7	0	0	0	0	7	0	0	7
*	カラス科sp.	3	0	0	0	0	0	1	2	3
*	チドリ科sp.	0	3	0	0	0	3	0	0	3
	総合計	1,209	693	399	606	742	1,441	1,116	1,092	3,649

参考	アイガモ	0	0	24	0	0	0	24	0	24
	ガビチョウ	0	1	0	0	0	1	0	0	1
	ドバト	247	139	138	239	396	244	498	417	1,159
	ワカケホンセイインコ	2	0	7	5	2	0	2	14	16

資料6 令和7年11月に確認された野鳥

No.	種 名	地域別					区分別			合計
		A	B	C	D	E	川	公園	その他	
1	アオサギ	17	7	5	0	7	33	3	0	36
2	アオジ	4	1	3	1	5	11	2	1	14
3	イカルチドリ	2	0	0	0	0	2	0	0	2
4	イソシギ	5	0	1	0	0	6	0	0	6
5	ウグイス	2	2	2	0	2	5	2	1	8
6	ウミネコ	3	0	0	1	0	4	0	0	4
7	オオバン	46	31	51	2	18	131	17	0	148
8	オカヨシガモ	3	0	0	0	0	3	0	0	3
9	オナガ	7	7	11	64	108	11	104	82	197
10	カイツブリ	0	2	7	0	0	2	7	0	9
11	カルガモ	19	10	41	8	35	87	26	0	113
12	カワウ	27	17	25	1	13	77	3	3	83
13	カワラヒワ	40	35	5	9	14	66	23	14	103
14	カンムリカイツブリ	1	4	0	0	0	5	0	0	5
15	キジバト	13	4	22	22	10	2	40	29	71
16	キンクロハジロ	0	0	12	2	5	19	0	0	19
17	コガモ	48	3	0	0	0	51	0	0	51
18	コゲラ	0	0	1	0	0	0	1	0	1
19	コサギ	4	0	0	2	0	4	0	2	6
20	シジュウカラ	14	11	84	26	60	3	123	69	195
21	ジョウビタキ	5	2	5	7	2	3	8	10	21
22	スズガモ	0	0	0	1	0	0	1	0	1
23	スズメ	355	170	43	211	246	193	273	559	1,025
24	セグロカモメ	7	10	2	0	1	19	0	1	20
25	ダイサギ	4	3	1	0	5	13	0	0	13
26	タシギ	0	0	1	0	0	0	1	0	1
27	タヒバリ	29	1	0	0	0	30	0	0	30
28	チョウゲンボウ	2	0	0	0	1	2	1	0	3
29	ツグミ	10	1	7	1	4	11	12	0	23
30	ツバメ	0	0	0	0	2	2	0	0	2
31	トビ	1	2	0	0	0	3	0	0	3
32	ハクセキレイ	66	19	18	7	22	72	34	26	132
33	ハシブトガラス	32	19	27	64	41	21	76	86	183
34	ハシボソガラス	64	23	69	9	78	75	93	75	243
35	バン	1	0	3	0	0	1	3	0	4
36	ヒドリガモ	17	0	27	3	21	53	15	0	68
37	ヒヨドリ	150	112	194	128	162	166	356	224	746
38	ホオジロ	19	0	0	0	0	19	0	0	19
39	ホシハジロ	0	0	45	0	15	60	0	0	60
40	マガモ	4	0	7	0	0	4	7	0	11
41	マヒワ	0	0	0	0	3	0	3	0	3
42	ムクドリ	173	221	76	242	132	270	249	325	844
43	メジロ	3	4	38	16	17	0	47	31	78
44	モズ	26	14	3	0	0	40	3	0	43
45	ユリカモメ	30	46	2	0	13	89	2	0	91
	合計	1,253	781	838	827	1,042	1,668	1,535	1,538	4,741
*	ウグイス科sp.	0	0	0	1	0	0	1	0	1
*	カモメ科sp.	1	0	0	0	0	1	0	0	1
*	カモ科sp.	8	0	0	0	0	8	0	0	8
*	カラス科sp.	4	1	0	0	0	4	0	1	5
*	サギ科sp.	2	0	0	0	0	2	0	0	2
*	ハト科sp.	24	0	0	0	0	13	4	7	24
	総合計	1,292	782	838	828	1,042	1,696	1,540	1,546	4,782
参考	アイガモ	0	0	25	0	0	0	25	0	25
	ガビチョウ	2	0	0	0	0	2	0	0	2
	ドバト	250	296	266	205	353	368	749	253	1,370
	ワカケホンセイインコ	0	0	6	27	5	0	3	35	38

資料7 令和8年1月に確認された野鳥

No.	種 名	地域別					区分別			合計
		A	B	C	D	E	川	公園	その他	
1	アオサギ	1	1	2	0	4	6	2	0	8
2	アオジ	6	19	4	0	2	25	6	0	31
3	アカハラ	0	1	0	0	0	1	0	0	1
4	イソシギ	4	2	1	1	0	8	0	0	8
5	ウグイス	4	10	3	0	0	14	3	0	17
6	オオジュリン	13	0	0	0	0	13	0	0	13
7	オオタカ	0	1	1	0	0	1	1	0	2
8	オオバン	67	30	35	8	70	194	16	0	210
9	オナガ	12	20	43	94	77	0	163	83	246
10	カイツブリ	0	0	7	2	0	2	7	0	9
11	カシラダカ	7	0	0	0	0	7	0	0	7
12	カモメ	3	0	0	0	0	3	0	0	3
13	カルガモ	15	32	33	26	38	118	26	0	144
14	カワウ	528	88	46	23	28	555	6	152	713
15	カワセミ	0	0	1	0	0	0	1	0	1
16	カワラヒワ	17	9	11	3	46	26	60	0	86
17	カンムリカイツブリ	18	12	0	0	1	31	0	0	31
18	キジバト	32	16	83	18	26	15	112	48	175
19	キンクロハジロ	11	30	10	1	3	50	5	0	55
20	コガモ	40	23	3	0	0	63	3	0	66
21	コゲラ	0	0	1	0	0	0	1	0	1
22	コサギ	0	1	5	0	1	6	1	0	7
23	シジュウカラ	28	8	72	14	63	21	104	60	185
24	ジョウビタキ	3	1	2	2	4	4	8	0	12
25	スズメ	246	172	123	230	279	220	393	437	1,050
26	セグロカモメ	2	2	0	0	2	6	0	0	6
27	ダイサギ	0	0	0	0	5	5	0	0	5
28	タヒバリ	17	0	0	0	0	17	0	0	17
29	チョウゲンボウ	1	0	0	0	0	1	0	0	1
30	ツグミ	83	27	19	13	11	107	42	4	153
31	トビ	2	2	0	0	0	3	0	1	4
32	ハクセキレイ	50	28	17	14	21	69	30	31	130
33	ハシブトガラス	36	13	17	24	38	21	48	59	128
34	ハシボソガラス	33	23	101	39	48	57	128	59	244
35	ハヤブサ	2	1	0	0	0	3	0	0	3
36	バン	5	5	6	0	0	10	6	0	16
37	ヒクイナ	1	0	1	0	0	1	1	0	2
38	ヒドリガモ	60	36	27	0	40	142	21	0	163
39	ヒヨドリ	144	101	224	85	152	178	282	246	706
40	ベニマシコ	0	3	0	0	0	3	0	0	3
41	ホオジロ	8	2	0	0	0	10	0	0	10
42	ホシハジロ	33	2	61	0	18	114	0	0	114
43	ムクドリ	263	170	199	180	253	369	431	265	1,065
44	メジロ	46	21	71	39	35	38	100	74	212
45	モズ	7	8	4	0	2	15	5	1	21
46	ユリカモメ	126	15	37	1	42	196	21	4	221
	合計	1,974	935	1,270	817	1,309	2,748	2,033	1,524	6,305
*	カモメ科sp.	0	0	1	0	0	1	0	0	1
*	カラス科sp.	1	1	0	0	0	1	0	1	2
	総合計	1,975	936	1,271	817	1,309	2,750	2,033	1,525	6,308

参考	アイガモ	0	0	20	0	0	0	20	0	20
	ガビチョウ	1	0	0	0	0	1	0	0	1
	ドバト	286	256	268	241	366	318	697	402	1,417
	ワカケホンセイインコ	0	0	7	35	0	0	0	42	42

資料 8 令和 8 年 3 月に確認された野鳥

No.	種 名	地域別					区分別			合計
		A	B	C	D	E	川	公園	その他	
1	アオサギ	4	1	5	0	5	12	3	0	15
2	アオジ	4	19	0	1	3	24	3	0	27
3	イカルチドリ	0	0	0	0	1	1	0	0	1
4	イソシギ	1	1	0	0	0	2	0	0	2
5	ウグイス	4	4	2	0	2	8	4	0	12
6	オオジュリン	20	0	0	0	0	20	0	0	20
7	オオバン	104	34	33	8	90	247	22	0	269
8	オナガ	12	15	39	109	89	10	151	103	264
9	カイツブリ	1	1	5	0	0	2	5	0	7
10	カシラダカ	12	0	0	0	0	12	0	0	12
11	カルガモ	76	4	34	19	35	137	31	0	168
12	カワウ	759	239	11	2	34	1,034	6	5	1,045
13	カワセミ	0	0	1	0	1	1	1	0	2
14	カワラヒワ	132	42	0	2	20	168	22	6	196
15	カンムリカイツブリ	9	7	1	0	3	20	0	0	20
16	キジバト	45	13	36	27	33	35	76	43	154
17	キンクロハジロ	4	11	101	2	2	29	91	0	120
18	コガモ	27	23	2	0	0	50	2	0	52
19	コゲラ	0	0	0	0	1	0	1	0	1
20	コサギ	1	0	0	1	3	4	1	0	5
21	コチドリ	0	2	0	0	0	2	0	0	2
22	シジュウカラ	22	13	63	31	37	24	88	54	166
23	シメ	0	0	1	1	0	0	2	0	2
24	ジョウビタキ	4	4	1	4	5	6	11	1	18
25	シロハラ	0	0	1	0	0	0	1	0	1
26	スズメ	261	60	104	208	348	108	388	485	981
27	セグロカモメ	2	1	1	0	1	5	0	0	5
28	セグロセキレイ	0	2	0	0	0	2	0	0	2
29	ダイサギ	1	1	0	0	5	7	0	0	7
30	タシギ	3	0	2	0	0	3	2	0	5
31	タヒバリ	8	8	0	0	0	16	0	0	16
32	チョウゲンボウ	1	0	0	0	0	1	0	0	1
33	ツグミ	136	98	34	24	10	223	56	23	302
34	トビ	1	3	1	0	0	4	1	0	5
35	ハクセキレイ	45	12	14	8	13	42	27	23	92
36	ハシブトガラス	42	22	35	54	20	29	46	98	173
37	ハシボソガラス	36	44	76	58	53	70	116	81	267
38	バン	1	0	4	0	0	1	4	0	5
39	ヒドリガモ	23	17	45	15	17	72	45	0	117
40	ヒヨドリ	166	53	118	55	115	60	271	176	507
41	ベニマシコ	0	1	0	0	0	1	0	0	1
42	ホオアカ	1	1	0	0	0	2	0	0	2
43	ホオジロ	16	0	0	0	0	16	0	0	16
44	ホシハジロ	28	18	38	0	16	100	0	0	100
45	マガモ	2	0	0	0	2	4	0	0	4
46	ムクドリ	393	174	162	149	178	425	355	276	1,056
47	メジロ	22	12	51	17	43	10	73	62	145
48	モズ	11	7	4	1	3	17	9	0	26
49	ユリカモメ	20	64	7	34	6	124	5	2	131
	合計	2,460	1,031	1,032	830	1,194	3,190	1,919	1,438	6,547
*	カラス科sp.	3	0	0	0	3	3	3	0	6
	総合計	2,463	1,031	1,032	830	1,197	3,193	1,922	1,438	6,553

参考	アイガモ	0	0	31	0	0	0	31	0	31
	ガビチョウ	0	1	0	0	0	1	0	0	1
	ドバト	397	182	139	199	285	441	484	277	1,202
	ワカケホンセイインコ	0	0	7	11	0	0	4	14	18

資料9 年度別確認種及び個体数一覧

No	目 名	科 名	種 名	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15
1	キジ	キジ	キジ	0	0	5	5	4	5	6	4	0	0	0	0
2			コジュケイ	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	カモ	カモ	ハクガン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4			コハクチョウ	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0
5			オオハクチョウ	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0
6			オシドリ	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
7			オカヨシガモ	0	22	13	18	11	6	17	54	51	39	63	33
8			ヨシガモ	0	29	0	0	0	0	0	0	0	3	5	4
9			ヒドリガモ	30	152	152	279	365	371	274	376	568	932	1,511	1,494
10			アメリカヒドリ	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0
11			マガモ	2	17	1	10	15	12	6	9	24	10	1	3
12			カルガモ	131	555	519	599	562	480	755	642	1,077	1,176	763	905
13			ハシビロガモ	0	54	73	94	23	32	10	0	0	11	2	18
14			オナガガモ	210	442	472	1,392	972	800	515	458	608	508	275	362
15			トモエガモ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16			コガモ	87	190	229	439	287	231	254	94	224	227	383	348
17			オオホシハジロ	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0
18			ホシハジロ	345	1,956	803	817	714	230	197	185	340	177	176	208
19			アカハジロ	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20			キンクロハジロ	153	96	379	500	432	281	148	93	150	85	94	89
21			スズガモ	0	0	2	0	0	0	0	0	2	4	0	0
*			カモH	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0
*			アメリカヒドリH	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
*			カモ科sp.	0	0	0	0	31	46	0	9	87	6	1	2
*			ハクチョウ科sp.	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22	カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ	7	22	21	31	19	11	9	17	19	4	12	6
23			カンムリカイツブリ	0	0	0	2	1	0	0	0	1	0	2	0
24			ハジロカイツブリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
*			カイツブリ科sp.	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25	ハト	ハト	キジバト	456	891	1,084	1,011	945	966	934	997	1,065	1,019	1,078	1,127
26			シラコバト	0	0	3	0	0	1	0	0	0	0	0	0
27			アオバト	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
*			ハト科sp.	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28	カツオドリ	ウ	カウウ	472	325	1,185	1,943	2,018	2,387	1,888	1,917	2,075	1,325	1,716	1,679
*			ウ科sp.	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29	ペリカン	サギ	ヨシゴイ	0	0	0	1	0	5	0	0	1	0	3	1
30			ゴイサギ	3	38	18	27	31	73	43	29	34	17	15	11
31			ササゴイ	1	0	1	4	5	4	8	5	3	1	4	10
32			アカガシラサギ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
33			アマサギ	0	0	0	0	1	0	0	0	7	1	0	0
34			アオサギ	2	3	9	17	18	28	25	55	75	95	72	97
35			ダイサギ	3	23	19	44	61	58	41	56	78	62	57	73
36			チュウサギ	0	2	0	2	0	0	1	0	0	3	1	0
37			コサギ	25	87	93	135	83	150	116	131	120	115	82	93
*			サギ科sp.	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1
38	ツル	クイナ	クイナ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
39			ヒクイナ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
40			バン	0	94	100	78	89	76	103	69	67	59	54	115
41			オオバン	0	1	8	6	0	4	6	3	9	13	32	50
42	カッコウ	カッコウ	ホトトギス	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
43			ツツドリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
44			カッコウ	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0
*			カッコウ科sp.	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
45	アマツバメ	アマツバメ	アマツバメ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
46			ヒメアマツバメ	0	0	0	0	0	4	0	12	0	0	0	0
47	チドリ	チドリ	タゲリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
48			ダイゼン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
49			イカルチドリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
50			コチドリ	3	20	10	11	21	17	19	20	23	11	15	8
51			シロチドリ	0	0	7	1	0	4	0	0	0	1	0	0
52			メダイチドリ	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
*			チドリ科sp.	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
53		セイタカシギ	セイタカシギ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
54		シギ	タシギ	0	0	0	4	2	2	1	0	0	0	0	2

※ 種名にsp.とあるものは、種名まで確認できなかったもの。

※ 種名にHとあるものは交雑種 (hybrid)。特定の種の特徴が強く表れているものは、その種名の後にHをつけている。

資料9 年度別確認種及び個体数一覧

No	目 名	科 名	種 名	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15
55	チドリ	シギ	オオソリハシシギ	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
56			チュウシャクシギ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
57			クサシギ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
58			タカブシギ	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
59			キアシシギ	2	2	1	0	0	0	0	0	3	2	2	6
60			イソシギ	4	11	13	15	31	28	34	34	49	51	39	57
61			キョウジョシギ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
62			ハマシギ	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0
63			アカエリヒレアシシギ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
*			シギ科sp.	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
64		カモメ	ミツユビカモメ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
65			ユリカモメ	514	916	1,565	3,913	3,639	6,567	4,636	6,677	7,809	9,297	7,376	6,200
66			ウミネコ	33	160	96	255	186	167	307	343	482	610	319	577
67			カモメ	0	26	13	28	4	53	6	8	12	0	0	2
68			シロカモメ	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
69			セグロカモメ	10	115	566	279	132	287	261	265	419	413	307	364
70			オオセグロカモメ	0	0	0	0	0	0	0	1	3	19	10	1
71			コアジサシ	9	0	56	46	75	163	64	29	34	81	21	72
72			アジサシ	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	4
73			クロハラアジサシ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
*			カモメ科sp.	0	0	0	0	3	7	1	3	4	0	0	0
74	タカ	ミサゴ	ミサゴ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
75		タカ	トビ	0	2	2	0	0	0	0	4	1	1	2	2
76			ツミ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
77			ハイタカ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
78			オオタカ	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	2
79			ノスリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
*			タカ科sp.	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
80	フクロウ	フクロウ	アオバズク	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
81			トラフズク	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0
82			コミミズク	0	1	4	2	14	3	0	0	0	0	0	1
83	ブッポウソウ	カワセミ	カワセミ	0	3	0	3	4	0	8	3	5	8	6	3
84	キツツキ	キツツキ	アリスイ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
85			コガラ	3	11	7	25	7	23	35	36	14	12	21	36
86			アカゲラ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
87	ハヤブサ	ハヤブサ	チョウゲンボウ	1	0	9	32	28	27	29	35	44	32	78	32
88			ハヤブサ	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	4
89	スズメ	サンショウクイ	サンショウクイ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
90		モズ	モズ	9	37	50	57	36	32	63	40	45	48	56	43
91		カラス	カケス	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
92			オナガ	412	493	618	742	532	489	417	318	557	545	630	662
93			ハシボソガラス	111	353	389	772	673	781	788	836	1,397	1,456	1,340	1,229
94			ハシブトガラス	404	1,091	1,357	1,217	1,099	1,393	1,674	2,189	2,910	3,899	3,725	3,936
*			カラス科sp.	0	0	0	0	1	10	10	39	10	0	0	0
95		ツリスガラ	ツリスガラ	0	0	0	0	9	0	3	0	0	0	0	0
96		シジュウカラ	コガラ	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0
97			ヤマガラ	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	4
98			ヒガラ	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0
99			シジュウカラ	49	147	221	108	211	106	142	180	121	230	179	303
100		ヒバリ	ヒバリ	37	106	184	249	250	266	196	140	180	193	197	134
101		ツバメ	ショウドウツバメ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	77	0	0
102			ツバメ	269	416	437	426	335	417	509	364	391	711	492	713
103			イワツバメ	12	50	60	57	54	74	73	64	79	44	25	33
104		ヒヨドリ	ヒヨドリ	1,248	2,116	2,154	1,805	1,691	1,788	1,846	2,475	3,008	3,245	3,213	3,435
105		ウグイス	ウグイス	5	32	18	25	27	27	41	42	37	51	47	48
*			ウグイス科sp.	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
106		エナガ	エナガ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
107		ムシクイ	メボソムシクイ(上種含む)	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
108			センダイムシクイ	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
109		メジロ	メジロ	76	106	200	192	235	196	347	361	223	436	545	311
110		ヨシキリ	オオヨシキリ	20	43	111	105	133	133	115	73	128	97	104	80
111			コヨシキリ	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0
*			ヨシキリ科sp.	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
112		セッカ	セッカ	9	18	41	71	67	65	58	56	104	90	57	53
113		レンジャク	キレンジャク	0	0	0	0	73	0	0	0	0	0	0	0
114			ヒレンジャク	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
115		ムクドリ	ムクドリ	1,593	2,647	5,478	4,924	4,755	6,035	5,323	5,070	6,566	6,728	6,913	7,024
116			コムクドリ	0	0	0	0	0	0	0	9	0	71	0	70

※ 種名にsp.とあるものは、種名まで確認できなかったもの。メボソムシクイ上種は、コムシクイ、オオムシクイ、メボソムシクイのいずれか。

資料9 年度別確認種及び個体数一覧

No	目 名	科 名	種 名	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	
117	スズメ	ヒタキ	シロハラ	0	0	0	1	3	0	5	2	7	7	7	1	
118			アカハラ	0	0	6	1	2	1	1	0	4	4	4	5	
119			ツグミ	123	277	485	573	707	584	513	483	565	599	889	617	
120			ルリビタキ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	
121			ジョウビタキ	11	19	18	22	45	41	57	57	45	67	90	90	
122			ノビタキ	0	0	1	2	2	5	0	0	0	0	0	2	
123			サバクヒタキ	0	0	0	2	0	3	0	0	0	0	0	0	
124			イソヒヨドリ	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	
125			エゾビタキ	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	
126			サメビタキ	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
127			コサメビタキ	1	0	0	9	1	1	0	2	1	1	1	0	
128			キビタキ	1	2	1	1	3	1	0	5	0	2	0	1	
129			オジロビタキ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
130			オオルリ	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
*					ヒタキ科sp.	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
131			スズメ	ニュウナイスズメ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
132				スズメ	3,287	7,756	10,129	12,217	11,639	14,300	12,487	15,329	18,003	18,171	18,821	15,919
133			セキレイ	キセキレイ	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1
134				ハクセキレイ	159	348	493	624	535	607	606	604	708	678	755	591
135				セグロセキレイ	7	48	20	2	3	4	1	4	0	2	0	0
136				ビンズイ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
137				タヒバリ	0	1	39	40	52	30	5	1	10	14	5	13
*					セキレイ科sp.	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
138			アトリ	アトリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0
139				カワラヒワ	256	552	566	455	822	506	429	463	554	748	907	838
140				マヒワ	0	0	2	0	184	0	0	0	2	0	12	0
141				ベニマシコ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
142				ウソ	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
143				シメ	0	3	7	0	6	6	9	13	2	21	9	18
144				コイカル	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
145			ホオジロ	ホオジロ	5	20	8	57	42	71	57	41	66	62	99	38
146				ホオアカ	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0
147				キマユホオジロ	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
148		カシラダカ		0	0	22	0	0	9	2	1	5	3	1	3	
149		アオジ		0	0	66	60	128	75	111	114	106	175	160	161	
150		クロジ		0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	
151		シベリアジュリン		0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	
152		オオジュリン		2	49	42	106	167	86	164	54	127	297	190	310	
*				ホオジロ科sp.	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総 合 計 (羽)				10,613	23,007	30,765	36,999	35,359	41,760	36,824	42,110	51,557	55,212	54,091	50,794	

*	(参考) ※	アイガモ													
*		ワカゲホンセイインコ													
*		ドバト													
*		セキセイインコ													
*		ガビチョウ													

- ※ ワカゲホンセイインコの数には調査記録があったもののみ集計し、平成30年度から参考として掲載。
 ※ ドバトの数には調査記録があったもののみ集計し、令和元年度から参考として掲載。
 ※ アイガモの数には調査記録があったもののみ集計し、令和2年度から参考として掲載。
 ※ 種名にsp. とあるものは、種名まで確認できなかったもの。
 ※ 種名にHとあるものは交雑種 (hybrid)。特定の種の特徴が強く表れているものは、その種名の後にHをつけている。

No	目 名	科 名	種 名	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
1	キジ	キジ	キジ	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
2			コジユケイ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	カモ	カモ	ハクガン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9
4			コハクチョウ	0	0	0	0	0	0	13	0	0	0	0	0
5			オオハクチョウ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6			オシドリ	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
7			オカヨシガモ	59	40	14	15	0	8	6	1	1	0	0	0
8			ヨシガモ	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9			ヒドリガモ	1,180	1,518	1,785	2,217	1,661	1,578	1,925	739	805	1,301	727	875
10			アメリカヒドリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
11			マガモ	6	0	4	5	0	5	11	7	37	4	4	3
12			カルガモ	652	881	742	606	736	690	757	760	786	677	687	852
13			ハシビロガモ	25	22	21	30	6	13	41	18	43	28	14	15
14			オナガガモ	81	289	185	429	158	273	439	412	283	380	355	326
15			トモエガモ	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
16			コガモ	210	304	151	266	201	244	214	309	163	176	192	239
17			オオホシハジロ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18			ホシハジロ	204	95	27	38	7	24	24	19	3	12	35	73
19			アカハジロ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20			キンクロハジロ	104	126	97	117	72	76	69	40	22	16	46	69
21			スズガモ	0	3	1	1	0	0	4	1	0	117	0	0
*			カモH	1	0	1	0	0	0	0	10	0	0	0	0
*			アメリカヒドリH	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
*			カモ科sp.	2	0	1	5	0	2	2	1	0	0	1	14
*			ハクチョウ科sp.	0	10	1	0	0	0	0	0	0	0	4	0
22	カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ	1	9	3	13	24	22	24	16	21	19	7	15
23			カンムリカイツブリ	0	0	2	0	1	12	0	0	0	1	1	13
24			ハジロカイツブリ	1	1	0	0	0	1	2		0	0	0	0
*			カイツブリ科sp.	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25	ハト	ハト	キジバト	942	917	881	757	723	675	607	688	693	628	615	739
26			シラコバト	0	0	0	4	2	1	0	0	1	0	0	0
27			アオバト	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
*			ハト科sp.	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28	カツオドリ	ウ	カワウ	1,117	1,597	872	947	841	1,356	1,548	963	1,057	1,085	742	2,377
*			ウ科sp.	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
29	ペリカン	サギ	ヨシゴイ	4	2	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0
30			ゴイサギ	20	17	10	7	15	14	14	5	2	8	3	0
31			ササゴイ	2	14	5	2	0	2	1	0	0	0	0	0
32			アカガシラサギ	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
33			アマサギ	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0
34			アオサギ	112	104	64	108	89	89	118	117	90	100	78	90
35			ダイサギ	105	68	50	74	122	91	74	58	55	71	45	50
36			チュウサギ	1	0	0	7	37	15	0	0	0	1	0	2
37			コサギ	118	117	70	132	89	113	69	61	59	63	37	51
*			サギ科sp.	0	0	0	0	0	1	0	1	3	0	1	2
38	ツル	クイナ	クイナ	0	0	0	0	1	2	1	0	0	0	1	0
39			ヒクイナ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
40			バン	129	145	136	136	69	53	69	42	86	43	35	52
41			オオバン	132	160	132	209	160	163	234	246	204	229	466	431
42	カッコウ	カッコウ	ホトトギス	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
43			ツツドリ	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
44			カッコウ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
*			カッコウ科sp.	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
45	アマツバメ	アマツバメ	アマツバメ	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
46			ヒメアマツバメ	0	23	8	22	0	11	0	15	6	0	20	0
47	チドリ	チドリ	タゲリ	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
48			ダイゼン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
49			イカルチドリ	0	0	0	0	0	5	0	4	2	0	0	5
50			コチドリ	17	6	8	19	3	13	19	18	23	7	6	6
51			シロチドリ	0	0	0	0	8	1	0	0	0	0	0	0
52			メダイチドリ	0	0	0	0	0	4	17	27	1	18	6	4
*			チドリ科sp.	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
53		セイタカシギ	セイタカシギ	0	1	3	3	0	2	0	0	0	15	0	0
54		シギ	タシギ	0	0	0	1	0	3	4	18	10	7	6	0

※ 種名にsp.とあるものは、種名まで確認できなかったもの。

※ 種名にHとあるものは交雑種 (hybrid)。特定の種の特徴が強く表れているものは、その種名の後にHをつけている。

資料9 年度別確認種及び個体数一覧

No	目 名	科 名	種 名	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
55	チドリ	シギ	オオソリハシシギ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
56			チュウシャクシギ	0	0	0	3	5	7	5	5	2	4	7	5
57			クサシギ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
58			タカブシギ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
59			キアシシギ	11	11	19	24	3	7	9	25	0	4	8	0
60			イソシギ	73	80	71	104	81	112	93	111	125	91	72	60
61			キョウジョシギ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
62			ハマシギ	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
63			アカエリヒレアシシギ	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
*			シギ科sp.	1	1	0	2	0	0	0	0	0	0	1	2
64		カモメ	ミツユビカモメ	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
65			ユリカモメ	7,289	5,450	5,808	6,789	4,167	2,899	3,793	1,448	1,424	2,010	848	1,588
66			ウミネコ	142	249	225	417	396	302	67	222	98	129	73	121
67			カモメ	3	4	13	5	0	0	1	0	23	0	6	2
68			シロカモメ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
69			セグロカモメ	297	217	189	337	245	163	163	128	145	170	104	119
70			オオセグロカモメ	4	1	8	12	2	2	2	5	6	3	2	1
71			コアジサシ	37	84	78	36	89	61	63	45	33	59	14	17
72			アジサシ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
73			クロハラアジサシ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
*			カモメ科sp.	84	0	3	2	3	32	84	19	2	0	9	60
74	タカ	ミサゴ	ミサゴ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
75		タカ	トビ	3	0	0	1	3	0	0	1	1	1	2	2
76			ツミ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
77			ハイタカ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
78			オオタカ	1	1	2	3	2	3	5	3	1	2	1	2
79			ノスリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
*			タカ科sp.	0	0	0	0	0	6	1	0	0	0	0	0
80	フクロウ	フクロウ	アオバズク	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
81			トラフズク	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
82			コミミズク	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
83	ブッポウソウ	カワセミ	カワセミ	4	11	8	6	4	26	17	13	10	11	7	9
84	キツツキ	キツツキ	アリスイ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
85			コゲラ	21	26	25	22	37	18	15	23	17	18	23	21
86			アカゲラ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
87	ハヤブサ	ハヤブサ	チョウゲンボウ	31	31	32	24	20	15	13	12	19	20	16	10
88			ハヤブサ	0	0	0	0	0	2	1	1	2	1	2	0
89	スズメ	サンショウクイ	サンショウクイ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
90		モズ	モズ	52	46	76	53	103	88	72	68	66	69	53	68
91		カラス	カケス	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
92			オナガ	709	622	840	635	591	739	757	763	990	929	824	644
93			ハシボソガラス	1,212	1,441	998	1,004	802	834	829	922	912	965	842	975
94			ハシブトガラス	3,207	3,282	2,698	2,659	1,903	1,702	1,642	1,707	1,223	1,203	1,146	1,184
*			カラス科sp.	10	30	12	32	121	125	59	27	7	10	42	22
95		ツリスガラ	ツリスガラ	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
96		シジュウカラ	コガラ	31	0	0	4	0	9	18	4	0	0	0	0
97			ヤマガラ	1	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0
98			ヒガラ	0	0	0	0	0	0	0	2	10	3	0	2
99			シジュウカラ	299	315	584	611	537	470	491	441	651	476	556	585
100		ヒバリ	ヒバリ	118	96	63	67	74	127	77	86	50	71	46	33
101		ツバメ	ショウドウツバメ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
102			ツバメ	627	587	665	578	553	589	574	456	506	419	327	371
103			イワツバメ	36	17	20	4	6	45	14	7	36	26	55	36
104		ヒヨドリ	ヒヨドリ	2,646	2,863	3,415	2,665	3,058	2,285	2,178	2,118	2,597	2,173	2,742	2,689
105		ウグイス	ウグイス	41	39	58	60	39	44	32	15	26	24	20	28
*			ウグイス科sp.	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
106		エナガ	エナガ	0	0	6	0	0	0	0	0	0	26	0	0
107		ムシクイ	メボソムシクイ(上種含む)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
108			センダイムシクイ	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0
109		メジロ	メジロ	416	296	588	510	561	401	420	366	494	375	568	366
110		ヨシキリ	オオヨシキリ	92	101	83	68	84	67	56	52	47	29	43	72
111			コヨシキリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
*			ヨシキリ科sp.	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
112		セッカ	セッカ	51	28	19	31	35	34	26	26	36	10	13	29
113		レンジャク	キレンジャク	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
114			ヒレンジャク	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0
115		ムクドリ	ムクドリ	5,967	6,658	7,223	6,748	6,680	6,459	5,781	6,902	7,823	7,156	7,527	7,382
116			コムクドリ	38	6	30	24	31	18	13	38	3	0	9	4

※ 種名にsp.とあるものは、種名まで確認できなかったもの。メボソムシクイ上種は、コムシクイ、オオムシクイ、メボソムシクイのいずれか。

No	目 名	科 名	種 名	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
117	スズメ	ヒタキ	シロハラ	12	0	16	3	9	11	6	2	14	1	8	6
118			アカハラ	6	0	9	6	6	6	3	0	7	1	1	2
119			ツグミ	844	588	767	618	1,190	669	1,343	716	875	459	630	577
120			ルリビタキ	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
121			ジョウビタキ	91	43	64	67	70	57	64	35	62	41	42	41
122			ノビタキ	0	0	1	1	5	0	1	9	1	0	1	0
123			サバクヒタキ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
124			イソヒヨドリ	0	1	0	5	1	5	3	2	4	2	2	3
125			エゾビタキ	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
126			サメビタキ	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
127			コサメビタキ	0	1	1	0	0	0	1	1	1	1	2	1
128			キビタキ	1	1	0	1	2	3	0	2	0	0	0	1
129			オジロビタキ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
130			オオルリ	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
*			ヒタキ科sp.	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
131		スズメ	ニュウナイスズメ	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
132			スズメ	15,258	15,573	14,844	15,073	14,726	13,913	14,747	14,010	14,028	13,580	14,173	12,779
133		セキレイ	キセキレイ	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	2	0
134			ハクセキレイ	698	684	676	677	631	536	562	556	489	439	467	507
135			セグロセキレイ	0	0	1	0	0	0	1	0	13	0	12	14
136			ビンズイ	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
137			タヒバリ	90	66	62	77	109	73	106	69	133	41	65	51
*			セキレイ科sp.	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
138			アトリ	アトリ	0	0	0	0	14	0	0	0	0	0	0
139		カワラヒワ		619	496	851	722	734	646	687	596	693	529	1,258	1,108
140	マヒワ	0		0	0	0	0	0	3	0	24	0	0	0	
141	ベニマシコ	4		0	1	0	0	2	0	0	4	0	9	2	
142	ウソ	0		0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	
143	シメ	10		1	3	6	19	7	14	1	23	1	24	10	
144	コイカル	0		0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	
145	ホオジロ	ホオジロ		37	24	35	35	33	29	17	25	49	17	43	28
146		ホオアカ	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	
147		キマユホオジロ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
148		カシラダカ	2	9	0	0	1	0	11	3	2	0	4	4	
149		アオジ	171	129	133	119	81	57	55	40	108	46	107	51	
150		クロジ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
151		シベリアジュリン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
152		オオジュリン	348	265	299	347	248	223	208	133	205	122	199	197	
*		ホオジロ科sp.	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
総 合 計 (羽)				46,997	46,946	46,911	47,472	43,141	39,492	41,513	36,862	38,584	36,776	37,192	38,211

*	(参考) ※	アイガモ													
*		ワカゲホンセイインコ													
*		ドバト													
*		セキセイインコ													
*		ガビチョウ													

- ※ ワカゲホンセイインコの数には調査記録があったもののみ集計し、平成30年度から参考として掲載。
 ※ ドバトの数には調査記録があったもののみ集計し、令和元年度から参考として掲載。
 ※ アイガモの数には調査記録があったもののみ集計し、令和2年度から参考として掲載。
 ※ 種名にsp.とあるものは、種名まで確認できなかったもの。
 ※ 種名にHとあるものは交雑種 (hybrid)。特定の種の特徴が強く表れているものは、その種名の後にHをつけている。

資料9 年度別確認種及び個体数一覧

No	目 名	科 名	種 名	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7		
1	キジ	キジ	キジ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
2			コジユケイ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
3	カモ	カモ	ハクガン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
4			コハクチョウ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
5			オオハクチョウ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
6			オシドリ	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0		
7			オカヨシガモ	0	2	5	1	0	0	0	14	4	3		
8			ヨシガモ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
9			ヒドリガモ	923	593	698	529	726	313	454	442	343	349		
10			アメリカヒドリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
11			マガモ	0	5	13	36	18	45	29	26	32	16		
12			カルガモ	563	707	803	666	667	744	711	774	656	748		
13			ハシビロガモ	2	26	3	8	1	0	0	9	0	0		
14			オナガガモ	279	212	178	85	51	43	33	3	0	0		
15			トモエガモ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
16			コガモ	224	197	133	112	96	100	95	102	68	171		
17			オオホシハジロ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
18			ホシハジロ	172	155	87	176	145	112	230	263	299	274		
19			アカハジロ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
20			キンクロハジロ	176	121	177	175	172	95	241	202	194	194		
21			スズガモ	1	1	0	7	3	11	23	4	1	1		
*			カモH	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
*			アメリカヒドリH	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0		
*			カモ科sp.	18	48	76	24	24	119	57	14	5	10		
*			ハクチョウ科sp.	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
22	カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ	6	20	47	24	50	30	41	36	38	43		
23			カンムリカイツブリ	25	11	5	18	8	14	31	21	26	58		
24			ハジロカイツブリ	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0		
*			カイツブリ科sp.	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0		
25	ハト	ハト	キジバト	710	638	746	569	593	765	718	720	871	758		
26			シラコバト	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
27			アオバト	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0		
*			ハト科sp.	0	0	0	0	0	0	0	11	2	47		
28	カツオドリ	ウ	カワウ	627	714	639	413	356	647	2,183	1,976	997	1,931		
*			ウ科sp.	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
29	ペリカン	サギ	ヨシゴイ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
30			ゴイサギ	12	11	13	6	3	1	0	0	0	5		
31			ササゴイ	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1		
32			アカガシラサギ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
33			アマサギ	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0		
34			アオサギ	93	78	94	69	65	96	95	98	84	99		
35			ダイサギ	44	56	36	38	58	32	54	61	39	44		
36			チュウサギ	1	0	2	0	0	0	3	1	1	3		
37			コサギ	81	75	44	23	22	61	37	54	46	44		
*			サギ科sp.	0	0	0	2	0	1	0	0	0	2		
38	ツル	クイナ	クイナ	2	0	2	1	0	0	0	5	2	0		
39			ヒクイナ	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2		
40			バン	25	42	42	43	38	18	10	23	18	25		
41			オオバン	679	692	628	450	775	789	723	626	847	643		
42	カッコウ	カッコウ	ホトトギス	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0		
43			ツツドリ	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0		
44			カッコウ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1		
*			カッコウ科sp.	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
45	アマツバメ	アマツバメ	アマツバメ	0	13	0	0	0	0	0	7	1	0		
46			ヒメアマツバメ	4	0	0	0	0	1	0	20	2	3		
47	チドリ	チドリ	タゲリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
48			ダイゼン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
49			イカルチドリ	8	1	0	1	0	0	0	23	0	3		
50			コチドリ	2	11	6	13	1	10	5	4	9	5		
51			シロチドリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
52			メダイチドリ	0	0	18	0	0	13	3	5	0	13		
*			チドリ科sp.	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3		
53		セイタカシギ	セイタカシギ	2	0	4	0	0	0	0	0	0	0		
54		シギ	タシギ	2	1	2	1	3	2	0	7	1	6		

※ 種名にsp.とあるものは、種名まで確認できなかったもの。

※ 種名にHとあるものは交雑種（hybrid）。特定の種の特徴が強く表れているものは、その種名の後にHをつけている。

No	目 名	科 名	種 名	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7		
55	チドリ	シギ	オオソリハシシギ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
56			チュウシャクシギ	3	2	4	0	0	3	12	3	5	3		
57			クサシギ	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0		
58			タカブシギ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
59			キアシシギ	0	5	21	0	0	15	27	3	6	13		
60			イソシギ	80	110	47	46	55	61	51	62	66	41		
61			キョウジョシギ	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0		
62			ハマシギ	1	0	0	0	0	0	8	0	0	0		
63			アカエリヒレアシシギ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
*			シギ科sp.	0	4	0	4	0	1	8	3	0	0		
64		カモメ	ミツユビカモメ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
65			ユリカモメ	1,825	1,859	1,168	806	1,011	183	163	454	450	443		
66			ウミネコ	20	14	17	67	11	20	14	15	14	6		
67			カモメ	1	7	18	5	5	0	6	0	4	3		
68			シロカモメ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
69			セグロカモメ	54	69	28	31	42	24	53	145	72	31		
70			オオセグロカモメ	3	0	1	4	0	1	1	0	1	0		
71			コアジサシ	25	27	18	5	4	3	36	14	35	16		
72			アジサシ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
73			クロハラアジサシ	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0		
*			カモメ科sp.	14	0	6	4	17	22	68	4	3	35		
74	タカ	ミサゴ	ミサゴ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
75		タカ	トビ	0	1	1	3	2	8	20	19	19	15		
76			ツミ	4	6	13	8	3	6	8	7	12	6		
77			ハイタカ	0	0	0	0	1	0	0	2	2	0		
78			オオタカ	1	0	1	2	1	5	3	7	3	2		
79			ノスリ	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0		
*			タカ科sp.	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0		
80	フクロウ	フクロウ	アオバズク	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
81			トラフズク	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
82			コミミズク	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
83	ブッポウソウ	カワセミ	カワセミ	10	15	14	12	13	10	7	10	14	12		
84	キツツキ	キツツキ	アリスイ	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0		
85			コゲラ	22	18	10	7	15	14	14	9	8	6		
86			アカゲラ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
87	ハヤブサ	ハヤブサ	チョウゲンボウ	11	19	12	14	18	11	15	8	18	13		
88			ハヤブサ	3	1	3	0	0	2	1	0	1	3		
89	スズメ	サンショウクイ	サンショウクイ	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0		
90		モズ	モズ	83	73	61	46	51	57	51	69	62	101		
91		カラス	カケス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
92			オナガ	798	893	897	951	747	872	728	1,049	1,394	1,670		
93			ハシボソガラス	946	893	879	696	869	932	1,022	1,110	1,163	1,246		
94			ハシブトガラス	1,097	1,197	1,274	849	926	1,042	922	842	1,036	893		
*			カラス科sp.	22	5	16	30	19	35	44	16	32	20		
95		ツリスガラ	ツリスガラ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
96		シジュウカラ	コガラ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
97			ヤマガラ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
98			ヒガラ	0	0	0	1	4	0	0	0	0	0		
99			シジュウカラ	612	657	575	423	534	666	512	725	642	858		
100		ヒバリ	ヒバリ	24	27	22	10	14	23	8	12	17	18		
101		ツバメ	ショウドウツバメ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
102			ツバメ	476	360	487	428	202	263	335	210	202	257		
103			イワツバメ	28	14	27	6	16	8	9	9	13	0		
104		ヒヨドリ	ヒヨドリ	2,734	2,512	2,640	2,061	2,335	2,127	2,607	2,498	2,629	2,299		
105		ウグイス	ウグイス	21	26	14	22	15	22	20	38	31	38		
*			ウグイス科sp.	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1		
106		エナガ	エナガ	0	1	0	6	3	4	11	0	0	0		
107		ムシクイ	メボソムシクイ(上種含む)	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0		
108			センダイムシクイ	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0		
109		メジロ	メジロ	477	367	327	310	330	374	315	471	408	435		
110		ヨシキリ	オオヨシキリ	70	58	111	27	11	33	25	36	54	109		
111			コヨシキリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
*			ヨシキリ科sp.	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0		
112		セッカ	セッカ	18	19	2	14	9	7	19	34	23	10		
113		レンジャク	キレンジャク	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
114			ヒレンジャク	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
115		ムクドリ	ムクドリ	7,332	8,301	7,460	5,625	5,058	6,612	6,224	6,602	6,427	6,906		
116			コムクドリ	30	4	0	1	0	3	0	0	0	0		

※ 種名にsp.とあるものは、種名まで確認できなかったもの。メボソムシクイ上種は、コムシクイ、オオムシクイ、メボソムシクイのいずれか。

資料9 年度別確認種及び個体数一覧

No	目 名	科 名	種 名	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7			
117	スズメ	ヒタキ	シロハラ	6	2	2	3	6	2	4	3	4	1			
118			アカハラ	3	0	2	0	0	1	1	2	0	1			
119			ツグミ	591	461	270	180	458	332	324	450	277	482			
120			ルリビタキ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
121			ジョウビタキ	61	34	33	17	36	28	24	37	48	51			
122			ノビタキ	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0			
123			サバクヒタキ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
124			イソヒヨドリ	5	4	5	5	7	4	2	7	4	1			
125			エゾビタキ	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2			
126			サメビタキ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
127			コサメビタキ	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1			
128			キビタキ	2	0	1	2	1	0	0	0	0	3			
129			オジロビタキ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
130			オオルリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
*					ヒタキ科sp.	1	0	1	0	0	0	0	1	0		
131		スズメ		ニュウナイスズメ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
132				スズメ	13,013	11,545	9,853	7,697	7,542	7,046	5,752	6,061	6,753	6,204		
133		セキレイ		キセキレイ	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0		
134				ハクセキレイ	447	494	443	344	466	516	518	525	500	435		
135				セグロセキレイ	7	33	8	1	0	2	3	8	8	3		
136				ビンズイ	0	0	16	2	0	0	0	0	0	0		
137				タヒバリ	17	18	6	9	25	73	90	112	73	63		
*					セキレイ科sp.	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	
138		アトリ		アトリ	149	0	34	0	0	2	0	12	0	0		
139				カワラヒワ	836	757	514	245	397	382	352	296	546	449		
140				マヒワ	0	0	0	0	0	0	5	0	11	3		
141				ベニマシコ	7	0	0	0	4	0	1	0	0	4		
142				ウソ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
143				シメ	9	7	24	8	1	3	1	0	0	2		
144				コイカル	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
145	ホオジロ		ホオジロ	13	23	36	7	15	16	7	19	50	45			
146			ホオアカ	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2			
147			キマユホオジロ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
148			カシラダカ	2	0	1	0	4	2	0	10	6	19			
149			アオジ	48	30	41	18	33	38	28	61	42	72			
150			クロジ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
151			シベリアジュリン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
152			オオジュリン	102	65	54	35	94	68	78	80	60	33			
*				ホオジロ科sp.	0	0	4	4	0	0	0	0	0	0		
総 合 計 (羽)				36,847	35,471	32,027	24,596	25,309	26,047	26,342	27,731	27,842	28,890			

*	(参考) ※	アイガモ					253	256	235	156	164	131		
*		ワカゲホンセイインコ			11	29	39	52	81	103	182	230		
*		ドバト				2,594	4,393	6,410	5,652	6,130	6,542	7,082		
*		セキセイインコ							1	0	0	0		
*		ガビチョウ								3	5	6		

※ ワカゲホンセイインコの数は調査記録があったもののみ集計し、平成30年度から参考として掲載。
※ ドバトの数は調査記録があったもののみ集計し、令和元年度から参考として掲載。
※ アイガモの数は調査記録があったもののみ集計し、令和2年度から参考として掲載。
※ 種名にsp. とあるものは、種名まで確認できなかったもの。
※ 種名にHとあるものは交雑種 (hybrid) 。特定の種の特徴が強く表れているものは、その種名の後にHをつけている。

年度	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20
モニター人数	23	36	36	31	27	30	29	32	31	33	34	36	33	35	36	37	34
調査地域数	23	36	36	36	32	35	34	37	38	39	40	40	38	40	39	39	39

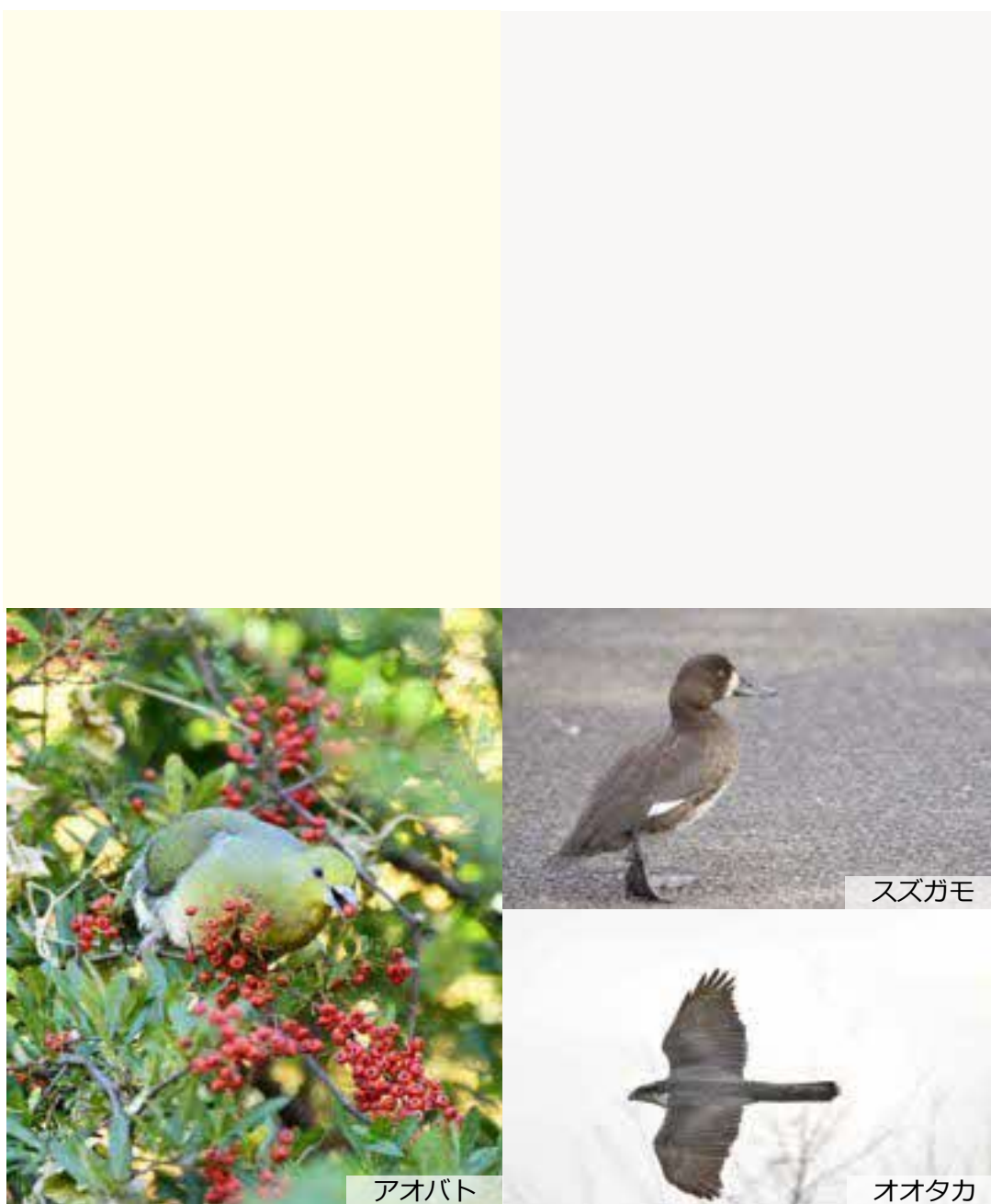
年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
モニター人数	36	38	36	40	40	38	40	40	40	39	40	40	40	40	37	39	38
調査地域数	39	41	41	41	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40

資料10 令和7年度 野鳥モニター活動記録

4月	野鳥モニターに区内の野鳥生息調査を委嘱
4月20日(日)	野鳥モニター基礎研修会
5月	野鳥生息調査(1回目)
7月	野鳥生息調査(2回目)
7月22日(火)	野鳥モニター調査報告会
9月	野鳥生息調査(3回目)
10月11日(土) ～12日(日)	あだち区民まつりにて活動紹介
11月	野鳥生息調査(4回目)
12月7日(日)	野鳥モニター研修会(舎人公園)
1月	野鳥生息調査(5回目)
3月	野鳥生息調査(6回目)



野鳥モニター研修会



令和8年10月発行

発行 足立区

編集 足立区 環境部 環境政策課 環境事業係
東京都足立区中央本町一丁目17番1号
電話03-3880-5860

